



SusHi Tech Tokyo 2024

ショーケースプログラム開催報告書



東京ベイ e S G プロジェクト国際発信実行委員会

(SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム実行委員会)

目次

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラ報告書概要版	3
第 1 SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム全体報告	18
1 SusHi Tech Tokyo 2024 の全体像	18
2 ショーケースプログラムの概要	20
3 ショーケースプログラム概要数値	22
第 2 SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム開催に向けて	23
1 実施準備	23
2 準備体制	33
3 協賛企業の獲得調整	34
4 関係者との調整	35
第 3 SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムの開催	37
1 全体運営	37
(1) 運営体制	37
(2) イベント連携	38
(3) 協賛	40
(4) 広報	42
(5) 輸送	68
(6) 警備計画・危機管理対応方針	77
(7) ボランティア	79
(8) レセプション	86
2 会場運営	87
(1) 会場共通ガイドライン	87

(2) 日本科学未来館	100
(3) シンボルプロムナード公園	132
(4) 海の森エリア	157
(5) 有明アリーナ	183
第4 開催結果	220
1 アンケート結果	220
2 総括	251

SusHi Tech Tokyo 2024

ショーケースプログラム 報告書概要版

目次

1. SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム概要
2. ショーケースプログラム開催実績
3. 日本科学未来館
4. シンボルブロードナード公園
5. 海の森エリア
6. 有明アリーナ
7. 輸送
8. 広報
9. ボランティア
10. ガイドライン対応
11. 事業者アンケート
12. 技術パートナー一覧

1. SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム概要

全体開催日程：2024年4月27日(土)～5月26日(日)

■SusHi Tech Tokyo 2024

東京発の「持続可能な新しい価値」を生み出す『Sustainable High City Tech Tokyo=SusHi Tech Tokyo』を推進する取組として、ショーケースプログラム、グローバルスタートアッププログラム、シティ・リーダーズプログラムの三つのプログラムで構成。世界共通の都市課題解決に向けた東京発のイノベーションを創出するとともに、未来の都市モデルを国内外に発信する。

■ショーケースプログラムの目的

ベイエリアの各会場の特色を生かし、SusHi Tech Tokyoの理念を具現化したプログラムの「体験」を通じ、共感を得ることで、来場者一人ひとりの気づきや行動変容につなげることを目指す。

■ショーケースプログラム 各ベニュー開催日程

日本科学未来館：4月27日(土)～5月26日(日)
※5月7日・14日は休催
シンボルブロード公園：5月12日(日)～5月26日(日)
海の森エリア：5月12日(日)～5月21日(火)
※空飛ぶクルマ飛行は5月17日(金)・18日(土)・22日(水)・23日(木)の4日間
東京ビッグサイトで開催
有明アリーナ：5月17日(金)～5月21日(火)

主催：東京都

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム 実行委員会



2

2. ショーケースプログラム開催実績（サマリー）

来場者数

4ベニュー合計 **612,000人**

【内訳】

日本科学未来館	97,000人
シンボルブロードナード公園	472,000人
海の森エリア	10,000人
有明アリーナ	33,000人

- 約1か月にわたり主に都民・一般向けに未来の都市モデルを体感できるコンテンツを多数展開、60万人を超える方が来場した。
- SusHi Tech Tokyoの理念を多くの方に伝え、テクノロジーの社会受容性を高めるイベントとなった。

実施コンテンツ数

計 **167コンテンツ**

- 4つの会場で、体験型コンテンツ、ステージイベント、ワークショップなどを展開。
- 最先端技術が見せる、未来の可能性を体感していただいた。

協賛パートナー等

技術パートナー	138社
フードパートナー	61社
先行プロジェクト事業者	15社

- 約200社の企業、団体から、SusHi Tech Tokyoの趣旨や、イベントの目的に賛同し、最先端技術や、サステナブルで美味しい食の提供をいただいた。

ボランティア

活動人数 延べ**1,805人**

- スポーツイベントを除き、東京都が主催する大規模イベントとしては初めて、ボランティアの方々々に大々的に活動していただいた。
- 東京2020大会で培われたボランティア文化の可能性を広げることができた。

広報効果

露出件数 **793件**

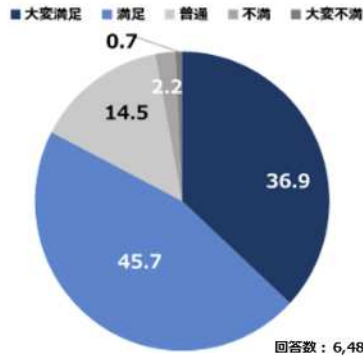
- 多くのメディアが取り上げることで、来場促進につながった。
- メディアを通して、未来の都市像を示す東京都の取組を多くの方に知っていただいた。

3

2. ショーケースプログラム開催実績（アンケート）

イベント満足度

82.6%が満足と回答



- 大多数の方に、イベントに満足していただいた。
- 一方で、コンテンツの待ち時間や、ワークショップの拘束時間について改善の指摘もあった。今後、同種のイベントを実施する際の参考としていく。

イベント参加者の「サステナブルな取組実践意向」

86.4%（非参加者61.4%、25.0pt差）

※取り組みたい+やや取り組みたいの合計

- イベントに参加したことによって、サステナブルな取組を実践してみたいと考える方の割合が増えた。
- 「持続可能な社会に向けた行動変容を促す」というイベントの目的を一部実現できた。

イベント参加者の「2050年の東京への期待度」

77.9%（非参加者36.6%、41.3pt差）

※とても希望が持てる+やや希望が持てるの合計

- イベントに参加したことによって、東京の未来に希望が持てると思う方の割合が倍以上に増えた。
- テクノロジーが示す未来の可能性を、好意的に受け止めていただいた。

4

3. 日本科学未来館（開催実績①）

最新のテクノロジーやサステナビリティを楽しく体験し、課題解決に向けたアイデアを子どもたちに表現してもらうことをコンセプトに、28日間にわたって開催。10代未満（24%）と30、40代（あわせて41%）の親子連れを中心に約97,000人が来場。また、1階ロビー及び旧ショップスペースでは東京都各局や自治体、学校団体が取り組むサステナブルな活動などを紹介。

1階展示ゾーン「みらい発見フロア」

みらいの「どうぐ」「あそび」「しよく」の3ゾーンで新しい技術やサステナブルな食材などを紹介する体験・展示コンテンツを展開。

シンボルゾーン



空飛ぶタクシーを展示ゾーン前に設置し来場を誘引
みらいのあそび



鉄腕アトムをはじめ手塚キャラクターが、会場アンバサダーとしてわかりやすく会場内を案内



エントランス

みらいのどうぐ



実際に搭乗して、ロボットが活躍する未来を体感



VRゴーグルを装着して空飛ぶクルマを疑似体験



ドローンデリバリーで荷物の運搬体験



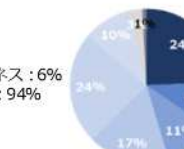
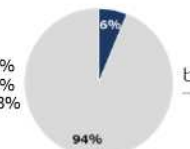
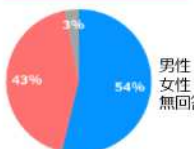
おばけレストランで未来の食を映像で体験



伝統と未来が融合した山手「ツナグルマ」の展示

「空飛ぶクルマシミュレーター」「ドローンデリバリー」「おばけレストラン」などの人気コンテンツを中心とした体験で、未来のテクノロジーの社会受容性向上に寄与。

来場者属性



東京都(23区内)：57%
東京都(23区外)：11%
東京都以外：31%
日本国外：1%

5

3. 日本科学未来館（開催実績②）

7階ワークショップ「みらい創造フロア」

小学生や中学生向けのワークショップや学校アイデア会議などの様々なコンテンツを通じ、参加者自らが未来について考える機会を提供。計2,408人が参加。

こども発明教室



企業と一緒に「発明」のプロセスを体験

未来発明起業講座



新たなビジネスアイデアを考案

【参加者の感想】 （そう思う+ややそう思う）

自分も将来起業してみたいと思いましたか？
83.9%

学校アイデア会議



学びの未来をテーマに有識者と交えたパネルディスカッション

女性の起業家マインドを 社会課題解決とともに育む



次世代を担う女性起業家等による学生向け講座

東京都による様々な取組の紹介

東京都の各局等によるSusHi Tech Tokyoの理念を体現する様々な取組をブース展示や講演・ワークショップを通じて発信。

1階展示ブース



延べ16のブースを会期中に設置・紹介。30,000人以上が来訪



7階講演等



5つの関連講演・ワークショップを実施。計 271人が参加



来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

モノづくりや発明をすることは
楽しいことだと感じた
88.2%

自分たちの手でより良い未来を
つくっていききたいと思った
85.8%

これから自分たちが未来を
作っていくことに興味が持てた
84.3%

6

3. 日本科学未来館（概要①）

会場レイアウト（1階 みらい発見フロア）



主なコンテンツ（1階みらい発見フロア）

みらいのどうぐ

- ①キッズウォーカー・サイクロパス
- ②自動車変形ロボット ファイバリオン
- ③ロボットプレゼンテーション
- ④空飛ぶクルマシミュレーター

みらいのしょうく

- ⑤ミカミライクイズ
- ⑥おぼけレストラン

みらいのあそび

- ⑦ドローンデリバリー
- ⑧3D未来カメラ
- ⑨ヒュメキジム

その他

- ⑩未来ふきだし
- ⑪未来発明データベース
- ⑫みらいのやぐら
- ⑬ツナグルマ
- ⑭空飛ぶタクシー

日本科学未来館「みらい発見館」アンバサダー



主なコンテンツ（7階みらい創造フロア）

ワークショップ

- こども発明教室（あそび・どうぐ・しょうく）
- みらい発明起業講座
- 2050年学校アイデア会議
- 女性の起業家マインドを社会課題解決とともに育む
- スタンフォードin東京～未来の起業家講座～
- チョコレートから考えるサステナ & エシカル消費

7

3. 日本科学未来館（概要②）

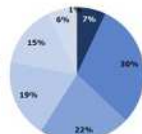
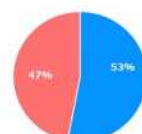
各局等連携コンテンツ			
ブース名	開催日	内容	
未来の東京を体験（「東京ベネSG賞」XR体験）	4/27（土）～4/28（日）	Minecraftカップ「東京ベネSG賞」を受賞した作品のVR・AR体験や、教育版マインクラフトの体験	
ユニバーサルコミュニケーションの促進	4/27（土）～5/1（水）	ユニバーサルコミュニケーション技術について体験	
世界陸上・デフリンピック	4/27（土）～5/1（水）	2025年に開催される東京025世界陸上、東京025デフリンピックについての紹介	
SusHi Tech Tokyo2024ブース	4/27（土）～5/26（日）	東京都の取組を幅広く紹介。オリジナルグッズの配布	
こどもスマイルムーブメントブース	4/27（土）～5/26（日）	子供政策の取組を紹介。「東京の魅力すごろく」を体験された方にはオリジナルグッズをプレゼント	
スマート東京の紹介	4/27（土）～5/26（日）	デジタルの力で都民のQOL向上を目指す。「スマート東京」を紹介	
環境事業の紹介	4/27（土）～5/26（日）	気候変動対策や生物多様性の保全、大気汚染対策、資源循環の取組など幅広く環境への取組を紹介	
東京の都市づくり	4/27（土）～5/26（日）	江戸時代から未来へと続く東京の都市づくり Tokyo Time Scape（動画）等を放映	
品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」について	4/27（土）～5/26（日）	都内公共施設で初め NealyZEBの認証を受けたエコルとごしの、楽しみながら環境を学ぶ取組を紹介	
GRAND CYCLE TOKYO	5/3（金）～5/4（土）	バーチャルサイクリングでレインボーライドのコースを体験	
台東区の伝統工芸職人による実演	5/3（金）～5/6（月）	江戸職人の製作実演	
援農ボランティアの紹介	5/11（土）～5/13（月）	援農ボランティアの紹介や、緑の募金を実施。募金にご参加頂いた方にはトイカプセルグッズをプレゼント	
スマート農業の紹介・体験	5/11（土）～5/13（月）	遠隔農作業支援システムの紹介やスマートグラスの体験	
臨海副都心における自動運転の取組紹介	5/12（日）～5/26（日）	自動運転に関する技術やこれまでの取組を紹介	
東京都立忍岡高校による展示	5/15（水）～5/26（日）	東京都立忍岡高校生活科学科の生徒の皆さんが考案したSDGsメニューや伝統的な和菓子の紹介等、パネル等を用いた紹介	
TOKYO2020レガシー展ブース	5/17（金）～5/21（火）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を彩った品々の一部を紹介	
講演名	開催日時	内容	
水素って何だろう？どんな未来につながる？	4/28（日）13:00～13:30	水素を分かりやすく解説し、それにより創られる未来についての講演（根本通商株式会社カーライフ新エネルギー緑川直樹部長ご講演）	
水素で動く船？！仕組みを学んでみよう！	4/28（日）12:00～12:45 4/29（月）12:00～12:45	水素を活用した燃料電池船の仕組みを学びながら、水素エネルギー活用への理解を深めてみませ（東京海洋大学 大出剛特任教授ご講演）	
水の科学館出張ワークショップ／ 虹の下水道館出張ワークショップ	5/21（火）13:30～14:40	「はりがねアメンボ」をつくるワークショップ。アメンボを水に浮かべた、表面張力の実験。 下水道の住人の1つ「水質検査」体験。検査キットを使って様々な水の汚れを比較してみよう！	
遺伝子や脳科学を中心に、体や脳の不思議を紐解く	5/25（土）10:30～12:30	遺伝子や脳科学を中心とした体や脳の不思議について、東京都医学総合研究所の3人の研究員が皆さんに分かりやすく解説	
触れて・飲んで・味わって： 幸せになるお口のこともっと知ろう！	5/25（土）15:00～15:30	美味しいものを味わう幸せ、嗅める喜びといった身近な行動から、口腔の健康とひとの幸せについてお話しします（京都健康長寿医療センター 研究開発あや子研究員ご講演）	

4. シンボルプロムナード公園（開催実績①）

全長約2kmの広大なエリアを活用し様々なコンテンツを配置。江戸時代から未来の東京までを比較しながら楽しみ、新たな発見や気づきを促すことをコンセプトに、サステナブルな食やアート、ファッションから最新型のモビリティまで幅広い体験コンテンツや企業出展などを展開。15日間で約472,000人を集客。



来場者属性



東京都（23区内）：71%
東京都（23区外）：4%
東京都以外：25%

「Eat Better」をテーマにフードを展開



ショーケースプログラム全体での食関連の取組などをまとめたタブロイド型ペーパーを配布

4. シンボルプロムナード公園（開催実績②）

フードロス対策/3R活動の推進



リユースカップの活用



廃材を活用したワークショップ



規格外野菜のマルシェ

フード出店者によるフードロス対策アプリ「TABETE」の利用（導入5店舗）のほか、リユースカップ（1,085杯分）、循環型食器「edish」の活用など食関連の取組を実施。廃材を活用したアート制作やTシャツのリペア体験など様々な体験コンテンツを提供。

ダイバーシティ&インクルージョン/都民・こどもの参画



パラ競技関係者によるトークイベントや体験会などを実施



大井権現太鼓保存会（品川区）のこどもたちによる太鼓演奏



伝統と未来が融合した山平「ツナグルマ」によるパレード



ヘブンアーティストたちによるステージ

来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

次世代モビリティの試乗を通して、より便利な未来を身近に感じることができた

80.1%

アップサイクルDIYやファッションの展示などを見て、古いモノにも新しい価値が生まれるような工夫をしていきたいと感じた

69.5%

Z品グルメなどを通じて、おいしいサステナブルな食への関心が高まった

65.6%

10

4. シンボルプロムナード公園（概要①）

会場レイアウト



主なコンテンツ

FOOD

Z品(ゼッピン)グルメ

・特設ブース

- ・若手料理人「CLUB RED」メンバーによる限定メニュー
- ・東京産食材やプラントベース食材を取り入れたイタリアン
- ・サステナブルな路上餐厨用器を使った盛り合わせ

・キッチンカー

規格外野菜を使ったカレー、植物由来の原料のみで作ったラーメンなど、1日20店舗以上のキッチンカーが出店

・LONG TABLE DINER

・EATBEAT! 5/12（日）18:00～20:00
料理ができるまでの過程を、見る・聴く・感じる「食×音楽」のライブパフォーマンス

・YUKIYAMESHI x Oisix 5/25（土）16:00～18:00

サステナブル食材を使った料理とトークセッションがセットになったイベント

MARKET

・ワークショップ

廃材ペンチ制作、Tシャツリペア等

・マルシェ

ふぞろい野菜マルシェ等



MOBILITY

・次世代モビリティ試乗体験

- ・低速コース（日本科学未来館前）
- ・高速コース（国際交流会館前）
- ・フリーコース（PLAYエリア）
- ・自動運転バス試乗体験

夢の大橋 ほか



ART

・廃材アート展示

原寸大の動物、バスケットコート等

・アップサイクルレシピ本

廃材アートを巡って「アップサイクルレシピ」を集めて、自分だけのレシピ本に



PLAY

・パラスポーツ競技体験 5/12（日）

ブラインドサッカー、串いすバスケ等

・ゆるスポーツ体験

くつしたまいれ、点字ブロックリレー等



11

4. シンボルプロムナード公園（概要②）

各局等連携コンテンツ

ブース名	開催日	内容
SusHi Tech Tokyo ブース	5/12 (日) 5/18 (土) 5/19 (日) 5/25 (土) 5/26 (日)	「SusHi Tech Tokyo」の取組の紹介、メッセージボードの設置、ノベルティグッズの配布
東京グリーンビズ		100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」の取組の紹介、ノベルティグッズの配布
あつまれ それぞれのHTT 電力を（H）へらす（T）つくる（T）ためる		「HTT～電力を（H）へらす（T）つくる（T）ためる～」の取組の紹介、省電・蓄電に関する体験コンテンツ、パネル・アイテム展示、ノベルティグッズの配布
東京都中央卸売市場		豊洲市場をはじめ都内に 11ある中央卸売市場の役割等の紹介、ノベルティグッズの配布 5/18・19はマスコットキャラクター「イチチーノ」も登場
こどもスマイルムーブメント		「こどもスマイルムーブメント」の取組の紹介、参画企業・団体によるこども向けワークショップの開催、ノベルティグッズの配布
こどもスマイルムーブメント	5/12 (日)	大学生と一緒にものづくりにチャレンジしよう！（協力：東京電機大学）
	5/18 (土) 5/19 (日)	はざれで作ろう！くすみパッチ（協力：特定非営利活動法人デーチャラバ）
	5/25 (土)	こども向け社会体験アプリ「ごっこランド」 “おべんとうやさんごっこ”体験（協力：株式会社キッズスター）
	5/26 (日)	浴衣でお台場散策（協力：特定非営利活動法人きもの笑顔）
TEAM BEYOND 【PLAYエリア】 （パラスポーツ応援プロジェクト）	5/12 (日)	パラスポーツを通じてみんなが個性を発揮できる未来を目指す、都のパラスポーツ応援プロジェクトを紹介、LINE 公式アカウントのお友達登録で、公式グッズをプレゼント
東京都立忍岡高等学校	5/25 (土) 5/26 (日)	忍岡高等学校生活科学科の生徒の皆さんが制作した作品を展示（お菓子の廃材を使用したワンピースなど）

12

5. 海の森エリア（開催実績①）

海の森の陸・海・空の広大なエリアを活用し、先行プロジェクトが実装を進めるテクノロジーをリアルに体感いただくことをコンセプトに実施。アンバサダー（ロボコ）を活用し、テクノロジーをわかりやすく解説。先行プロジェクトツアーはほぼすべての回で満員となった。日本科学未来館のおぼけレストランで紹介した食材を使ったテックバーガーショップ、サステナブルBBQはいずれも完売した。約1万人が来場。



アンバサダー（ロボコ）が
大人気



ロボコがテクノロジーを
解説したパネルを活用



先行プロジェクトツアーは
毎回ほぼ満員

来場者属性



来場者アンケートより抜粋



来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

体験した最先端の技術に興味を持てた **84.8%**

展示されていた最先端技術が
もっと身近に普及してほしいと思った **84.5%**

広大なベイエリアの可能性や
魅力に気づくことができた **78.7%**

先行プロジェクトアンケート結果（13社）

■主な意見 ※抜粋

- ・東京都との接点に可能性を感じた。
- ・ツアーや個人（法人）の見学者が多く来場した。商談につながる案件も数点あり、有意義なイベントであった。
- ・各ブースが集積しているほうがにぎわっているように見える。
- ・関係会社に製品について説明するよい機会となった。
- ・東京都の運営も素晴らしく、たくさんの人をブースへ案内していただいた。ほか大変多くの方に取組を知っていただける機会でもとても有難い会と感じた。
- ・ツアーのおかげで集客できた。長期間の対応・フォローに感謝。
- ・当社の関係者やクライアントが複数訪問。実機の展示機会があるのは、コミュニケーションのきっかけになるので、ありがたい。
- ・ツアーや団体案内はとてめありがたいが、名刺交換まであまり至らない印象。事前に紹介パンフレット+名刺のセットを団体用にまとめておいて、配布するとよい。

■ビジネスマッチング延べ件数：計745件

13

5. 海の森エリア（開催実績②）

水素エネルギーの実装化に向けた多彩な技術の体験コンテンツ



水素石窯を使ったピザ焼き体験
(屋内実施では日本初の試み)



水素コンロを使い調理した
フードの提供



水素で動くストリート
電子ピアノの試奏



風と水素で走る水素生産船
「ウインズ丸」の実物展示



東京海洋大学の水素船
「らいちょう N」の展示・乗船

空飛ぶクルマ都内初飛行

東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場特別会場では「空飛ぶクルマ都内初飛行」を4日間で7回実施し、3,100人が来場。初日には84人（46社）のメディアが来場。大きな反響を呼んだ。



5月17日の初回フライトでは
関係者が出席するセレモニーを実施



多くの都民が飛行を体感



5月23日、CBC（TBS系列）が
約10分間の生中継を実施



5月17日の初飛行は、有明アリーナ会場
ステージでライブ中継を実施

来場者属性

(来場者アンケートより抜粋)



10代：2%
20代：11%
30代：18%
40代：23%
50代：30%
60代以上：16%

【空飛ぶクルマ都内初飛行】来場者の感想（そう思う＋ややそう思う）

空飛ぶクルマ「HEXA」
に乗ってみたい

94.6%

空飛ぶクルマが飛行する
東京の未来が楽しみだ

94.6%

14

5. 海の森エリア（概要①）

会場レイアウト



空飛ぶクルマ都内初飛行

飛行日時 ※各回とも飛行は5分程度 計7回実施
5月17日（金）①16時45分
5月18日（土）①11時 ②14時
5月22日（水）①13時 ②16時
5月23日（木）①11時 ②14時

飛行場所
東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場特別会場



公式アンバサダー アニメ「僕とロボコ」



©宮崎英智/集英社・僕とロボコ製作委員会

主なコンテンツ

最先端再生可能エネルギーエリア

- ・先行プロジェクト
- ・オフグリッドベース
- ・GENKI LABO サイエンスライブ
- ・DJ体験会

次世代モビリティエリア

- ・先行プロジェクト
- ・ロボコのドローン☆ファクトリー
- ・ドローン☆フードデリバリー
- ・ライドパーク
- ・テックスカーボーション

環境改善資源循環エリア

- ・先行プロジェクト
- ・ドラゴンボート体験

フード

- ・ロボコのテック☆バーガーショップ
- ・ロボコのサステナ☆バーベキュー
- ・ロボコのフード☆ラボ
- ～味が変わる！？エレクトロニクス体験～
- ・水素石窯で焼くピザの試食

その他

- ・水素船「らいちょう N」
- ・ヘルステック体験～リビングラボ～
- ・先行プロジェクトツアー
- ・交流相談スペース
- ・バラスポーツ体験



各局等連携コンテンツ

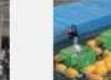
ブース名	開催日	内容
SusHi Tech Tokyoブース	5/12（日）～5/21（火）	「SusHi Tech Tokyo」の取組の紹介、メッセージボードの設置、パネルグッズの配布
次世代型ソーラーセル	5/12（日）～5/21（火）	柔軟性があり軽量の次世代型ソーラーセルパネルの展示
VR防災体験	5/19（日）	災害発生時の街の様子や都の防災対策で体験

15

5. 海の森エリア（概要②）

先行プロジェクト

- ・持続可能な都市の実現に向け、最先端技術の社会実装を進めることで、直面する社会課題を解決することを目的に展開
- ・「次世代モビリティ」「最先端再生可能エネルギー」「環境改善・資源循環」の3つのテーマで5件を採択

次世代モビリティ	最先端再生可能エネルギー	環境改善・資源循環
空飛ぶクルマ ① NTTコミュニケーションズ ② 丸紅エアロスペース  イメージ	垂直軸型風力発電、舗装式太陽光発電 ③ チャレナジー ④ 三啓光器 ⑤ 東亜道路工業   	実験水槽にて東京湾の自然環境を再現 ⑥ イノカ  
水空合体ドローン、充電ポート付ドローン ③ KDDIスマートドローン  	海水、風からグリーン水素の生成に関する技術 ⑥ アンヴァール ⑦ 商船三井   海水からの水素生成 水素生成船 国内初となる洋上での浮体式太陽光発電 ⑧ 東急不動産 ⑨ 三井住友建設  	世界初のDAC（Direct Air Capture）コートによるCO₂吸着 ⑩ 清水建設  
陸・海・空のMaaS実現に向けたシステム ④ 野村不動産   水上ポート実験イメージ		海ごみ自動清掃ロボット ⑪ 炎重工  微細藻類の海上培養 ⑫ アルガルバイオ 

16

6. 有明アリーナ（開催実績①）

サステナブルな社会がテクノロジーにより実現した「2050年の東京の暮らし」を体験してもらい、未来の東京への共感の輪を広げ、未来への推進力とすることをコンセプトに実施。体験展示、ステージプログラム、ファミリー向けワークショップなどの多様なコンテンツを5を超える企業・団体の協力のもとで展開。訪日間の期間中10代未満・10代・20代（計34%）など若年層を含む幅広い年代の延べ3万人以上が来場。

メインアリーナ（ステージ）



スピーチ、パネルディスカッション、ドラマ上映、音楽 LIVEなど様々な手法で未来を想起させた



スポーツやダンスコンテンツなど来場者が積極参加するステージも展開

メインアリーナ（体験エリア）

「2050年の東京の暮らし」の体験コンテンツを6つのテーマに沿って展開。ほとんどが参加型であり、体験することで未来を身近に感じていただけた。



未来のリビング



アシストスーツ



未来のアパレル

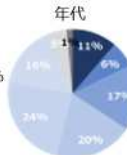
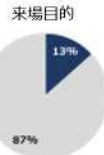


宇宙エレベーター



VRスポーツ

来場者属性



17

6. 有明アリーナ（開催実績②）

サブアリーナ・屋外エリア・エントランス通路などを積極的に活用し、未来を創る先端技術やサステナブルな取組に触れる機会を創出。来場者アンケートでは未来への期待について高い数値。

サブアリーナ（自動運転関連出展・企業ブース出展）



自動運転がある未来について考える展示や塗り絵を使ったワークショップ、巨大レゴ®の展示などファミリー向けコンテンツを多数展開

未来の東京づくりを推進する技術パートナーや東京ベイeSGパートナーの技術披露と交流の場を創出

有明親水海浜公園「潮風フードスクエア」



サステナブルフードのキッチンカー出店や、海の未来をシェフと一緒に考えるトーク&ランチイベントを実施

2階 通路（イマーシブ映像・東京都ブース出展）



未来への没入感を高めるため、未来の新聞をイメージした巨大なイマーシブ映像を入口導線上に展開。東京都による SusHi Tech Tokyo の取組紹介ブースの出展

来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

未来の暮らしに興味を持てた

85.2%

多様な人々の生活を支える未来の便利な技術に期待が持てた

83.7%

自分たちの手でより良い未来をつくっていききたいと思った

82.9%

18

6. 有明アリーナ（概要①）

会場レイアウト



エリアコンテンツ概要

メインアリーナ

MOVE

- ・宇宙エレベーター体験
- ・未来モビリティ大集合！
- ・巨大ロボット登場！



WORK

- ・歩行解析診断ロボット
- ・アシストスーツシリーズ
- ・自動運転ロボット台車



SHOP

- ・未来コンビニ
- ・未来アパレル

LIVE

- ・未来リビング
- ・サステナブルハウス
- ・パーソナライズルーム

LEARN

- ・リモートダンスレッスン



PLAY

- ・フリースローロボット
- ・VRフィットネス
- ・ARスポーツ「HADO」
- ・「樹木の里親」募集



サブアリーナ

- ①協賛・eSGパートナー企業のブース出展やChefs for the Blue®による「シェフが！ 握る海の未来展」を展示
- ②小さい子どもも楽しめる自動運転特設ブース レゴ®ブロックの作品展示を提供

潮風フードスクエア

Chefs for the Blue®特別なミールボックス&トークショーを実施
ほかにも開放的な海辺で味わう、地球にやさしくおいしい食事を提供

19

6. 有明アリーナ（概要②）

スケジュール

5月17日(金) 13:00 一般開場	5月18日(土) 10:30 開場	5月19日(日) 10:30 開場	5月20日(月) 11:00 開場	5月21日(火) 12:00 開場
 14:00~14:30 オープニングセレモニー 15:00~15:40 オープニングセレモニー ～宇宙から見る未来のライブ～ (開口部～宇宙飛行士～) 16:45~17:15 パブリックビューイング「東京2024」(屋内競技場内観戦中) 17:30~18:10 オープニングセレモニー ～宇宙から見る未来のライブ～ (アンナ・ロドリゲス「フットボール」共演中)	12:00~12:20 (COACH) 舞台挨拶(大戸美) 12:20~12:45 上場会 (COACH) 「大戸美」 13:30~14:40 組人スポーツチャレンジ 2050 15:00~16:30 スペシャルトークセッション ～みんなで考えよう未来のエネルギー～ 17:00~17:20 MPLUS LED DANCE SHOW 17:20~17:40 MPLUS ライティング 18:10~18:50 トークセッション～WAO! DANCE	12:00~12:20 (大戸美) 舞台挨拶(本村之力) 12:20~12:45 上場会 (COACH) 「大戸美」 14:00~15:00 パネディスカッション～FOOD～ (モデレーター：東江宏樹(レフォルム・ソノシス)) 16:00~16:25 上場会 (COACH) 「大戸美」 17:30~18:30 パネディスカッション～MOBILITY～ (モデレーター：杉野行雄(ROG))	12:30~13:30 パネディスカッション～LIFE～ (モデレーター：田中元子(グランドレバ)) 14:00~14:30 企業プレゼンテーション～東京2024～ 15:00~16:00 パネディスカッション～DESIGN～ (モデレーター：北川幸雄(Natigra)) 16:15~16:45 企業プレゼンテーション～Prosimar Seafood with 丸紅～ 17:00~18:00 パネディスカッション～LEARN～ (モデレーター：星友智(スタンフォード・オンライン)/宇野幸一(筑波大学)) 18:30~19:00 企業プレゼンテーション～playknot ASTYLE～	12:30~13:30 パネディスカッション～WORK～ (モデレーター：寛部利博(Circular Initiatives/Partners)) 14:00~15:00 パネディスカッション～DEAL～ (モデレーター：比嘉夕子(arca)) 15:00~15:15 クイズ大会 19:00~19:40 yama SPECIAL LIVE
20:00 閉場	20:00 閉場	20:00 閉場	20:00 閉場	20:00 閉場

各局等連携コンテンツ

ブース名	開催日	内容
SusHi Tech Tokyoブース	5/17(金)～5/21(火)	SusHi Tech Tokyoの取組の紹介、并連の活性化に向けた取組の紹介、世界陸上・デマンドの紹介

20

7. 輸送

周遊バス

バス試走やバス運行事業者への説明会、乗降場所へのスタッフ配置を適切に行い事故なく運行、延べ17,000人利用。燃料電池バスを41台使用し、サステナブルなイベント運営に寄与。一部の乗降場所では案内が分かりにくいという来場者からの声が複数あった。誘導サインWeb掲載内容を見直しを図ったが、次回への課題となった。



周遊バス	
利用者数	17,000人
運行便数	687便
バス台数	154台
内燃料電池バス運行便数	187便
内燃料電池バス運行台数	41台

来場エリア別周遊バス利用状況（来場者アンケートより抜粋）



時間帯や天候による利用者数の変動はあったが、長い待ち時間や異常な混雑などはなく、快適に移動いただける周遊環境を整えることができた。幅広い属性の来場者を想定したイベント特性の中で、輸送利用率約50%は利用者の快適性と利便性に配慮した適正な輸送能力であったと考える。

水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」

事前予約率は定員の95.5%と人気。4日間で966人（事前予約者の75%）が乗船し、海の森エリアへの来場促進に貢献。船内では水素エンジンの説明を実施し、意識変容、高い満足度につながった。その他、乗り心地の快適さ、エンジン音の静かさなどに対して評価を得た。



乗船者の感想（そう思う+ややそう思う）

最先端の技術に興味を持てた

97.3%

二酸化炭素排出量削減を
考えるきっかけになった

89.9%

21

8. 広報

プレミアム発表会、各ベニュー内覧会、空飛ぶクルマ初飛行、オープニング/クロージングセレモニーにメディアを招致した他、個別取材対応も積極的に行い、約800件の露出を獲得。

	露出件数
プレミアム発表会	219
未来館内覧会	39
オープニングセレモニー	113
シンボル海森ツアー	40
有明アリーナ内覧会	31
空飛ぶクルマ初飛行	139
クロージングセレモニー	1
その他（イベント全般）	211
	総露出件数
合計	793

<露出を獲得した主なメディア>

※海外メディア露出割合は約2.8%（露出件数ベース）

【テレビ/ラジオ】NHK、日本テレビ、TBS、フジテレビ、
テレビ朝日、テレビ東京、J-WAVE、など
【新聞/雑誌】読売新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、など
【ウェブ】ASCII.jp、ITmedia NEWS、ABEMA TIMES、
TECH+、HugKum、など



4/10付 読売新聞



5/17 NHK おはよう日本



5/17 FNN Live News

22

8. 広報②

イベント情報発信のため「SusHi Tech Tokyo 2024」「ショーケースプログラム」「マイページ・チケット」「広告用ランディングページ」のウェブサイトと順次開設。会期末までに約04万ページビュー閲覧され、来場促進に寄与した。マップやタイムテーブル等の機能を搭載した公式アプリのインストール数は約5万回に達し、来場者の体験価値を高めた。XとInstagramのSNSアカウントでは、各ベニューの見所やコンテンツの開催情報など、即時性のある情報発信に活用。大規模なシティドレッシングによる機運醸成に加え、ロボコNFTを活用したスタンプラリー企画も実施し、会場間の周遊に繋げた。

ウェブサイト



合計ページビュー
204万PV

公式アプリ



インストール数
1.5万回

ウェブ広告



有明アリーナ広告

日本科学未来館広告

インプレッション数
3億6045万imp

シティドレッシング



ベイエリアや都内主要駅を中心に、大規模なシティドレッシングを実施。SusHi Tech Tokyoの認知向上とイベントの盛り上げを図った。



ロボコスタンプラリー

4ベニューと周辺施設等の計15箇所にスポットを設置。計371人にロボコオリジナルグッズを配布した。



NFTスタンプラリー

4ベニューと東京ビッグサイトに二次元コードを設置。公募で選定した5種類のNFTアートを計773枚配布した。

23

9. ボランティア

期間中には1都1府9県から520人（延べ1805人）のボランティアが参加。「東京ボランティアレガシーネットワーク」（<https://www.tokyo-vln.jp/>）に13件の投稿が寄せられた。車いすユーザー、難聴者など、配慮を要する方も多数参加し、スタッフと一丸になってイベントを支えていただいた。また、都立高校が678人（延べ195人）の生徒がボランティアとして参加し、ボランティア文化のすそ野を広めることができた。

①各ベニューで精力的に活動



コンテンツの体験補助



受付/アンケート収集

②コンテンツを実際に体験



休憩時間などにコンテンツを体験いただき、感想を運営に役立てた

③高校生ボランティア



都立高校生がボランティア活動に参加。イベント運営を体験

ボランティアの満足度 （とても満足している+満足している）

ボランティア活動

78.7%

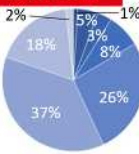
会場運営スタッフの対応

71.4%

参加者の声

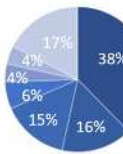
- ・2050年を見据えたイベントに参加者と一緒に感動や楽しさを共感しあえ、有意義な時間だった。
- ・ドローンで物資を運ぶというコーナーのお手伝いをし、実用化が楽しになった。
- ・複数の会場に参加させていただき、たくさんのボランティアの方と一緒に楽しく活動できた。また、海外からの客様に英語で対応する機会もあり、少し自信が付いた。

参加者属性

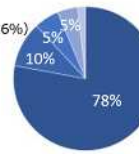


10代: 5 (1%)
20代: 24 (5%)
30代: 17 (3%)
40代: 40 (8%)
50代: 138 (26%)
60代: 193 (37%)
70代: 94 (18%)
80代: 9 (2%)
計: 520人

最高年齢…**87歳**
最低年齢…**18歳**



会社員: 196 (38%)
パート・アルバイト: 82 (16%)
主婦・主夫: 78 (15%)
自営業: 31 (6%)
学生: 21 (4%)
公務員: 21 (4%)
その他: 91 (17%)
計: 520人



東京都: 405 (78%)
神奈川県: 53 (10%)
埼玉県: 29 (5%)
千葉県: 24 (5%)
その他: 9 (2%)
計: 520人

24

10. ガイドライン対応

事前に設定された5つの柱からなるガイドラインについて、会場別に来場者のニーズや需要予測などを勘案しながら、具体的な方策を下記のとおり実施。持続可能なイベント開催のあり方を提示。

①サステナブルなイベント運営

次世代エネルギー活用（再掲）

- ・水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」の運行や水素船「らいちょうN」を展示公開
- ・無料周遊バスとして水素バスが活躍
- ・海の森エリアにて、水素を使った石窯で焼いたピザを提供。屋内では初の取組

再生可能エネルギー活用



海の森会場では、発電した電気を活用したDJ体験会を実施

太陽光発電を一部に利用した蓄電型発電機を会場内の電源として活用

3Rの推進（再掲）

- ・シンボルプロムナード公園 MARKETエリアで、規格野菜・廃棄食材を使ったアップサイクルビール等を販売
- ・着なくなったTシャツにオリジナルデザインをプリントできるリペア体験を実施

②ダイバーシティ＆インクルージョンへの配慮



ジェンダーバランスなど多様性・包摂性に配慮したパネリストを選定、起用



手話通訳の導入およびポケットークを活用した同時通訳サービスの実施



5月12日に3会場合同で「Inclusive Action Day」を開催。パラ競技体験などを実施

登壇者の男女比率割合
男性 **51.0%**
女性 **47.0%**
その他 **2.0%**

③来場者利便性の向上（再掲）

会期中、無料周遊バスや水素エンジン搭載船による会場間輸送を展開。アプリでの周知やスタンプラリーによる周遊施策を実施

無料周遊バス利用者 **延べ1.7万人**
水素エンジン搭載船利用者 **延べ966人**

④DXへの対応（再掲）

NFTデジタルスタンプラリーの実施や公式アプリなど各種デジタル技術を活用

NFTスタンプラリー配布枚数 **773枚**
公式アプリDL数 **1.5万DL**

⑤ボランティアスタッフとの協働（再掲）

延べ1800人を超えるボランティアの方々とともに、事故なく本プログラムを運営

今回の参加にたいへん満足+満足 **78.7%**

25

11. 事業者アンケート

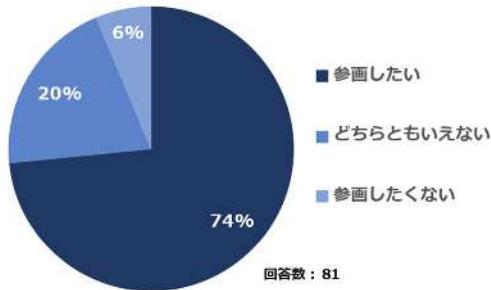
■技術パートナー

各会場、コンテンツにおいて最先端技術やノウハウ、サービスの提供、機器・機材の貸与、展示物の共同制作、PR協力など130を超える企業・団体から協力を得ることができた。

技術パートナーは公式ウェブサイトのほか、新聞広告やバス内広告などにも企業ロゴを掲出した。

パートナー企業アンケート 将来の参画意向

「あなたは今後同ような東京都市のイベントが開催された場合、どの程度参画したいと思いますか」



主なコメント

- ・大変素晴らしいイベント。今後とも何かお手伝いできればと思う。
- ・催し自体よりSusHi Tech そのものが何であるかが伝わっていないようで勿体無い。
- ・全てのエリアを1日で見て回るのは大変だと感じた。
- ・結果的に参加したことで有意義な出展展示、招待したお客様とも繋がりが良かった。



新聞広告



バス内広告

技術パートナー：138社
フードパートナー：61社
先行プロジェクト：15社

26

12. 技術パートナー一覧①

※順不同、ロゴ提供を受けた技術パートナーのみ掲載



27

12. 技術パートナー一覧②

※順不同、ロゴ提供を受けた技術パートナーのみ掲載



28

12. 技術パートナー一覧③

※順不同、ロゴ提供を受けた技術パートナーのみ掲載



29

第 1 SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム全体報告

1 SusHi Tech Tokyo 2024 の全体像

令和 6 (2024) 年 4 月 27 日から 5 月 26 日にかけて東京ベイエリアにて国際発信イベント「SusHi Tech Tokyo 2024」を開催した。

東京発の「持続可能な新しい価値」を生み出す「Sustainable High City Tech Tokyo = SusHi Tech Tokyo (※1)」を推進する取組として、以下の三つのプログラムで構成した。世界共通の都市課題解決に向けた東京発のイノベーションを創出するとともに、未来の都市モデルを国内外に発信し、エリア全体で期間中に 50 万人の来場者を見込んだ。

本報告書は、三つのプログラムのうち「③ショーケースプログラム」について、詳細を報告する。

(1) グローバルスタートアッププログラム

会 場：東京ビッグサイト（江東区有明 3-11-1）

日 程：5 月 15 日～16 日

概 要：国内外のスタートアップ、投資家、大企業、自治体などの多様な参加者が出会う場を提供し、社会・経済的インパクトが大きいビジネス、オープンイノベーションが生まれる可能性を創出

(2) シティ・リーダーズプログラム

会 場：ホテルニューオータニ東京（千代田区紀尾井町 4-1）ほか

日 程：5 月 15 日～17 日

概 要：世界五大陸の都市のリーダーが東京に集い、持続可能な社会の実現に向けて共に取り組み、新しい価値を生み出すことを目指す

(3) ショーケースプログラム（東京ベイ e S G プロジェクト（※2）国際発信イベント）

会 場：有明アリーナ、日本科学未来館、シンボルプロムナード公園、海の森エリア

日 程：4 月 27 日～5 月 26 日

概 要：持続可能な未来の東京を発信する体験型プログラム

※1 「SusHi Tech Tokyo」 について

東京都が最先端のテクノロジーや多彩なアイデア、デジタルノウハウによって、世界共通の都市課題を克服する「持続可能な新しい価値」を生み出す「Sustainable High City Tech Tokyo= SusHi Tech Tokyo」を世界に向けて発信する事業。東京の持つ強み・ポテンシャルをワンブランドで展開し、東京の価値を国際社会に浸透させていく。

※2 「東京ベイ e S Gプロジェクト」 について

東京都がベイエリアを舞台に、50年・100年先の未来の都市像を描くプロジェクト。「自然」と「便利」が融合する持続可能な都市に向けて、ベイエリアから世界最先端の実現を目指す。

2 ショーケースプログラムの概要

(1) 開催目的

「ショーケースプログラム（以下、「本プログラム」という。）」は、SusHi Tech Tokyo の旗印のもと、「東京ベイ e S G プロジェクト」の一環として、プロジェクトが目指す「自然」と「便利」が融合する持続可能な“未来の都市・東京”の姿を、次世代を担うこども・若者をはじめ、広く都民に体感してもらうとともに、世界に向けて発信することを目的とした。

(2) プログラムの目標

ア 来場者数目標

ショーケースプログラムへの来場者の目標については、以下の通り設定した。

目標来場者：のべ 50 万人

イ 開催目的の実現に向けた 3 つの目標

- (ア) 最先端技術を活用した体験型展示により、様々な課題が解決された 2050 年の東京の姿を、東京の可能性として提示すること
- (イ) 持続可能な社会の実現に向け、一人ひとりの気づきや学び行動変容に繋げること
- (ウ) 東京のプレゼンス向上を図り、サステナブルな社会の実現に向けたムーブメントを牽引すること

(3) 全体スケジュール

ア 日本科学未来館

会場：日本科学未来館（江東区青海 2-3-6）

日程：4 月 27 日～ 5 月 26 日

概要：こども達が未来を楽しく体験し自らのアイデアを表現する

イ シンボルプロムナード公園

会場：シンボルプロムナード公園（江東区青海／有明）

日程：5 月 12 日～ 26 日

概要：食を中心に江戸と未来を楽しみ、新たな発見を得る

ウ 海の森エリア

会場：海の森水上競技場 他（江東区海の森 他）

日程：5月 12日～ 21日

概要：手の届く未来のテクノロジーを、新たなフィールドでリアルに体感する

エ 有明アリーナ

会場：有明アリーナ（江東区有明 1-11-1）

日程：5月 17日～ 21日

概要：「未来の暮らし」の体験を通じて共感の輪を広げサステナブルな未来を推進する

3 ショーケースプログラム概要数値

(1) 来場者実績数

4 ベニユー合計：612,000 人

(内訳)

- ・ 日本科学未来館 : 97,000 人
 - ・ シンボルプロムナード公園 : 472,000 人
 - ・ 海の森エリア : 10,000 人
 - ・ 有明アリーナ : 33,000 人
- ・ 約一か月にわたり主に都民・一般向けに未来の都市モデルを体感できるコンテンツを多数展開、60 万人を超える方が来場した。
- ・ SusHi Tech Tokyo の理念を多くの方に伝え、テクノロジーの社会受容性を高めるイベントとなった。

(2) 実施コンテンツ数：計 167 コンテンツ

- ・ 四つの会場で、体験型コンテンツ、ステージイベント、ワークショップなどを展開。
- ・ 最先端技術が見せる、未来の可能性を体感していただいた。

(3) 協賛パートナー等

- ・ 技術パートナー：138 社
- ・ フードパートナー：61 社
- ・ 先行プロジェクト事業者：15 社
- ・ 約 200 社の企業、団体から SusHi Tech Tokyo の趣旨や、イベントの目的に賛同し最先端技術やサステナブルで美味しい食の提供をいただいた。

(4) ボランティア

活動人数：延べ 1,805 人

- ・ スポーツイベントを除き、東京都が主催する大規模イベントとしては初めて、ボランティアの方々に大々的に活動していただいた。
- ・ 東京 2020 大会で培われたボランティア文化のすそ野を広げることができた。

(5) 広報効果

露出件数：793 件

- ・ 多くのメディアが取り上げることで、来場促進につながった。
- ・ メディアを通して、未来の都市像を示す東京都の取組を多くの方に知っていただいた。

第2 SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム開催に向けて

1 実施準備

(1) 開催の経緯

令和3年2月に、「ポスト・コロナにおける東京の構造改革」提言を踏まえ、未来の東京の姿を構想し、「社会の構造改革」を速やかに実装するため、「東京ベイ e S Gプロジェクト」の立ち上げを公表し、同年4月「東京ベイ e S Gプロジェクト」(Version1.0)を策定した。

「東京ベイ e S Gプロジェクト」(Version1.0)では、「東京湾から日本の未来を創り出す」とし、「持続可能性と経済を両立させた都市モデルを社会全体で共有し、ともに創り上げていくことにより、東京の国際的なプレゼンスをさらに高めるとともに、世界が目指すべき未来の都市像を発信する」方針を示した。

その後、令和4年2月に策定の「『未来の東京』戦略 version up 2022」において、「プロジェクトが目指す持続可能な都市モデルを世界に発信」していくことを発表した。

(2) 「東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会」の立ち上げ

令和4年9月に「持続可能な未来の都市モデルを発信する国際イベント」の実施について発表した。同年10月には、「東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会」(以下「実行員会」という。)を設置し、イベントの実施に向け、開催時期や開催場所、実施内容など、具体的な検討が始まった。

(3) 東京ベイ e S G プロジェクト国際発信実行委員会委員（令和4（2022）年10月時点）

実行委員会委員は、イベントのテーマとなる、テクノロジー、フード、まちづくりなどの分野の専門家及び地元団体、自治体、関連局の関係者で構成しており、実行委員会事業の企画や実施、その他運営に必要なことを実施する。

ア 委員名簿

組織名等	役職及び氏名（敬称略）	
株式会社 arca	代表取締役/クリエイティブディレクター	辻 愛沙子 （委員長）
株式会社グランドレベル	代表取締役社長	田中 元子 （副委員長）
株式会社ユーグレナ	代表取締役社長	出雲 充
国立研究開発法人科学技術振興機構 日本科学未来館	副館長	伊藤 洋一
デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー合同会社	パートナー	大塚 泰子
カフェ・カンパニー株式会社 ZEROCO 株式会社	代表取締役社長 代表取締役社長	楠本 修二郎
CIC Japan 合同会社	プロジェクトリード	藤瀬 里紗
一般社団法人スタートアップエコシステム協会 Plug and Play Japan 株式会社	代表理事 Executive Director	藤本 あゆみ
日本ガストロノミー学会 株式会社 FOOD LOSS BANK	代表 代表取締役社長	山田 早輝子
公益社団法人経済同友会 （オイシックス・ラ・大地株式会社）	副代表幹事	高島 宏平
東京商工会議所	青年部相談役 イノベーション・スタートアップ委員会 共同委員長	井上 博貴
一般社団法人 新経済連盟 （株式会社 LIFULL）	広報担当理事 （代表取締役社長）	井上 高志
一般社団法人日本自動車工業会	次世代モビリティ領域 3 部 担当部長	高木 豊
一般社団法人東京臨海副都心 まちづくり協議会	事務局長	中林 久則

株式会社東京臨海ホールディングス		グループ支援部長
東京臨海高速鉄道株式会社		総務部長
中央区		企画部長
港区		芝浦港南地区総合支所長
江東区		政策経営部長
品川区		都市環境部長
大田区		まちづくり推進部長
東京都	政策企画局	計画調整部長
	デジタルサービス局	企画調整担当部長
	財務局	主計部長
	都市整備局	まちづくり調整担当部長
		都市基盤部長
	環境局	環境政策担当部長
	産業労働局	企画調整担当部長
	港湾局	臨海開発部長
		港湾整備部長
	生活文化スポーツ局	企画担当部長
		経営企画担当部長

イ 業務内容

実行員会事業の企画や実施、その他運営に必要なことを実施する。

ウ 実行委員会の運営

実行委員会は、令和 6（2024）年 8 月現在、9 回実施した。

第 1 回東京ベイ e S G プロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和 4（2022）年 10 月 18 日 14 時 30 分～16 時 00 分

場所：東京都庁第一本庁舎 7 階庁議室及びオンライン

参加者：小池都知事及び実行委員会委員ほか

議事：

- 1 検討事項
 - ・事務局企画案
- 2 審議事項
 - ・規約等
 - ・事業計画書及び収支予算書
- 3 報告事項
 - ・業者選定結果

第 2 回東京ベイ e S G プロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和 5（2023）年 2 月 17 日 15 時 00 分～16 時 00 分

場所：東京都庁第一本庁舎 42 階特別会議室及びオンライン

参加者：実行委員会委員ほか

議事：

- 1 審議事項
 - ・令和 4 年度東京ベイ e S G プロジェクト国際発信イベント基本計画（案）
 - ・事業計画書（案）及び収支予算書（案）
 - ・令和 5 年度発注案件
 - ・規約等
- 2 報告事項
 - ・名称及びステートメントについて
- 3 その他
 - ・今後のスケジュール

第3回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和5（2023）年3月30日

場所：書面開催

参加者：実行委員会委員ほか

審議事項：「実行委員会諸規程等について」

- ・議案 1-1 変更協定書（案）
- ・議案 1-2 令和5年度協定書（案）
- ・議案 2 2023 年度収支予算書（案）
- ・議案 3 実行委員会会則改正（案）
- ・議案 4 企画提案等審査会設置要綱改正（案）

第4回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和5（2023）年5月1日

場所：書面開催

参加者：実行委員会委員ほか

審議事項：基本計画の変更について

第5回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和5（2023）年7月5日15時00分～16時30分

場所：東京都庁第二本庁舎31階特別会議室及びオンライン

議事：

1 報告事項

- ・事業者決定及び提案内容について
- ・都によるプレス発表について
- ・意見交換会について
- ・規約等について

2 審議事項

- ・広報計画について
- ・令和4年度決算について
- ・共催協定書について

3 その他

第6回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和5（2023）年9月12日16時00分～17時30分

場所：よみうり大手町ホール5階・小ホール及びオンライン

議事：

- 1 報告事項
 - ・広報計画実施業務委託の結果について
 - ・「意見交換会」の主な内容
- 2 審議事項
 - ・実施運営計画 ver.1.0（案）について
- 3 その他
 - ・今後のスケジュール

第7回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和6（2024）年1月24日

場所：書面開催

参加者：実行委員会委員ほか

審議事項：

- ・令和5年度予算の減額について
- ・2023年度協定書の変更について

第8回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和6（2024）年2月5日15時00分～16時30分

場所：大手町三井カンファレンス4階 ROOM8及びオンライン

参加者：実行委員会委員ほか

議事：

- 1 審議事項
 - ・実施運営計画 ver.2.0（案）について
 - ・令和6年度事業計画及び収支予算書（案）について
 - ・令和6年度協定書（案）について
- 2 報告事項
 - ・諸規程の変更について
- 3 その他
 - ・今後のスケジュールについて

第9回東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会

日時：令和6（2024）年7月4日13時30分～15時30分

場所：読売新聞東京本社 13階 ABC会議室及びオンライン

参加者：実行委員会委員ほか

1 報告事項

- ・SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム開催報告について

2 審議事項

- ・令和5年度決算について
- ・東京ベイ e S Gプロジェクト国際発信実行委員会財産管理処分規程について

3 その他

- ・諸規程の変更について
- ・今後のスケジュールについて

エ 実行委員会の意見について

実行委員会ではイベント開催に向けて様々な意見があった。

カテゴリー	意 見	取 組
コンセプト	各会場のわかりやすい コンセプトが必要	・有明アリーナ 「体験・共感を生む発信の拠点」 ・日本科学未来館 「こどもたちが未来を体験」 ・シンボルプロムナード公園 「食を中心に江戸から未来を楽しめる場」 ・海の森エリア 「最先端技術が集積する場」
	東京の起源となる江戸らしさの 表現を	シンボルプロムナード公園の運営に反映
ガイドライン	サステナブルなイベントの象徴 としてフードロス対策を実施す べき	・フードロス対策アプリ「TABETE」の利 用（導入5店舗） ・リユースカップ（1,085杯分） ・循環型食器「edish」の活用
	ダイバーシティの取組が必要	・講演等での手話通訳の導入 ・ポケットークを活用した同時翻訳サービ ス
	ジェンダーバランスへの配慮	多様性・包摂性に配慮した出演者を選定・ 起用。女性比率47%

連携施策	バイエリア周辺施設との連携	スタンプラリーの実施
	学校関係者を巻き込んだ取組	教育庁、生活文化スポーツ局と連携し都内の学校に周知
	4会場間の連携	他会場の動画やパネルにより発信・PR
アンケート	アンケートを実施しイベントの効果測定を	・ イベントの参加前と参加後で意識がどのように変容したのかを調査 ・ 会場参加者へアプリや紙により調査 ・ 協賛企業への調査 など
	主催者が提示するだけでなく、参加者の意見を取り入れること。「自分が考える未来の東京」の声の収集	各会場で「未来ふきだし」企画、直接ボードに記入する方式及び SNS での発信方式で実施
コンテンツ	アントレプレナー教育にも取り組むべき	日本科学未来館でワークショップ及びパネルディスカッションを実施
食	日本の伝統食である寿司の提供するべき	シンボルプロムナード公園、サステナブルなフードとして陸上養殖サーモンの寿司も提供
広報	メディアを対象にしたオープニングイベントを実施し参加意識を醸成する	開催3週間程度前に、プレイベントとしてプレミアム発表会を実施

オ 実行委員との意見交換会

実行委員会委員の識見をプログラムの充実に生かすため、意見交換会を開催した。意見交換会の開催概要は以下の通り。意見交換会で挙げた意見はリスト化し、事務局での検討を経てプログラムへと反映した。

- ・ 開催日：令和5（2023）年7月6日 参加委員：4名
11日 参加委員：4名
18日 参加委員：4名
20日 参加委員：2名
- ・ 時間 ：各日18時00分～19時00分
- ・ 会場 ：CIC Tokyo
- ・ 参加者：実行委員・実行委員会事務局
- ・ 開催形式：対面及びオンライン

(4) 協定締結

実行委員会及び東京都が連携・協力して、東京ベイ e S G プロジェクトが目指す

50 年・100 年先のサステナブルな都市モデルをいち早く具現化し、東京が世界各都市と連携してサステナブルな社会の実現に向けたムーブメントを牽引していくため、国際発信イベント事業を実施することを目的とする協定書を締結した。

また、実行委員会と東京都がショーケースプログラムを共同で開催に関する協定書（「共催協定書」）を締結した。

(5) 契約行為

国際発信イベントの実施に向けたイベントの企画及び実行委員会の事務局運営を円滑に行うため、東京ベイ e S G プロジェクト国際発信実行委員会財務規程（令和 4（2022）年 9 月 30 日付 22e 国実第 1 号）第 14 条第 1 項（1）の規定に基づき、以下の契約を行った。

ア 東京ベイ e S G プロジェクト国際発信イベント業務支援委託

- ① 契約期間：令和 4（2022）年 10 月 18 日から令和 5（2023）年 3 月 31 日
- ② 受託者：株式会社 JTB
- ③ 契約金額：4,887,209 円
- ④ 委託内容：国際発信イベントの事業企画支援及び実行委員会事務局の運営補助業務

イ 東京ベイ e S G プロジェクトに係る国際発信イベント業務支援委託その 2

- ① 契約期間：令和 5（2023）年 4 月 1 日から同年 6 月 30 日まで
- ② 受託者：株式会社 JTB
- ③ 契約金額：947,006 円
- ④ 委託内容：国際発信イベントの事業企画支援及び実行委員会事務局の運営補助業務

ウ 東京ベイ e S G プロジェクト国際発信イベント実施運営計画策定及び一部準備業務委託

- ① 契約期間：令和 5（2023）年 6 月 6 日から令和 6（2024）年 3 月 31 日まで
- ② 受託者：株式会社読売新聞社東京本社
- ③ 契約金額：669,728,950 円
- ④ 委託内容：イベント実施計画の策定・イベント経費の積算、有明アリーナ及び日本科学未来館の展示物・造作物の設計・施工等、事務局運営補助業務等

エ 東京ベイ e S G プロジェクト国際発信イベント広報計画実施業務委託

- ① 契約期間：令和 5（2023）年 7 月 28 日から令和 6（2024）年 3 月 31 日まで
- ② 受託者：株式会社読売新聞社東京本社
- ③ 契約金額：133,321,650 円
- ④ 委託内容：広報計画の実施、広報物等の製作

オ SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム・海の森エリア実施運営計画の策定及び一部準備業務委託

- ① 契約期間：令和 5（2023）年 10 月 23 日から令和 6（2024）年 3 月 31 日まで
- ② 受託者：株式会社読売新聞社東京本社
- ③ 契約金額：29,826,500 円
- ④ 委託内容：会場全体の運営計画・運営に係る造作物等の作成・屋内ラウンジ空間の準備・資機材、スタッフの確保等

カ SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム・シティドレッシング実施運営業務委託

- ① 契約期間：令和 5（2023）年 12 月 21 日から令和 6（2024）年 3 月 31 日まで
- ② 受託者：株式会社 JR 東日本企画
- ③ 契約金額：48,968,700 円
- ④ 委託内容：シティドレッシング実施準備及び一部実施業務

キ SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム・シンボルプロムナード公園準備業務委託

- ① 契約期間：令和 6（2024）年 1 月 18 日から同年 3 月 31 日まで
- ② 受託者：株式会社読売新聞社東京本社
- ③ 契約金額：12,584,000 円
- ④ 委託内容：出展者の募集事務及びステージ登壇者等の出演依頼等、展示物・造作物の設計・施工等

ク SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム実施運営業務委託

- ① 契約期間：令和 6（2024）年 4 月 1 日から同年 10 月 31 日まで
- ② 受託者：読売新聞社東京本社
- ③ 契約金額：1,329,350,000 円
- ④ 委託内容：ショーケースプログラム実施前の準備、実施運営業務、及び実施後の報告書作成等

ケ SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム広報計画準備・運営業務委託

- ① 契約期間：令和 6（2024）年 4 月 1 日から同年 10 月 31 日まで
- ② 受託者：読売新聞社東京本社
- ③ 契約金額：147,825,000 円
- ④ 委託内容：会期前、会期中、会期後にわたる効果的な広報活動等

コ SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム・シティドレッシング実施運営業務委託

- ① 契約期間：令和 6（2024）年 4 月 1 日から同年 3 月 31 日まで
- ② 受託者：株式会社ジェイアール東日本企画
- ③ 契約金額：68,035,000 円
- ④ 委託内容：媒体へ装飾物の入稿、掲出及び運営、撤去作業等

2 準備体制

(1) 準備の全体体制

ア 庁内体制

SusHi Tech Tokyo 2024 の3つのプログラムの円滑かつ連携した開催のため、庁内に副知事2名を筆頭とした「タスクフォース」を設置した。メンバーは副知事及びプログラムの関係部課長とし、週1回程度実施した。さらに、事務的な検討の場としてプロジェクトリーダー（PL）会議を設置し、具体的な連携策等について議論した。

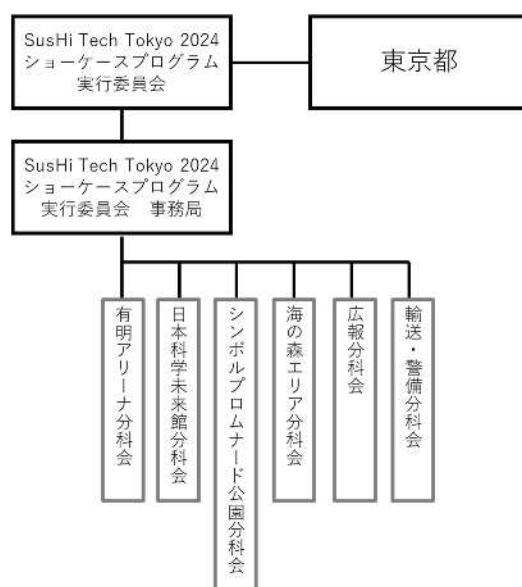
イ 各分科会の運用

各会場をベニューと称し、ベニューごとの分科会を定期開催した。その他には広報、輸送・警備という部門ごとに分科会を設定し、いずれも週次で会議を開催した。日本科学未来館ベニュー分科会には施設担当者も適宜出席し実施計画の詳細を検討した。ベニューごとに事務局の担当割り振りを行い、委託事業者と協議にあたった。

- ・実施期間：令和5（2023）年7月から令和6（2024）年4月
- ・実施回数：各会議週1回、各分科会を45回程度実施
- ・進行管理方法：事務局と受託者で検討し、定期的に実行委員会で協議を実施した。

実行委員会総会で挙げた意見を各ベニューの週次会議内で検討し実施に向けて調整を行った。週次会議は会議前日にアジェンダを共有し、翌日に議事録を共有した。

<構成>



(2) 準備スケジュール

別紙の年間スケジュールを当初に設定し開催準備に当たった。

3 協賛企業の獲得調整

(1) 協賛獲得に向けた東京都の取組

イベントの開催が決まった令和4（2022）年度から、どのような技術が未来の東京を示すことができるのかの検討や、展示の核となるような最先端技術を持つ企業の発掘のため、延べ約100社の企業、団体等への訪問、ヒアリング等を行った。その中で、出展や協賛に意欲がある企業については、受託者へ引き継いだ。

(2) 協賛獲得に向けた委託者の取組

令和5（2023）年10月より公式HPにて技術パートナーの公募を開始した。並行して検討している企画内容に沿った企業との協議を実施した。技術パートナーは以下の三つを主な分類とした。

ア 技術パートナー

役割：最新の技術・プロダクト、サステナブルフード等を提供し、イベントコンテンツの質向上に寄与する。

選定方法：企画実現に必要と委託者が判断した企業から都と委託者が協議の上決定する規定に基づいて選定する。

メリット：「未来の東京」を支える先進的な技術として技術力を都民や来場者に訴求する機会を得られる。

イ フードパートナー

役割：イベント趣旨を踏まえて営利活動を行うことでにぎわい創出に寄与する。

選定方法：審査基準を設けた上で、公募により選定。ただし、イベントコンテンツの質向上のために都より特定の団体に打診を行う場合がある。

メリット：営利活動の場を提供するだけでなく、本プログラムに賛同する姿勢を広く示すことで提供者の理念を都民に訴求するきっかけを得られる。

ウ 東京ベイ e S G パートナー

広報の協力を依頼。

4 関係者との調整

(1) 都庁内関係

ア 東京ベイ e S Gプロジェクト推進タスクフォース

令和 4（2022）年度から東京ベイ e S Gプロジェクト推進のため、政策企画局を事務局とし、副知事 2 名を筆頭に、財務局、デジタルサービス局、生活文化スポーツ局、都市整備局、環境局、産業労働局、港湾局の企画担当部長を中心に構成し、タスクフォースを設置した。令和 5（2023）年度からは、主にイベントの開催の連携を目的とし、子供政策連携室、スタートアップ・国際金融都市戦略室、総務局、福祉保健局、教育庁を加え、準備・進捗状況の報告や各局への依頼等を行った。

イ 東京ベイ e S Gプロジェクト推進タスクフォース 事務局定例ミーティング

上記局の企画担当課長等を構成員とし、東京ベイ e S Gプロジェクトの進行状況、イベントの準備状況の共有などを議題に、月に 1 回開催している。

ウ 庁内における連携に向けたその他の取組

イベントの盛り上げのためには、庁内各局の独自のイベントやブース出展などが不可欠である。そのため、各局との連携に向け、令和 5（2023）年 5 月に実施したヒアリングを皮切りにブース出展や広報協力に向けた調整を行った。また、こども向けコンテンツを中心に実施した日本科学未来館会場では、都立学校等の生徒に来場を促すため、指導課長会などの会議に出席し、事業の周知や来場への依頼を行った。

(2) 区市町村

実行委員会の委員である 5 区とは実行委員会総会の事前説明などの場を活用し適宜意見交換を行った。加えて、令和 5（2023）年 9 月に区長会、市長会、町村会を通じ、都内の各区市町村に対し、イベントへの出展や広報誌への掲載など協力の依頼を行った。

(3) 団体、自治会等

「臨海部まちづくり協議会」の定期会議に参加し、イベントの周知や広報の協力依頼などを行った。また、地域住民にイベントへの理解を深めてもらうため、直接、地元自治会への説明を実施した。

(4) 各種申請手続き

ア 警視庁

本イベント開催に伴う各会場における警備員の配置に関する相談、シャトルバス運行に関する停留所設置に関する相談、モビリティ体験に関する車両区分及び車両運行方法に関する安全対策等に関する相談を所轄である湾岸署に実施した。

イ 東京消防庁

各会場での実施事項を踏まえた事前相談及び「観覧場または展示場における催し物の開催届出書」の提出を行った。また、イベント開催前及び開催当日において東京消防庁による立ち合いに関し対応を行った。

海の森エリアにおける水素利用に関する確認、申請手続き等は産業労働局及びトヨタ自動車が行った。

ウ 江東区保健所

有明アリーナ、シンボルプロムナード公園、海の森エリアにて来場者に対して飲食の販売等を行ったため、江東区保健所に対して各種許可申請及び届出書提出のための事前相談を実施。

シンボルプロムナード公園でのロングテーブル企画、厨房設備を設置する特設ブース、キッチンカー、物販テント等において営業許可申請及び営業届を江東区保健所生活衛生課へ提出。設営後の会場における立ち合い等に関しての対応を行った。

エ 江東区都市整備部建築課

シンボルプロムナード公園における仮設ステージの設置及び飲食販売用の特設ブースに関して、江東区都市整備部建築課への建築確認申請を実施した。

オ 東京都港湾局東京港管理事務所

有明アリーナにおける有明親水海浜公園とシンボルプロムナード公園の使用に関して、東京港埠頭株式会社公園事業部企画開発課と事前下見及び使用方法などに関して事前協議を実施し、東京港管理事務所に対して公園の占有・使用許可申請を提出した。

カ その他

海の森エリアにおける先行プロジェクト企業によるドローン飛行については、企業各社が国土交通省航空局及び東京航空局東京空港事務所に対して飛行許可申請等を実施。

また、東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場で実施した空飛ぶクルマ都内初飛行については丸紅エアロスペースから実施した。

第3 SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムの開催

1 全体運営

(1) 運営体制

各会場において、以下の人員体制を基本として運営にあたった。

ア 日本科学未来館

- ・本部スタッフ：5 名
- ・現場スタッフ：27 名
- ・ボランティア：44 名

イ シンボルプロムナード公園

- ・本部スタッフ：8 名
- ・現場スタッフ：37 名
- ・ボランティア：130 名

ウ 海の森エリア

- ・本部スタッフ：8 名
- ・現場スタッフ：28 名
- ・ボランティア：50 名

エ 有明アリーナ

- ・本部スタッフ：7 名
- ・現場スタッフ：45 名
- ・ボランティア：51 名

(2) イベント連携

ショーケースプログラムの開催期間中に行われる、周辺エリアでの様々な各局イベントとともに、一体となってベイエリアを盛り上げた。

イベント名	開催日	概要	所管局
Tokyo ふしぎ祭(サイ)エ ンス 2024 (日本科学未来館)	4 月 27 日	小・中学生を対象とした、見て・触っ て・体験しながら難しい科学技術を楽し しく学べる参加・体験型のイベント	総務局
LOVE LIGHTPIA (ラブ ライトピア) (シンボルプロムナード 公園)	4 月 27 日～ 5 月 26 日	光と反射の空間作品を創り出すイン スタレーションアート集団「ミラーボ ーラー」によるアートイルミネーショ ン	港湾局
未来のクルマ(自動運転バ ス・タクシー)に乗ろう！ (各会場周辺)	4 月 27 日～ 5 月 26 日	四つのルートで会場を周遊する自動 運転車両の乗車体験イベント	港湾局
海の森こどもフェスティ バル (海の森公園)	GW 一般公開(5 月 3 日～6 日) 海の森の野外授 業(18 日・19 日) こどもキャンプ (25 日・26 日)	こどもが楽しめる多彩なプログラム を実施するイベント	港湾局
舟旅体験	5 月 17 日～ 21 日、26 日	船で有明アリーナに輸送	都市整備局
TokyoTokyo Delicious Museum (シンボルプロムナード 公園)	5 月 17 日～ 19 日	国内外から東京を訪れる多くの方に、 東京の優れた「食」の魅力を楽しんで いただくためのフェスティバル	産業労働局
グリーン電力を活用した 建物の照明演出 (シンボルプロムナード 公園)	5 月 18 日～ 26 日	水素と太陽光によるグリーン電力を 活用し、建物の照明をアウェアネスカ ラーで演出	港湾局
ZEV を体験してみよう！ (シンボルプロムナード 公園)	5 月 18 日	FC PIUS (水素燃料電池車) の乗車体 験ができるイベント	産業労働局

東北3県（岩手・宮城・福島）ふるさと市 （シンボルプロムナード公園）	5月18日・19日	東北の美味しい水産物・特産品等の飲食提供や販売をする復興支援イベント	総務局
東京みなと祭 （東京国際クルーズターミナル）	5月18日・19日	珍しい船の一般公開、謎解きクイズラリー&抽選会、キッチンカー、キャラクターイベントなどの東京港の開港記念イベント	港湾局
選手村跡地を巡ってみよう！ （晴海フラッグ）	5月20日・21日	水素エネルギーを実装したまちづくりに触れるイベント	都市整備局
東京愛らんどフェア （シンボルプロムナード公園）	5月25日・26日	伊豆諸島・小笠原諸島の魅力発信、特産品の展示販売、郷土料理のPRを実施	総務局
発見！島しょ&多摩地域の魅力体験イベント （シンボルプロムナード公園）	5月25日・26日	島の360°VR動画体験、島酒の飲み比べ、多摩産材を使った木工体験など島しょと多摩地域の魅力を体感できるイベント	総務局
TOKYO エシカルマルシェ （シンボルプロムナード公園）	5月25日・26日	人や社会、環境に配慮した「エシカル」な商品の販売やキッチンカー、ワークショップなどが集結したイベント	生活文化スポーツ局

(3) 協賛

ア 協賛社との調整

P17 記載の分類で、協賛獲得に向けた取組を行った。実行委員会と受託者が運営する協賛事務局が協議し、想定したイベント実施内容に沿った各社に個別打診を実施した。協賛が決定した各社とは事務局が調整を請け負った。延べ 150 社程度への働きかけを行った。

イ 協賛セールスシート

事務局から各社への打診の際に使用したセールスシートは以下の通り。(抜粋)

SusHi Tech Tokyo 2024へのご協賛について

SusHi Tech Tokyo 2024の「都市課題の解決につながる持続可能な新しい価値、未来を創るイノベーションを生み出す」という趣旨に賛同し、共にプログラムを作り上げて頂けるパートナー企業・団体を募っています。全体を通じてのサポートやプログラムごとの技術提供、事業PR、広報協力など、各社のニーズやリソースに応じたメニューをご用意しております。

SusHi Tech Tokyo 2024	① パートナー	「パートナー」は協賛金を頂き、SusHi Tech Tokyo 2024のWEBサイト/アプリ等に企業ロゴなどを掲出いたします。
ショーケースプログラム	② 技術パートナー	「技術パートナー」はプログラム実施に必要な技術をご提供頂くプランです。「パートナー」同様のロゴ掲出と技術検証フィードバックを行います。「フード出店」は各会場のフード提供エリアにてご出店頂きます。
	③ フード出店	
グローバルスタートアッププログラム	④ プラチナ	会場にブースを出展し、サービスやプロダクトの展示、デモンストレーションを行なって頂きます。協賛カテゴリーによってブースのサイズなどメニュー内容が異なります。来場者への訴求とビジネスマッチングの場などにご活用頂きます。
	⑤ ゴールド	
	⑥ シルバー	

※画像は全てイメージです。

本イベントの意義にご賛同いただける企業様には協賛のご協力をお願いしております。ブース出展については数に限りがあるためお早めにご連絡ください。

	SusHi Tech Tokyo 2024協賛	ショーケースプログラム協賛		グローバルスタートアッププログラム協賛		
	① STT2024 パートナー	② 技術パートナー	③ フード出店	④ プラチナ	⑤ ゴールド	⑥ シルバー
協賛費(税別)	3,000,000円	-	-	20,000,000円	10,000,000円	5,000,000円
ブース出展	-	8m×8m (東京アリーナ内)	8m×8m (SCプログラム会場内)	13m×13m (東京ビッグサイト西)	8m×8m (東京ビッグサイト西)	8m×8m (東京ビッグサイト西)
招待チケット	GSプログラム：0枚 SCプログラム：0枚	GSプログラム：0枚 SCプログラム：0枚	SCプログラム：0枚	GSプログラム：100枚	GSプログラム：50枚	GSプログラム：20枚
ロゴ掲出 /相互リンク	・リーフレット ・参加案内 ・STT2024HP ・STT2024アプリ ・SCプログラム会場内	・リーフレット ・参加案内 ・STT2024HP ・STT2024アプリ ・SCプログラム会場内	・SCプログラムHP	・GSプログラムHP ・東京ビッグサイト西 ・STT2024HP ・STT2024アプリ	・GSプログラムHP ・東京ビッグサイト西 ・STT2024HP ・STT2024アプリ	・GSプログラムHP ・東京ビッグサイト西 ・STT2024HP ・STT2024アプリ
東京都 リリース配信	○	○	-	○	○	○
ステージ登壇	(要確認)	GSプログラム内	-	GSプログラム内	GSプログラム内	GSプログラム内
サンプリング /グッズ配布	-	○ SCプログラム内	○ SCプログラム内	○ GSプログラム内	○ GSプログラム内	○ GSプログラム内
その他	-	・来場者からの技術検証フィードバック ・ビジネスランジェ利用 東京ビッグサイト：5/15-16 有明アリーナ：5/17-21	○協賛GSプログラム会場内 来場者利用	ビジネスランジェ利用 東京ビッグサイト：5/15-16 有明アリーナ：5/17-21	ビジネスランジェ利用 東京ビッグサイト：5/15-16 有明アリーナ：5/17-21	ビジネスランジェ利用 東京ビッグサイト：5/15-16 有明アリーナ：5/17-21
オプション (別途要)	メディアタイアップ広告など	メディアタイアップ広告など		企業特設サイトの設置など		

※STT2024-SusHi Tech Tokyo 2024/GSプログラム-グローバルスタートアッププログラム/SCプログラム-ショーケースプログラム

ウ 協賛社ロゴ一覧

公式 HP に掲出した協賛社ロゴは以下の通り。各社、各団体の指定するリンクを設定した。

<協賛社ロゴ一覧>



(4) 広報

概要

各会場でのメディア対応の他、ウェブサイトや SNS を通じた発信、メディアタイアップやウェブ広告、周遊施策などを実施した。

ア メディア対応

(ア) 実施内容及び効果

プレミアム発表会、各ベニュー内覧会、空飛ぶクルマ初飛行、オープニング／クロージングセレモニーにメディアを招致した他、個別取材対応も積極的に行い、総露出換算額は 15 億円を超えた。海外メディア露出割合は約 2.8% (件数ベース) となった。

件 名	露出件数
プレミアム発表会	219
日本科学未来館内覧会	39
オープニングセレモニー	113
シンボルプロムナード公園／海の森エリアメディアツアー	40
有明アリーナ内覧会	31
空飛ぶクルマ初飛行	139
クロージングセレモニー	1
その他	211
合計	793

(イ) 各回詳細

a. プレミアム発表会

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムのコンテンツをお披露目し、本番で体験できる最先端技術の一部を先取りする発表会を開催した。

- ・実施日：令和 6（2024）年 4 月 9 日 13 時 30 分～14 時 30 分
- ・実施場所：SusHi Tech Square（東京都千代田区丸の内 3 丁目 8-3）
- ・出席者：小池百合子東京都知事

【実行委員会】辻愛沙子氏（委員長）、田中元子氏（副委員長）、出雲充氏、伊藤洋一氏、井上博貴氏、大塚泰子、楠本修二郎氏、藤本あゆみ氏

【関係者】後藤りゅうと氏（オリジナルドラマ出演者）、FISHBOY（ダンサー）、杉原行里氏（RDS 代表取締役社長）、ロボコ（海の森エリア公式アンバサダー）、芹澤孝悦氏（プランティオ代表取締役 CEO）、浜田剛知氏（Japan Global Association 代表取締役）、中西寛氏（超人スポーツ協会プロデューサー）、林祐司氏（モメンタム by ポルシェ総料理長）、御宮知香織氏（エクリプス・フーズ・ジャパン代表取締役）

- ・参加メディア数：39 媒体 56 名
- ・露出件数：219 件（国内 99.5%：海外 0.5%）



フォトセッション



プレミアム発表会 会場内

b. 日本科学未来館内覧会

日本科学未来館での展示物について報道関係者へ先立って公開する内覧会を開催した。

- ・実施日：令和 6（2024）年 4 月 25 日 13 時 00 分～15 時 00 分
- ・実施場所：日本科学未来館（東京都江東区青海 2 丁目 3-6）
- ・参加メディア数：24 媒体 44 名
- ・露出件数：39 件（国内 97.4%：海外 2.6%）



メディア向け内覧会

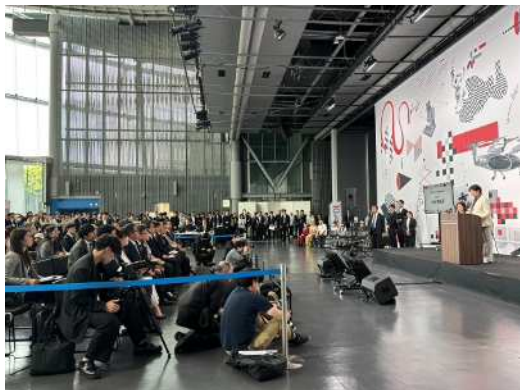


報道向け説明を実施

c. オープニングセレモニー

小池百合子東京都知事による開幕宣言など「SusHi Tech Tokyo 2024」オープニングセレモニーを開催した。

- ・実施日：令和 6（2024）年 4 月 27 日 11 時 30 分～12 時 20 分
- ・実施場所：日本科学未来館（東京都江東区青海 2 丁目 3-6）
- ・参加メディア数：11 媒体 19 名
- ・露出件数：113 件（国内 99.1%：海外 0.9%）



オープニングセレモニー



小池都知事による挨拶

d.シンボルプロムナード公園／海の森エリアメディアツアー

両会場の主なコンテンツについて紹介するメディアツアーを開催した。

- ・実施日：令和 6（2024）年 5 月 12 日 11 時 30 分～14 時 00 分
- ・実施場所：シンボルプロムナード公園（東京都江東区青海一・二丁目 / 東京都江東区有明二・三丁目 他）、海の森エリア（東京都江東区海の森 他）
- ・参加メディア数：13 媒体 29 名
- ・露出件数：113 件（国内 99.1%：海外 0.9%）



シンボルプロムナード公園におけるメディア対応



海の森エリアにおけるメディア対応

e.有明アリーナ内覧会

メインアリーナの主な展示物について紹介する内覧会を開催した。

- ・実施日：令和6（2024）年5月17日11時00分～13時00分
- ・実施場所：有明アリーナ（東京都江東区有明1丁目11-1）
- ・参加メディア数：40 媒体 69 名
- ・露出件数：31 件（国内 96.8%：海外 3.2%）



有明アリーナでのメディア取材

f.空飛ぶクルマ初飛行

空飛ぶクルマ「HEXA」(ヘクサ) による都内初飛行の様子を取材できる場を提供した。

- ・実施日：令和6（2024）年5月17日16時45分～17時15分
- ・実施場所：東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場（東京都江東区有明3丁目-11-1）
- ・出席者：小池 百合子東京都知事、岡崎 徹氏（丸紅株式会社 執行役員 航空・船舶本部長）、福澤 正太氏（丸紅エアロスペース株式会社 航空機グループビジネスユニット長）
- ・参加メディア数：45 媒体 84 名
- ・露出件数：139 件（国内 87.1%：海外 12.9%）



オープニングセレモニー



都内上空を舞う「HEXA」

g.クロージングセレモニー

中村倫治東京都副知事によるご挨拶など「SusHi Tech Tokyo 2024」クロージングセレモニーを開催した。

- ・実施日：令和 6（2024）年 5 月 26 日 18 時 30 分～19 時 00 分
- ・実施場所：シンボルプロムナード公園（東京都江東区青海一・二丁目 / 東京都江東区有明二・三丁目 他）
- ・出席者：中村倫治東京都副知事、辻愛沙子氏（実行委員会委員長）村山輝星氏（こどもアンバサダー）、田中元子氏（実行委員会副委員長）、伊藤洋一氏（実行委員会委員）、荒田薫氏（実行委員会委員）、中林久則氏（実行委員会委員）、田中里沙氏（実行委員会委員）
- ・参加メディア数：2 媒体 5 名
- ・露出件数：1 件（国内 100%：海外 0%）



中村副知事による挨拶



フォトセッションの様子

h.その他露出

各メディアからの個別取材依頼に対して積極的に対応し、下記の露出を獲得した。

- ・露出件数：211 件（国内 100%：海外 0%）



5月17日 NHK おはよう日本



5月17日 FNN Live News α

i.海外メディア露出

- ・露出件数：22 件
- ・露出割合：約 2.8%（件数ベース）



4月10日 付 読売新聞

j.露出事例 ※抜粋

I テレビ



空飛ぶクルマ：日本テレビ news every



有明アリーナ：テレビ朝日 ワイドスクランブル



日本科学未来館：日本テレビ シューイチ

II WEB



プレミアム発表会：テレ東 BIZ



オープニングセレモニー：Yahoo!ニュース



臨海副都心エリアで開催している「SusHi Tech Tokyo 2024」で『空飛ぶクルマ』が都内初飛行

空飛ぶクルマ：NEWS PICKS

III 新聞



4月10日 毎日新聞



4月10日 朝日新聞



4月23日 日刊工業新聞



5月18日 読売新聞

イ ウェブサイト

令和5（2023）年度に開設した特設ウェブサイトを継続して運営し、イベント情報を発信した（日本語・英語）。「マイページ・チケット予約サイト」「広告用ランディングページ」も開設し、来場促進につなげた。

- ・表示回数：約 204 万 PV
- ・セッション数：約 84 万回
- ・ユーザー数：約 53 万 UU

※集計期間は令和5（2023）年10月27日～2024年5月26日（全サイト合計）



SusHi Tech Tokyo 2024 ウェブサイト



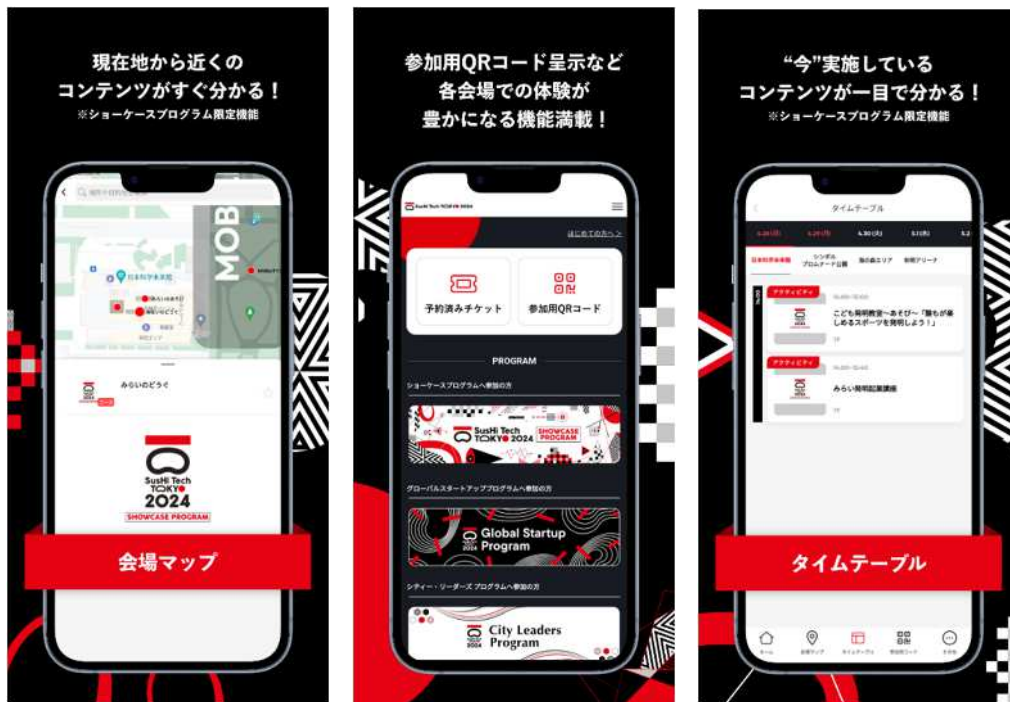
ショーケースプログラムウェブサイト

ウ アプリ

令和5（2023）年度に開発したイベント特設アプリを4月9日にリリースし、5月末まで運営した。

- ・インストール数：約 1.5 万回（iOS 版、Android 版の合算）
- ・主な機能：会場マップ、タイムテーブル、周遊バス・水素エンジン搭載船の案内、マイメニュー（マイページ/新規登録、予約済みチケット）など

※特設アプリには「グローバルスタートアッププログラム」「シティ・リーダーズプログラム」用の機能も搭載した。



アプリストアに掲出したアプリ概要

エ SNS での発信

(ア) X

令和 5（2023）年度に開設した X（旧 Twitter）のアカウントを用いて、ショーケースプログラムの見どころや各コンテンツの実施状況等をユーザー及び来場者にわかりやすく、効果的に発信した。運用結果は以下の通り（いずれも令和 6（2024）年 5 月 31 日時点）。

- ・投稿回数：314 回
- ・フォロワー増加数：1,864 人
- ・インプレッション数：約 124 万回
- ・エンゲージメント率：2.2%



投稿内容（一例）





投稿内容（一例）

(イ) Instagram

令和 5（2023）年度に開設した Instagram のアカウントを用いて、プログラムコンテンツの画像や、各会場で撮影した動画等を活用した記事の作成及び投稿を行った。運用結果は以下の通り（いずれも令和 6（2024）年 5 月 31 日時点）。

- ・ 投稿回数：88 回
- ・ フォロワー増加数：2000 人
- ・ リーチ数：約 9.6 万人（広告を含まず）
- ・ エンゲージメント数：6,881 回



投稿内容（一例）

オ ウェブ広告

チケット予約及び来場促進を目的として、ウェブ広告を出稿した。会期中は広告用ランディングページを遷移先に設定するとともに、リスティング広告や動画広告を活用して、効果的な運用を行った。

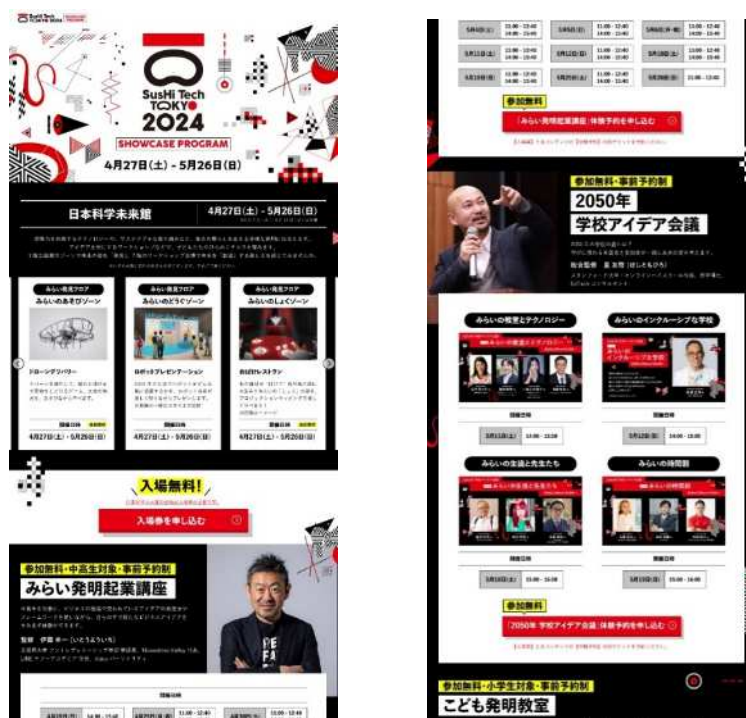
- ・ 配信期間：令和6（2024）年3月29日～5月26日
- ・ 使用媒体：Instagram、Facebook、X、YxS Ad Platform、Google 広告（ディスプレイ広告・検索広告）、Yahoo! 広告（ディスプレイ広告・検索広告）
- ・ 表示回数：約3億6045万インプレッション
- ・ クリック数：約43万クリック
- ・ 広告経由予約数：12,124

※各媒体計測タグでコンバージョンとしてカウントした分のみ

- ・ 広告原稿（一例）



- ・ 広告用ランディングページ



カ メディアタイアップ

(ア) NEWS PICKS

- ・掲載期間：令和6（2024）年3月11日～3月18日
- ・PV：6,704



(イ) 読売新聞オンライン

- ・掲載期間：令和6（2024）年3月25日～4月21日
- ・PV：16,960

読売新聞 オンライン

"2050年の東京"を体感しよう！都市課題解決のためのテクノロジーやアイデアが大集合！

2024年4月25日 | Sponsored by Sushi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム実行委員会



2024年4月から5月にかけて、東京ベイエリアにて「Sushi Tech Tokyo 2024」が開催されます。世界共通の都市課題解決に向けた東京発のイノベーションを創出するとともに、未来の都市モデルを発信する国際イベントです。

「Sushi Tech Tokyo 2024」とは？

東京では最先端のテクノロジー、多様なアイデアやデジタルノウハウによって「持続可能な新しい価値」を生み出し、次世代につなげる都市像を示すための取り組み「Sustainable High City Tech Tokyo×Sushi Tech Tokyo」を世界に向けて発信しています。今年は、世界五大陸の都市のリーダーが集う「シティ・リーダーズプログラム」、アジア最大規模のスタートアップイベント「グローバルスタートアッププログラム」、未来の都市モデルを発信する「ショーケースプログラム」の3つを同時期に開催します。

中でもショーケースプログラムでは、有明アリーナ、日本科学未来館、シンボルプラザ有明公園、海の森エリアの4つの会場で、「自然」と「便利」が融合する「2050年の東京」を体感できるプログラムを実施します。商売の無駄をなくし、環境負荷を減らすといった、国際面での「サステナビリティ」に加え、誰もが平等に快適に暮らしていける「持続可能な社会」をつくるために何をすればいいのか——「Sushi Tech Tokyo 2024」ショーケースプログラムを通じて、気軽に「持続可能な社会」への第一歩を踏み出してみませんか。

「サステナビリティ」を考え、実践につなげるコンテンツ

④デック ～暮らしを支え、より良い未来を作る最先端のテクノロジー～

有明アリーナでは、宇宙エレベーターの疑似体験や振動制御ロボットの実演デモンストレーション展示など、未来の技術を

(ウ) SmartCitiesWorld

- ・掲載期間：令和 6（2024）年 3 月 28 日～6 月 6 日
- ・PV：27,274



(エ) エリアウォーカー

- ・掲載期間：令和 6（2024）年 4 月 26 日～6 月 27 日
- ・合計 PV：50,477PV



(オ) Forbes JAPAN

- ・掲載期間：令和 6（2024）年 4 月 27 日～5 月 27 日
- ・合計 PV：11,055PV



(カ) ハフポスト日本版

- ・掲載期間：令和 6（2024）年 4 月 30 日～5 月 27 日
- ・合計 PV：18,700PV



(キ) 読売新聞オンライン

- ・掲載期間：令和6（2024）年5月7日～21日
- ・合計PV：12,466PV



キ その他、周遊施策

(ア)「未来ふきだし」パネルとフォトスポットパネルの設置

各ベニューへの入場時および退館時に目に入るスペースに会場の展示コンテンツなどを体験して、ひらめいた未来へのアイデアや希望を書き込める「未来ふきだし」パネルを設置した。



「未来吹き出し」パネル

・集まった主な意見

じどううんてんのくるまにのりたい！

人の個性が尊重されすべての人がボーダーレスでコミュニケーションできる街へ

自動運転タクシーがたくさん走っている！

完全自動入浴できるシステムができる！！

老人が生きやすい世界になっていますように！

病気の人とロボットが友達とカメラをつないでくれる

3D プリンタで食べ物が作られている！！

渋滞がなくなっている。電車のラッシュがなくなっている。

アメリカにいる娘と同じバーチャル空間で一緒にいるように時間を持てる

Innovation HUB of the world

メタバースが進み現実と空想の世界が入りまじっている

「グローバル都市」から、「グローカル都市東京」としてのアイデンティティ確立へ
都心に住んでいても、遠隔農園ができる。自給自足なくらし。

(イ) NFT スタンプラリー実施

4 ベニューと東京ビッグサイトに二次元コードを設置。公募で選定した 5 種類の NFT アートを計 773 枚配布した。NFT アートの制作にあたっては、公式 X アカウントにて告知を行い、一般の NFT アーティストから公募を受け付け 5 点選定した。選定は事務局で行い、SNS におけるエンゲージメントを重視した。



「NFT スタンプラリー」パネル・チラシ

スタンプラリー



「NFT」概要パネル



4 会場周遊特典



有明アリーナ設置分



日本科学未来館設置分



海の森エリア設置分



シンボルプロムナード公園設置分

ク こどもアンバサダー企画：ミライちゃん施策

未来を担う子どもたちを”ミライちゃん”として、ショーケースプログラムに登場する様々な企業や出演者に取材する施策を実施した。

ミライちゃんのリーダーには俳優の村山輝星氏が就任。ミライちゃんたちが取材を行う様子を撮影し、YouTube チャンネルで配信した。

動画作成数：19 本

訪問先：

- ・ユカイ工学株式会社
- ・伊藤羊一氏（武蔵野大学）
- ・LED TOKYO 株式会社
- ・GROOVE X 株式会社
- ・株式会社 RDS
- ・ツバメインダストリ株式会社
- ・MPLUSPLUS 株式会社

アンバサダー名称：SusHi Tech Tokyo ミライちゃん



ロゴ

動画一覧



#1【ユカイ工学さんへ行ってきました！】ユカイ工学・企業訪問篇
更新日 4/4（木）



#2【かわいい次世代ロボットがいっぱい！】ユカイ工学・テック体験篇
更新日 4/5（金）



#3【青木CEOを徹底取材！】ユカイ工学・突撃インタビュー篇
更新日 4/6（土）



#4【武蔵野大学で伊藤羊一さんに会いました！】SusHi Tech Tokyo ミライちゃんねる 伊藤羊一さん・突撃取材篇
更新日 4/16（火）



#5【LED TOKYOへ行ってきました！】SusHi Tech Tokyo ミライちゃんねる LED TOKYO・企業訪問篇
更新日 4/17（水）



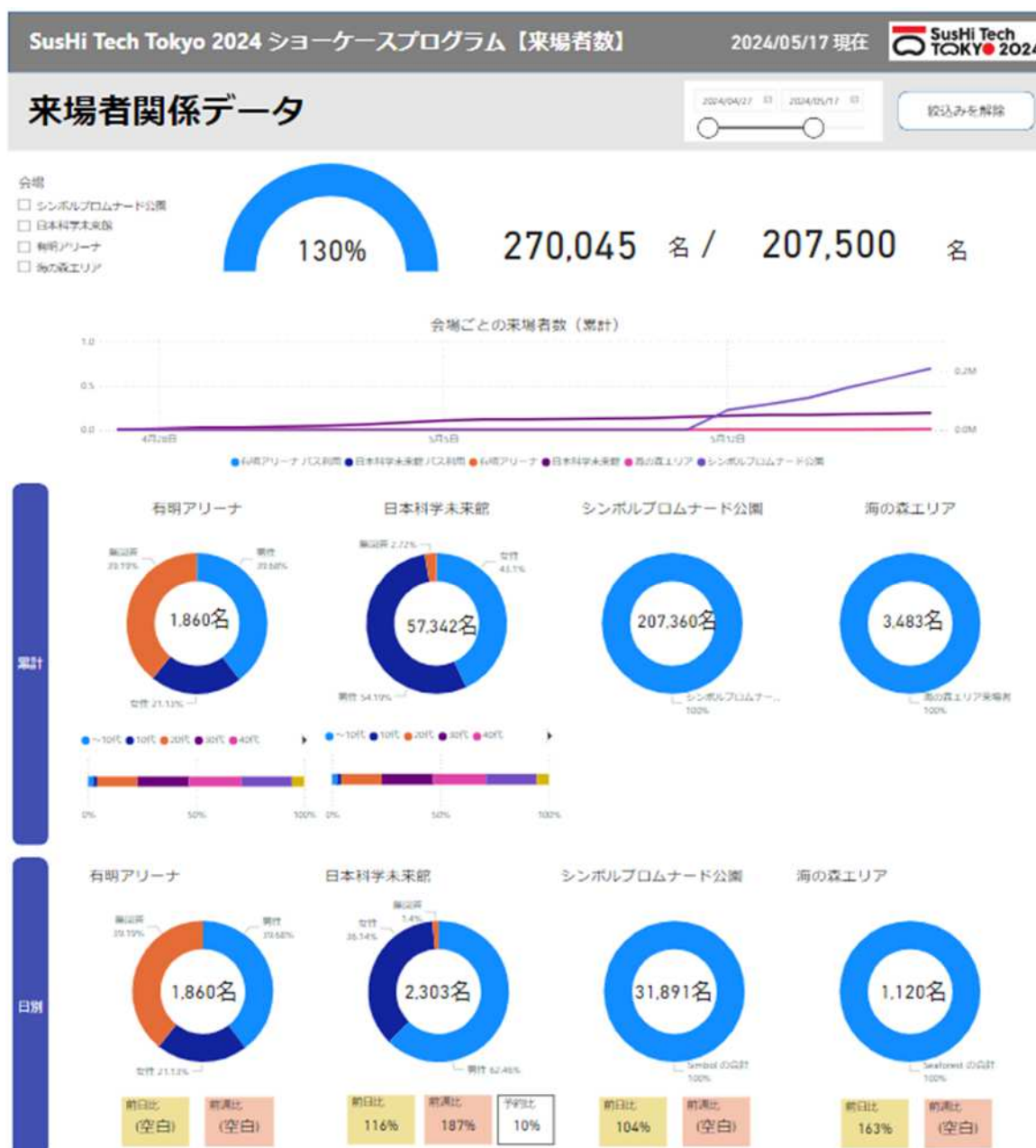
#6【LEDに絵が描ける!?】SusHi Tech Tokyo ミライちゃんねる LED TOKYO・テック体験篇
更新日 4/18（木）

HP に動画一覧を掲載

ケ ダッシュボード

イベントで管理するデータを効果的に分析・可視化して、広報施策の改善等に役立てるため、ダッシュボードを設計、構築して運用した。

来場者関係データ、WEB サイト関係データ、アプリ関係データの3画面を Microsoft Power BI を用いて作成した。



ダッシュボード画面①

日々のアクセストレンドを把握しましょう。昨日/今週は、おととい先週と比べてどうですか？

昨日の実績

PV数	UU数	平均セッション時間	エンゲージメント率
105,976	33,467	4:07:00	61%
-43,126	-6,959		-2%

今週の実績

PV数	UU数	平均セッション時間	エンゲージメント率
527,457	159,904	4:06:00	62%
323,988	61,594		6%

・前の曜日の曜日は、月曜日として計算。
・今日は5月15日（水）の曜日で、今日の曜日は11-11月の11日の11日のデータです。
・前の曜日は11-11月の11日のデータも計算しています。

新規PV数 新規UU数 リピーター率

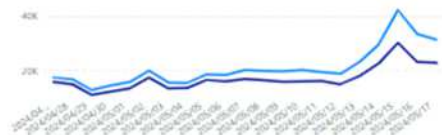
91,362	23,226	31%
-43,126	-6,959	2.1%

新規PV数 新規UU数 リピーター率

451,608	116,893	31%
248,139	35,529	13%

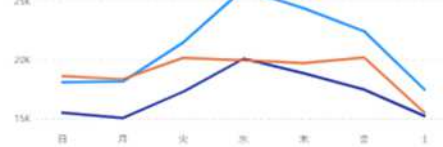
日次トレンド（過去14日）

●新ユーザー数 ●新規ユーザー数



曜日別前週比

●新ユーザー数 ●新規ユーザー数 ●ユーザー数（先週）



ダッシュボード画面②

1417

平均DAU数

11,509

合計インストール数

32

合計アンインストール数

11,477

残存インストール数

7%

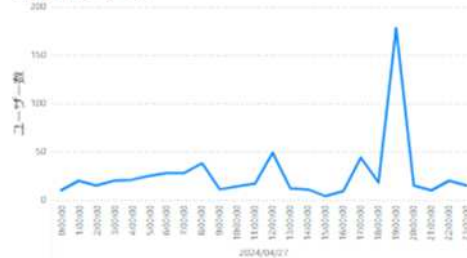
通知開封率

DAU、WAU、MAU

●来週前週比 ●DAU ●WAU ●MAU



時間帯別ユーザー数



ダッシュボード画面③

コ シティドレッシング

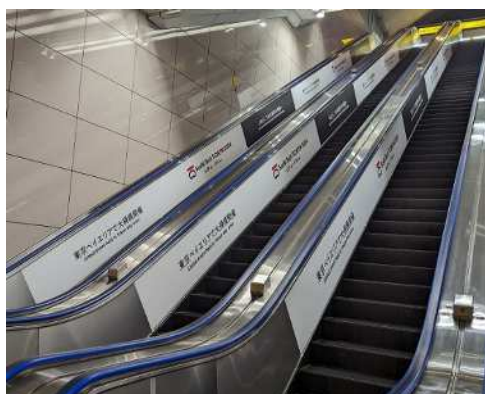
会場周辺の駅や通路、来場者や関係者が利用するルート、車両などを統一的なデザインのフラッグやバナー等で効果的に装飾することで、イベントの認知と開催気運の醸成を図るとともに、都のプレゼンスを国内外に印象付けるため、シティドレッシングを掲出した。掲出内容は以下の通り。



ポスター



アドビラー



エスカレーター機体側面



横断幕



階段蹴り上げ部分装飾



サイネージ



ヘッドマーク



サイネージ



フラッグ



フラッグ

サ 来場者配布用およびスタッフ用各種制作物

イベントの認知と開催気運の醸成を目的として、来場者、ボランティア、運営スタッフ向けにノベルティ等を制作し活用した。



ステッカー



キーホルダー



ハンドタオル



うちわ



ボールペン(2色)



インビテーションカード



キャップ



薄手トートバッグ



厚手トートバッグ



Tシャツ(白・黒)



ポロシャツ(白・黒)

シ キービジュアル

イベント内容を想起させ、来場機運を高める施策として全体および会場ごとにキービジュアルを制作した。公式 HP や会場装飾に活用し、イベントの特色を表現した。制作過程においては複数案を検討し、実行委員の意見を取り入れながら調整を行った。



全体キービジュアル



日本科学未来館キービジュアル





シンボルプロムナード公園キービジュアル



海の森エリアキービジュアル



有明アリーナキービジュアル



(5) 輸送

ア 周遊バス

期間：5月12日～21日 10日間

期間中10日間運行し、のべ17,000人が利用。時間帯や天候による利用数の変動はあったが、長い待ち時間や異常な混雑などはなく、快適に移動いただける周遊環境を整えることができた。幅広い属性の来場者を想定したイベント特性の中で、運行計画に対しての輸送利用率約5割を達成できたことは利用者の快適性と利便性にも配慮した適正な輸送能力であったためと考える。

事前のバス試走やバス運行事業者への説明会、バス乗降場所へのスタッフの適切な配置を行い事故なく計画通り運行できた。燃料電池バスを41台使用し、サステナブルなイベント運営に取り組んだ。一部の乗降場所では案内がわかりにくいという来場者からの声が複数あり、誘導サインやWebサイト記載内容の見直し図ったが、次回への課題である。アンケート回答者のうち35.7%が利用したと回答。

(ア) 運行ルート

a.有明アリーナ会場 開催期間運行バス

有明アリーナ会場へのアクセス向上や各会場間の移動の利便性向上のため、各会場とベイエリアの主要駅を周遊するバスを15分間隔で運行。

・A:有明アリーナ周遊 5月17日～21日 運行 197便

ルート：国際展示場駅前⇒有明アリーナ前⇒豊洲駅前⇒有明アリーナ前⇒国際展示場駅

・B:日本科学未来館周遊 5月18日、19日 運行 66便

ルート：国際展示場駅前⇒東京テレポート駅前⇒日本科学未来館前⇒国際展示場駅前

A:有明アリーナ周遊 5/17～5/21



B:日本科学未来館周遊 5/18,5/19



b.海の森エリア会場 開催期間運行バス

海の森エリア会場へのアクセス向上のため、東京テレポート駅、日本科学未来館と海

の森エリア会場間をつなぐバスを 15 分間隔程度で運行。

- ・ C-1:海の森シャトル 5 月 12 日～16 日 運行 183 便

ルート：海の森水上競技場⇒東京テレポート駅前⇒日本科学未来館前⇒海の森水上競技場

- ・ C-2:海の森シャトル 5 月 17 日～21 日 運行 185 便

ルート：海の森水上競技場⇒東京テレポート駅前⇒日本科学未来館前⇒国際展示場駅前⇒海の森水上競技場

C-1:海の森シャトル 5/12～5/16



C-2:海の森シャトル 5/17～5/21



c. グローバルスタートアッププログラム開催期間運行バス

グローバルスタートアッププログラム来場者の移動の利便性向上のため、東京ビッグサイトと海の森エリア会場、日本科学未来館会場等を周遊するバスを 15 分間隔程度で運行。

- ・ D: グローバルスタートアッププログラム周遊 5 月 15 日、16 日 運行 56 便

ルート：海の森水上競技場⇒日本科学未来館前⇒東京テレポート駅前⇒東京ビッグサイト⇒海の森競技場

**D: グローバルスタートアップ
プログラム周遊 5/15、5/16**



運行中の燃料電池橋

(イ) 運行実績

運行バス台数 154 台 運行便数 687 便うち燃料電池バス運行台数 41 台 運行便数 187 便周遊バス全体の 28.2%を燃料電池バス運行し、サステナブルなイベント運営に取り組んだ。

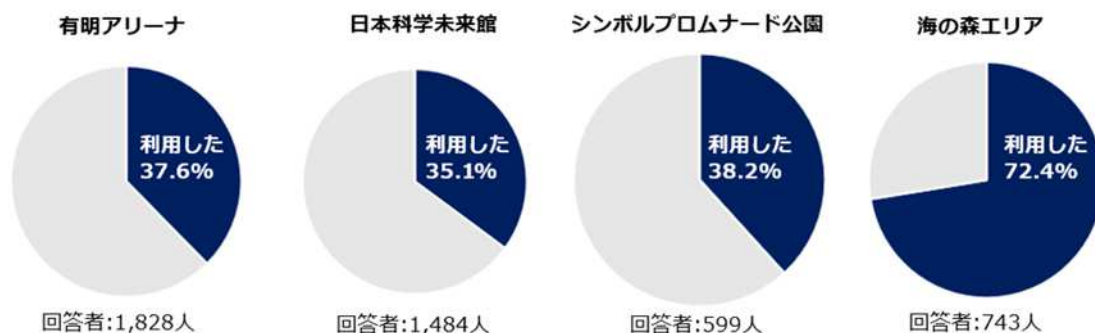
のべ利用者数 17,000 人

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	期間
周遊バス 運行ルート名	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	合計
A:有明アリーナ周遊	—	—	—	—	—	704	2,330	2,251	574	1,082	6,941
B:日本科学未来館周遊	—	—	—	—	—	—	792	766	—	—	1,558
C-1:海の森シャトル	893	176	439	325	381	—	—	—	—	—	2,214
C-2:海の森シャトル	—	—	—	—	—	772	1,254	1,797	573	1,047	5,443
D:グローバルスタートアッププログラム周遊	—	—	—	435	409	—	—	—	—	—	844
期間合計	893	176	439	760	790	1,476	4,376	4,814	1,147	2,129	17,000

(ウ) アンケート回答

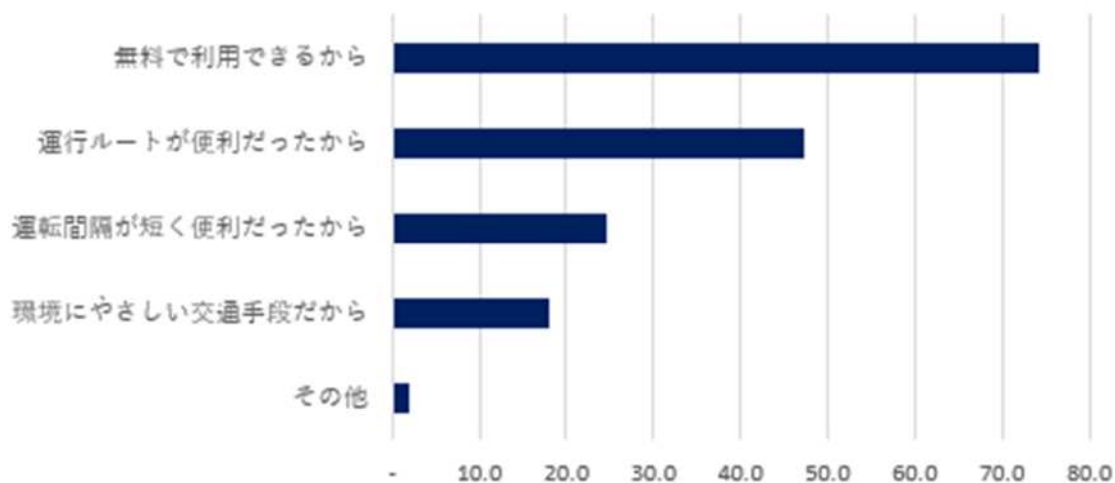
a.来場エリア別利用状況

今後のイベント運営の参考とするためアンケートを実施した。回答者 3,461 人の中で 35.7%が「バスを利用した」と回答。来場エリア別では海の森エリアは 72.4%が利用していると回答。



b.無料周遊バス利用理由（アンケート回答より）

「バスを利用した」と回答した 1,234 人の利用理由は「無料で利用できるから」74.3%、「運行ルートが便利だった」47.2%、「運行間隔が短く便利だった」24.6%、「環境にやさしい交通手段だった」18.0%。料金面での理由が顕著に高く、次いで運行ルートによる利便性が高かった。



イ 水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」運航

期間：5月15日、16日、18日、19日 4日間

事前予約率は95.5%と人気、4日間で966（事前予約者の75%）人が乗船し、海の森エリアへの来場促進に貢献。船内では水素エンジンの説明を実施し、意識変容、高い満足度につながった。その他、乗り心地の快適さ、エンジン音の静かさなどに対する評価が高かった。

（ア）運航ルート

a. グローバルスタートアッププログラム開催期間

東京ビッグサイトと海の森エリア会場間を運航 5月15日、16日 運航 16便

ルート：有明船着場（東京ビッグサイト）⇒ 海の森船着場

b. 日本科学未来館

日本科学未来館と海の森エリア会場間を運航 5月18日、19日 運行 16便

ルート：青海船着場（日本科学未来館）⇒ 海の森船着場



お台場を運行するハイドロびんご

(イ) 定員

定員 40 人（乗務員含まず） 車いすは 1 台固定可能（乗船可能人数は変わらず）
最大乗船可能人数 50 人～60 人（2 階デッキ最大利用時。乗務員含まず）

(ウ) 乗船方法

事前 Web 予約制。1 件あたり最大 5 名予約

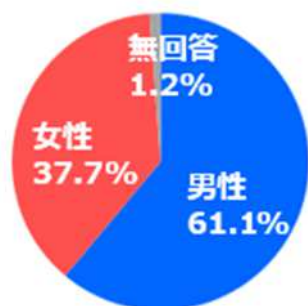
事前予約の枠数は当日の参加率を加味し最大乗船可能数 50 人で設定

当日取消や空席があれば直前まで受付を可能とする

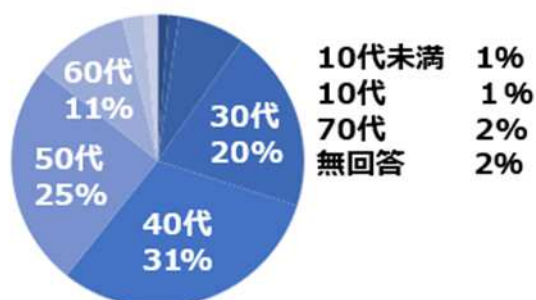
(エ) アンケート結果 アンケート回答者 257 名

a.属性

性別



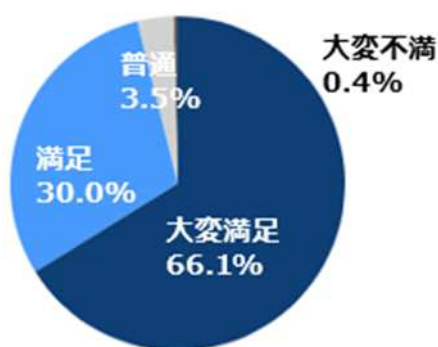
年代



b.満足度

大変満足または満足と回答した人が96.1%。全年代を通じて乗船者の満足度は高かった。

大変不満 0.4%



c.態度変容

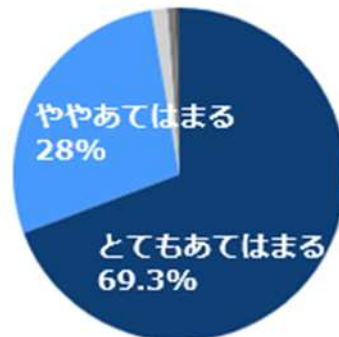
最先端の技術に興味を持てた

「そう思う+ややそう思う」の回答者が 97.3%。

どちらでもない 1.6%

あまりあてはまらない 0.8%

全くあてはまらない 0.4%



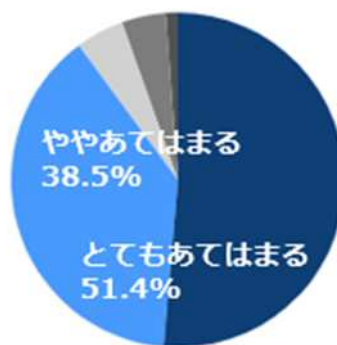
二酸化炭素排出量削減を考えるきっかけになった

「そう思う+ややそう思う」の回答者が 89.9%。

どちらでもない 4.7%

あまりあてはまらない 4.3%

全くあてはまらない 1.2%



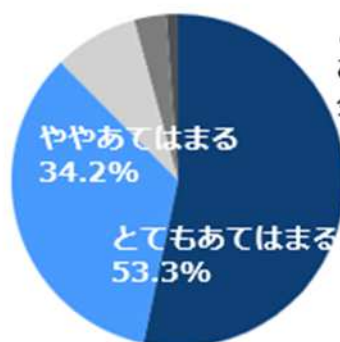
二酸化炭素排出量を意識し移動手段を選択することが大事だと思った

「そう思う+ややそう思う」の回答者が 87.5%。

どちらでもない 8.2%

あまりあてはまらない 3.1%

全くあてはまらない 1.2%



d.主な感想

「音が静かで穏やかに航海できるなと思いました。内装がおしゃれで素敵でした。」など、乗り心地や設備に関するコメントや、「船内での説明アナウンスがとても良かったです。水素エンジン搭載船の仕組みや、船ができるまでの事など知ることができて、水素の利用に家族で興味を持つことができました。」など、船内での説明に対してコメントが多かった。

アンケート回答を一部抜粋

- ・けしきがよかったです。クラゲを見つけました。エンジンのおとがちがうとかんじた。

(10代未満女性／東京都江東区)

- ・船に水素エンジンを搭載することが、どこまで再現性があるのか疑問に思った。しかし取組としては面白い。船の燃料は特に高く、燃費も極めて悪いので、今より安価に船に乗れるなら非常に嬉しいです。

(20代男性／東京都中央区)

- ・ただ乗船するのではなく、ハイドロビンゴの開発経緯などを実際に聞くことが出来て良かったです。

(30代女性／東京都江戸川区)

- ・こどもが船に興味をもててよかったです。最後は別れを惜しむほど、大好きになっていました。

(40代女性／東京都文京区)

- ・興味があり乗船しました。後日に水素エンジンバスにも乗車しましたが、化石燃料より地球環境に良い事、しかし身近なエネルギーとして使うには様々な懸念的があることを、乗船した際、丁寧にわかりやすく説明されてとても勉強になった。

(50代女性／東京都大田区)

- ・船が好きなのでとても楽しめました。環境にも優しい交通手段が増えてくれるといいなと思います。

(60代女性／東京都中央区)

- ・Nice tour and informations, practical way to come back in town after the exposition
素敵なツアーと情報、博覧会の後に都市に戻るための実用的な方法でした。

(30代男性／スイス)



運行の風景



乗船前の来場者



乗船中の船内

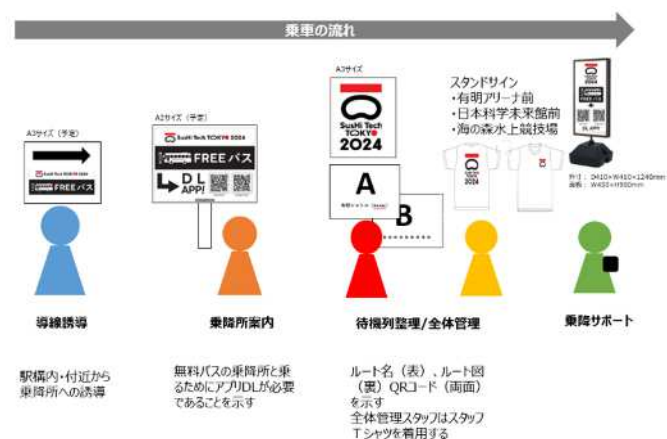


乗船中のデッキ

ウ 乗車・乗船誘導

バス乗降所については、最寄り駅や会場との導線誘導と乗車管理のためにサインを持ったスタッフを配置した。熱中症および雨天時についてはスタッフの体調を配慮し、休憩の頻度を増やし、飲料や飴、雨具など携行品の支給などを行い対応した。会期中にいただいた来場者の声を受け、一部乗降所では配置位置の調整や掲出サインの変更を行った。また、5月21日のyamaライブ開催時間帯については、有明アリーナおよび最寄り駅について時間帯に応じてスタッフの配置の選択と集中を行った。有明アリーナスタッフの誘導とも連携し大きなトラブルなくスムーズな誘導を行えた。

乗車の流れに沿ったサインおよびスタッフ配置一例





誘導中のスタッフ



雨天時の対応

スタッフの配置数

停留所名	合計	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日
国際展示場駅	29	0	0	0	0	0	6	6	6	5	6
有明アリーナ前	19	0	0	0	0	0	4	4	4	3	4
豊洲駅	25	0	0	0	0	0	5	5	5	5	5
東京テレポート駅前	54	6	5	5	5	5	6	6	6	5	5
日本科学未来館前	33	4	3	3	3	3	3	4	4	3	3
海の森水上競技場	33	4	3	3	3	3	3	4	4	3	3
東京ビッグサイト	10	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
デポ対応	15	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
有明客船ターミナル	8				4	4					
海の森船着場	16				4	4		4	4		
青海客船ターミナル	8							4	4		

エ 緊急連絡体制について

周遊バスと水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」のそれぞれの運行にあわせた緊急時連絡体制を整えた。特に、水素エンジン搭載船の運航については、運休判断のタイミングと基準、判断後の対応フローを整えた。

水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」の運航判断について

▶運航判断のタイミングについて ①前日17時（予定）②横浜港出港時（初便2時間前）③東京湾通過時（初便1時間前）④出港直前 前日判断されずケースは台風規模の予報がある場合のみでこの時期は現実的に起こらない想定。当日の予報更新が朝8時に行われる。 ※運休判断をする場合のみ連絡をする。 ▶運休の基準 運航エリアが風速13m以上、波高1m以上、視程300m以下 船長が運行を判断するほか、運航前日・当日ともに基準を超える可能性がある場合は、運航会社→運営本部→主催者に報告、運航の回を確認する。 ▶運休時の対応 申込者に対し、メールで運休を連絡。運休しても現地案内のためスタッフはターミナルに配置する。 ※配信所要時間：依頼後1-1.5時間、メール配信依頼：LINEワークス

(6)警備計画・危機管理対応方針

ア 警備計画

警備計画として、警察、消防等の関係機関の協力の下、イベント開催における安全対策、災害等を含む非常時対応、秩序維持に努め、あらゆる観点からの事案を想定した計画の立案、連絡・調整を行い、自主警備の管理・実施した。

イベントに関わるすべての警備運営に関し、指揮命令系統を一元的に管理し、警備員・係員・ボランティア等それぞれの役割を明確にした上で、組織的な警備体制を確立し、安全かつ円滑なイベント運営を行った。

(ア) 警備会場（警備期間）

- ・有明アリーナ会場（5月17日～21日）
- ・日本科学未来館会場（4月27日～5月26日）
- ・シンボルプロムナード公園会場（5月12日～26日）
- ・海の森エリア会場（5月12日～21日）
- ・輸送（バス乗降場所・水素船船着場 他）（5月12日～21日）

(イ) 警備方式と主な業務内容

警備業法第2条に定める2号業務（交通誘導、雑踏）を実施した。

主な業務内容は下記のとおりである。

- ・一般道路や交通法にかかわる来場者の誘導、安全管理。
道路上や交差点等での来場者の流れを円滑にするため誘導。
- ・車両誘導と一般導線の管理。
バスの誘導やイベント搬入トラック等の誘導と一般の来場者の安全を確保するための交通誘導等。
- ・近隣住民等への配慮。
- ・来場者が過度に密集しないよう人流をコントロール。
- ・展示物等の保全のための警備。
- ・夜間警備（シンボルプロムナード公園、海の森エリア等）
夜間の保全のための警備。

(ウ) 警備実施体制

- ・警察やその他関係機関と連絡・調整し、警備体制を編成した。
それぞれの職務や業務区分を明らかにするため、体制を整えた。
- ・無線機等の通信方法により、必要な連絡・報告を行うことのできる体制を整えた。
- ・運営スタッフは警備部門に属さないが、イベント運営を行う上で警備部門との連携は必要不可欠である為、実施本部を通して十分な連携を図る体制とした。

イ 危機管理対応方針

危機管理対応方針として、地震、風水害、火災、感染症、酷暑等による自然災害（以下、「災害」という。）やテロ、雑踏事故、停電、食中毒等の事故（以下、「事故」という。）が発生した場合は、来場者と関係者の安全確保を最優先に考慮し、施設管理者等とも連携しながら、迅速な判断と適切な対応を実施した。災害や事故が発生した場合に備え、発生時の避難計画や対応方法、事前の安全対策を具体的に記載した危機管理対応マニュアルを以下の観点を踏まえ作成した。

（ア）被害防止に向けた関係機関との連携

災害や事故に起因する被害の発生を未然に防止するため、警察や消防等とも連携し、被害防止に向けた取組を実施。また、警察、消防、保健所、自治体等への緊急連絡体制や来場者等の避難誘導方法等を、研修や訓練等を通じてスタッフ全員で共有した。各会場の施設管理者とも連携しながら巡回・点検を実施することで、安全に執り行い、来場者へ安心と安全な環境を提供した。

（イ）災害・事故発生時の対応

災害等が発生する恐れがある場合や、現に災害等が発生している場合の中止・延期等の判断にあたっては、会場共通の具体的判断基準について危機管理マニュアルに定めるとともに、具体的な手順は当該マニュアルに基づき対応することとした。

イベントの中止・中断・延期等にあたっては、来場者や関係者の安全を確保することを最優先に、関連する気象情報や公共交通機関等の情報等も参考に判断した。

（ウ）食中毒への対策

食品を取り扱うことを踏まえ、食中毒等の事故を出さないよう、事故防止に向けた取組を実施した。特に、高温が予想される時期であることを踏まえ、提供事業者には衛生面も含めた適切な注意喚起を行った。

（エ）情報セキュリティ

東京都サイバーセキュリティ対策基準と同様の水準で情報セキュリティを確保することを目標とし、情報セキュリティの確保に向けた具体的な取組を行った。また、適切な対策を講じるための具体的手順を策定した。

（オ）個人情報の保護

本プログラムの開催に伴い個人情報を取得する場合は、プライバシーポリシーを定めた。また、法令や当該ポリシーに基づき、データ・情報等の使用・保存には、細心の注意を払い、外部に漏えいすることのないよう万全の対策・体制を講じた。

(7) ボランティア

都民を中心とした多くの方にボランティアとしてご参加いただき、プログラムを楽しみながら、東京の未来をともに考えていく機会とした。

ア 活動概要

(ア) 応募要件：令和6年4月1日現在18歳以上の方

申し込みにあたって下記の通りアナウンスをした。

- ・ 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます、その際は 都内在住の方又は都内通勤・通学の方、3日以上活動できる方を優先させていただきます。
- ・ 当日の活動内容はお選びいただけませんのでご了承ください。
- ・ 活動中及び事前オリエンテーションなど、事務局とのやり取りは原則日本語で対応させていただきます。
- ・ 応募の際に、活動する時間と会場を選択いただきます。プログラムの実施期間中、複数の会場で活動いただくことも可能です。活動する会場はご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
- ・ 活動時間・場所は運営状況によって変わる可能性があります。
- ・ 集合時間・場所等の詳細は、当選の方に別途ご連絡します。

(イ) 日程：4月26日～5月26日

(ウ) 会場：

日本科学未来館 4月26日～5月26日

※5月7日、14日は休催、4月26日は準備日

シンボルプラムナード公園 5月12日、18日、19日、25日、26日

海の森エリア 5月12日～21日

有明アリーナ 5月17日～21日

(エ) 活動内容：来場者案内・受付・問い合わせ対応、体験・展示の運営補助、多言語等サポートなど

イ スケジュール

(ア) 募集期間

令和6(2024)年2月27日10時00分～3月31日23時59分

2月27日にSusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムのHPで募集告知

(イ) ボランティアオリエンテーション

令和6(2024)年4月20日、21日 10時00分～11時15分 オンライン

講師：各日1名



オリエンテーション資料

ウ ボランティア詳細

- ・応募数：628 人
- ・ユニーク数：520 人
- ・延べ数：1,805 人
- ・活動年齢（5 月 26 日時点）：最年少 18 歳、最高齢 87 歳
- ・活動日数分布：

1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日
93 人	127 人	109 人	69 人	47 人	25 人	14 人

8 日	9 日	10 日	11 日	13 日	15 日	16 日	21 日
11 人	7 人	8 人	2 人	4 人	2 人	1 人	1 人

- ・登録時年齢別人数

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
10 人	37 人	23 人	44 人	170 人	220 人	114 人	10 人

・登録時職業別人数

会社員	自営業	パート・ アルバイト	主婦・ 主夫	学生	公務員	その他
226 人	44 人	96 人	89 人	36 人	27 人	110 人

エ ボランティア用配布物

- ・ボランティアウェア（黒・白の T シャツ）



- ・記念品（トートバッグ、タオル、ステッカー）
- ・キャップ、レインコート（屋外活動時など必要に応じて）
- ・交通費（QUO カードまたは QUO カード Pay）
- ・ボランティアパス
- ・会場ごとのノベルティ

オ ボランティア事務局

開設期間：令和 6（2024）年 2 月 27 日 10 時 00 分～6 月 28 日 18 時 00 分

対応時間：10 時 00 分～18 時 00 分（祝・休日を除く）

対応方法：メール及び電話

対応言語：日本語

問い合わせ件数：①電話対応 198 件（一日あたり最大 9 件）

応募に関して	21
説明会に関して	18
活動に関して	111
マイページに関して	27
活動証明書に関して	2
ご意見／クレーム	1
その他	18

②メール対応 349 件（一日あたり最大 19 件）

応募に関して	21
説明会に関して	50
活動に関して	189
マイページに関して	48
活動証明書に関して	12
ご意見／クレーム	2
その他	27

カ 活動後アンケート

(ア) アンケート回答

a. 回答者数：287 人

年代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人数	1	4	5	23	79	128	42	5

b. 各回答

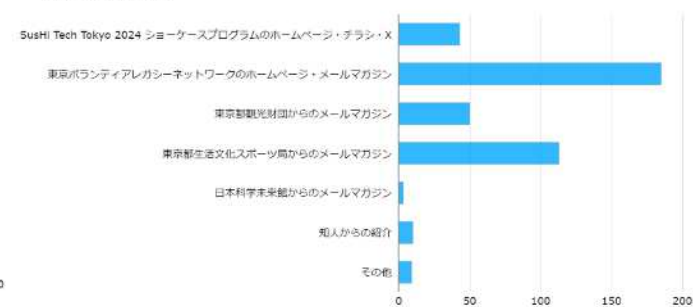
Q1 これまでに参加したことのあるボランティア活動【必須】

回答数：287 無回答：0



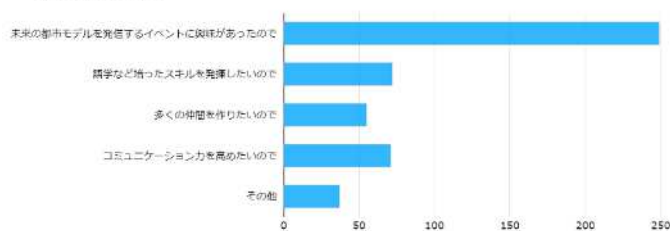
Q2 今回のボランティア活動を知ったきっかけ (複数回答可)【必須】

回答数：287 無回答：0



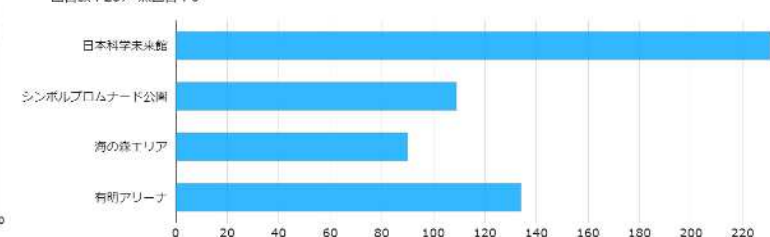
Q3 今回のボランティア活動に参加した理由 (複数回答可)【必須】

回答数：287 無回答：0

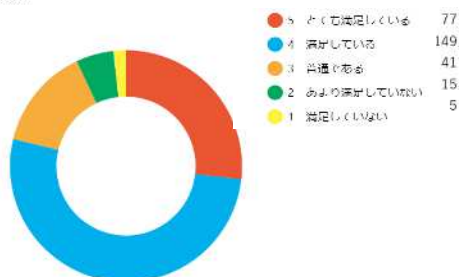


Q4 今回ボランティアとして活動した会場 (複数選択可)【必須】

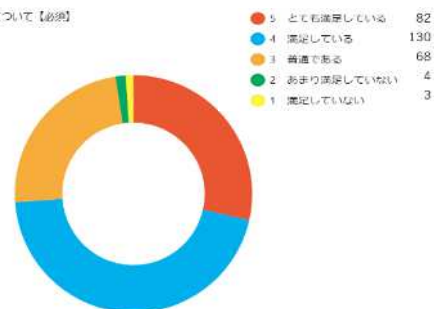
回答数：287 無回答：0



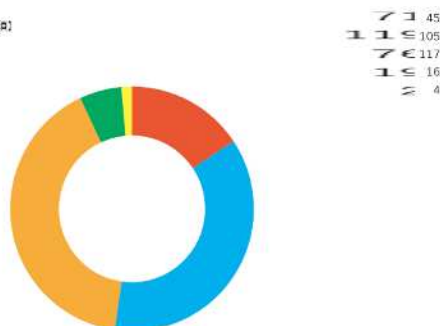
Q5 今回のボランティア活動の満足度【必須】
回答数：287 無回答：0



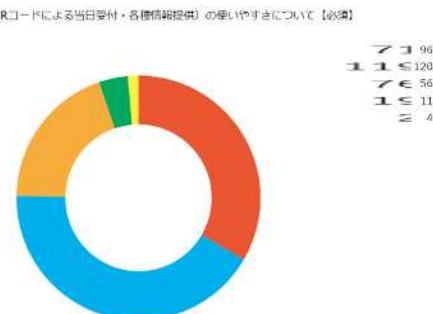
Q7 応募登録システムの使いやすさについて【必須】
回答数：287 無回答：0



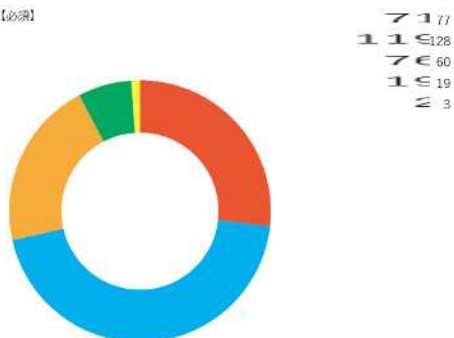
Q9 オリエンテーションについて【必須】
回答数：287 無回答：0



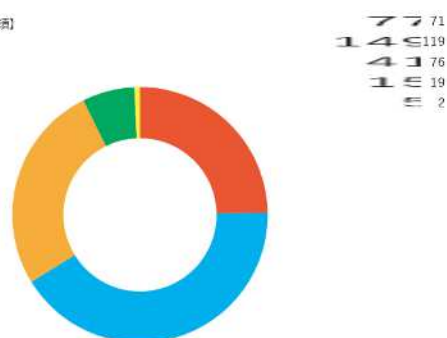
Q11 マイページ（シフト変更登録・QRコードによる当日受付・各種情報提供）の使いやすさについて【必須】
回答数：287 無回答：0



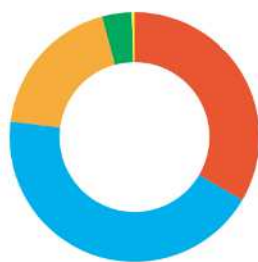
Q13 会場運営スタッフの対応について【必須】
回答数：287 無回答：0



Q15 活動中の休憩の頻度について【必須】
回答数：287 無回答：0



Q17 昼食／夕食について【必須】
回答数：287 無回答：0



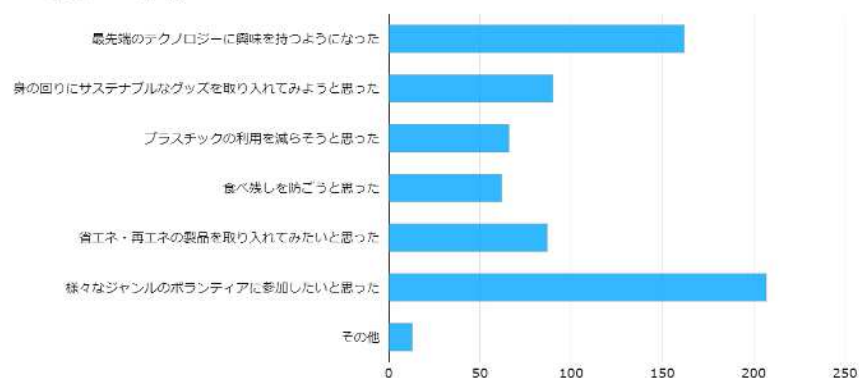
Q19 ボランティアウェアについて【必須】
回答数：287 無回答：0



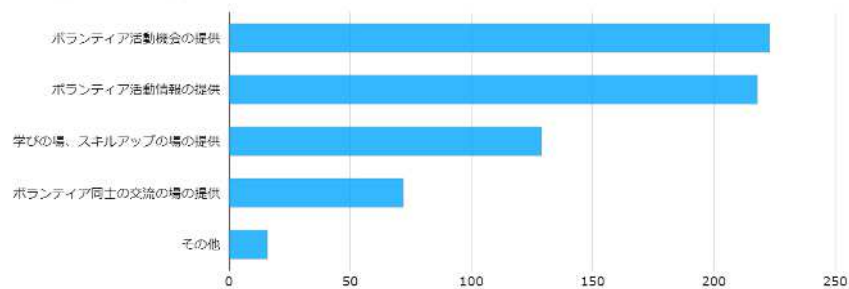
Q21 コンテンツ体験について【必須】
回答数：287 無回答：0



Q23 ボランティア活動をきっかけに積極的に取り組むようになった、又は取り組みたいと思うようになったこと（複数回答可）【必須】
回答数：287 無回答：0



Q24 ボランティア活動続けるにあたり、行政に積極的に取り組んでほしいこと（複数回答可）【必須】
回答数：287 無回答：0



c.自由回答

- ・ 参加しないとなかなか触れない世界だったので楽しかったです。
- ・ お客さんを接することだけでなく、自分も体験してたのしんでいただきました。
- ・ 未来の体験！ 色々な事が未来に向けて進んでいる事が感じられる素晴らしい体験でした。同時に地球環境を守り持続な環境を造りの必要性をひしひしとを感じる時間でした。
- ・ 複数の会場に参加させていただき、たくさんのボランティアの方と一緒に楽しく活動できました。 また、海外からの客様に英語で対応する機会もあり、少し自信が付きしました。
- ・ 運営側の方々もしっかりボランティアの運用を考えてくれていて活動がしやすかった。 また、イベント自体も楽しく、ボランティアにも体験する機会を頂けたのでイベントを体験しつつボランティア活動をするという楽しい活動であった。
- ・ 初めてのボランティアでした。イベントを盛り上げるためなどおもてなしや奉仕精神、丁寧に熱心に活動されている方を間近にみて、大いに社会勉強になりました。

キ 記録写真

(ア) 日本科学未来館



来場者の誘導



展示内容の説明

(イ) シンボルプロムナード公園



フードエリアでゴミを拾うボランティアフード



モビリティ体験者の誘導するボランティア

(ウ) 海の森エリア



展示内容の説明



ノベルティの配布

(エ) 有明アリーナ



開場前の打ち合わせ



来場者の問い合わせ対応

ク 高校生ボランティア

活動日：5月12日・13日、15日～21日、25日・26日

活動場所：日本科学未来館、シンボルプロムナード、海の森公園、有明アリーナ

活動内容：来場者誘導、来場者への声かけ、運営補助

(8) レセプション

他のプログラムの参加者との交流を図るため、登壇者や協賛企業等が参加しレセプションを行った。

日時：令和6（2024）年5月15日19時00分～20時30分

会場：東京會館

2 会場運営

(1) 会場共通ガイドライン

本プログラムの目的や目標を踏まえ、各会場においてサステナブルな未来の実現に向けた地球環境への配慮や多様性・包摂性のある運営を実施し、都民等に対し持続可能なイベント開催のあり方を提示できるよう、各会場に共通するガイドラインを作成した。

ア サステナブルな運営

持続可能な資源利用の実現に向け、サステナブルな運営とする。

(ア) 設営資材・物品利用の3R

設営資材や使用する物品等については廃棄物・廃材を少量に抑える（Reduce）とともに、その調達においては再利用（Reuse）やリサイクル（Recycle）が可能なものを使用するよう努めた。また、使用後やむを得ず廃棄するものに関しては、環境に配慮した素材から選択するなど、3Rを前提とした設営に努めることにより廃棄量を削減した。

再利用品の活用

- ・屋内外のブース等の設営、備品等については、レンタル・リース品などを活用し、繰り返し他のイベントでも使用できるものを選択した。

・リサイクル可能な素材の活用

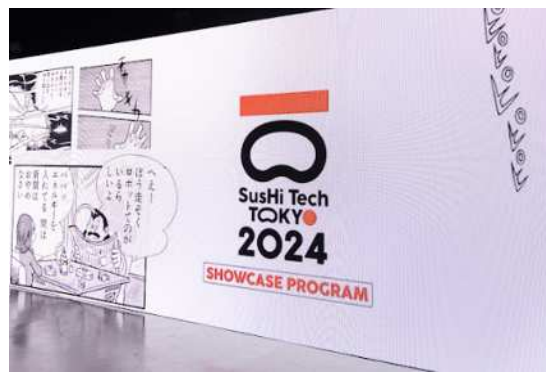
制作物については、使用後リサイクル可能な素材を使用した商品を活用するよう努めた。また、会場案内や情報の掲示等デジタルツールで代替可能なものは、廃棄物抑制に向け極力代替品を活用した。

〈日本科学未来館会場〉

展示室壁面などの設営において、レンタル・リース品などを活用した。また、イントロダクションの映像などではLEDを活用し、デジタルによる代替などを積極的に行った。



会場入り口 壁面



会場内 イントロダクション映像LED

〈シンボルプロムナード公園会場〉

廃材を活用したベンチやステージ装飾を設置することで、資材利用の抑制に努めた。



廃材を活用したベンチ

〈有明アリーナ会場〉

設営においてはレンタル・リース品を活用し新規の素材購入などを抑制したほか、会場内サインはLEDやモニターを活用しパネル類の廃棄物などを削減した。また、スタッフ・関係者用弁当等で手配数を極力削減しフードロスが無いよう努めた



有明アリーナ 会場

(イ) 食品ロスの削減

各会場において提供する食品については、食品ロス発生の低減を図った。発生抑制等に最大限努めた上でも発生する食品ロスについては、飼料化・肥料化等によるリサイクルを推進することで有効活用にも努めた。

〈日本科学未来館会場〉

小学生向けのワークショップ「こども発明教室～しょく～『フードロスのない世界を発明しよう!』」をオイシックス・ラ・大地株式会社による協力のもと実施。食品ロスの削減を啓蒙する取組として参加者や保護者にその大切さを伝えた。



ワークショップに参加するこども達

〈シンボルプロムナード公園会場〉

- ・キッチンカー出店事業者・店舗に対して、事前の出店者説明会、出店マニュアル等において極力食べ残しやフードロス等のないよう依頼を行った。また、一部店舗で陸上養殖サーモンの寿司を提供するなど、サステナブルな食品の紹介も実施した。
- ・発生してしまった売れ残り品については各出店事業者・店舗による持ち帰りを実施。また、食品ロスを削減するフードシェアリングサービス「TABETE」のアプリを各出店者に対して事業者側から案内を実施。特設ブース(HUTTE)の出店4店舗およびキッチンカー出店者1店舗の計5店舗が導入を行った。
- ・ロングテーブルでの体験参加型企画としてオイシックス・ラ・大地株式会社の協力で「YUKIYAMESHI×Oisix」を実施。規格外野菜や未利用魚などを活用したフードメニューの実食に加えて、生産者らとともに、「食の問題」について「今後のアクション」を考え、意思表示する参加型プログラムも実施した。
- ・屋外フードエリアの出店者に対して環境配慮型の容器を使用するよう促した。一部キッチンカーではココナッツの殻を容器として回収するなど削減に努めた。



養殖サーモンの寿司



ロングテーブルでの体験参加型企画

〈有明アリーナ会場〉

持続可能な海を目指すフードジャーナリストとトップシェフ約30名が参加する料理人チーム「Chefs for the Blue」の協力による、未利用魚などを食材として活用したミールボックスを提供するイベントを実施。サステナブルな食材を紹介した。



キッチンカー



「Chefs for the Blue」によるイベント

（ウ）プラスチックの削減

飲食の提供に関するプラスチック容器の削減について、関係機関とも連携・相談しながら検討を進めた。また、やむを得ずプラスチックを使用する場合は、「都庁プラスチック削減方針」を踏まえ、再生プラスチック等を優先利用するよう努めた。

〈シンボルプロムナード公園会場〉

ロングテーブル企画や特設ブース（HUTTE）で提供したメニューの一部の容器（皿、カップ）に循環型食器「edish（エディッシュ）」を活用。使用済みの皿については回収後、指定業者により炭にされ、農業利用された。



循環型食器「edish(エディッシュ)」

・リユースカップ

セントラル広場のフードエリアでは、特設ブースやキッチンカーなどの店舗および5月25日のロングテーブル企画「YUKIYAMESHI×Oisix」の参加者向けに、環境局が進めるリユースカップを使用した



「YUKIYAMESHI×Oisix」の食事



リユースカップ

(エ) 省エネルギー・再生可能エネルギー利用の取組

本プログラムの運営において、HTT の考え方も踏まえ、省エネルギーや再生可能エネルギー利用に向けた取組を実施した。

a.省エネルギーの取組

設置する照明器具は、LED 照明を原則とし、空調設備の設定温度は来場者の健康に影響を及ぼさないことに留意しつつ、会場ごとに適切な温度に設定した。

〈有明アリーナ会場〉

会場内で LED ビジョンや照明などを用いたほか、設営および撤去時などで空調の温度を下げすぎないように会場側と調整を行ったほか、こまめな消灯などを行い省エネに努めた。



有明アリーナに設置した LED ビジョン

b.再生可能エネルギー利用の取組

- ・会場内のエネルギー利用については、再生可能エネルギーの利用を推進した。
- ・会場内の太陽光パネルと蓄電池により、コンテンツなどの供給電力の一部を再生可能エネルギーで補った。

〈シンボルプロムナード公園会場〉

- ・モビリティ体験の車両はすべて電力エネルギーを電源とするもので実施した。
- ・蓄電池型ポータブル電源を一部のエリアで使用し、ガソリン型の発電機の使用を抑制した。



電力エネルギーを電源とする車体



蓄電池

〈海の森エリア会場〉

- ・DJ 体験コンテンツの電源に先行プロジェクト「東亜道路工業」の太陽光エネルギーを利用した。
- ・スタッフの移動を含めすべて電動（一部アシスト）モビリティを使用した。



太陽光エネルギーを電源とした DJ 機器を体験することも



使用した電動モビリティ

（オ）ペーパーレスの推進

都のペーパーレスの方針に基づきペーパーレス化を推進し、環境への負荷を軽減するよう努めた。

a.紙資料・印刷物の削減

打ち合わせや会議においては、極力紙出力を削減しモニター等を活用したペーパーレス会議を実施。また、広報に関して、ポスター・紙チラシでの配布に限定せず、デジタルツール（ウェブ、SNS 等）を有効活用した。

b.QR コードの活用

紙の使用量を減らしつつ、興味のある方が詳細な情報にアクセスすることができるよう、宣伝・告知物には QR コードを添付した。

〈全会場〉

アンケート回収/QR による入場・参加認証

イ ダイバーシティ & インクルージョンへの配慮

持続可能で公平な社会の実現に向け、多様性・包摂性に配慮した運営を行った。

(ア) 多言語対応

「SusHi Tech Tokyo 2024」の他のプログラムに参加するため来日する方や国外からの旅行者など、日本語を母語としない方の来場者に向けた多言語対応を実施した。

・技術パートナー：ポケトーク株式会社

4会場での接客にあたり、小型翻訳機「ポケトーク」の提供を受けた。お台場のエリアは外国人観光客も多く、多言語でのコミュニケーションに役立った。有明アリーナや日本科学未来館では、外国人が登壇するトークイベントの翻訳としても、同社の技術が生かされた。

a.公式 HP での言語対応

公式 HP における言語対応に関しては、原則日本語・英語の2言語対応とし、掲出されている情報発信は日本語のみならず英語でも行った。

b.案内表示における言語対応

会場における案内表示、サイン、看板、サイネージ等においては日本語・英語の2言語を基本とし、その他の言語に関しては、会場ごとに必要に応じて対応を行った。



有明アリーナ会場内 案内モニター



シンボルプロムナード公園内 看板

c. ステージプログラムにおける言語対応

ステージプログラムに関しては、自動翻訳機能等のデジタルツールを活用した。



日本科学未来館 自動翻訳機能の活用

(イ) 多様な宗教等への配慮

来場者がさまざまな文化圏から来ることを想定し、適切な食事の提供やアレルギー表示などのニーズに対応することで、誰もが安心して参加できる環境づくりを行った。

a. 食事の提供

提供する食事にはハラルやアレルギー情報などを明確に表示することで、来場者が自分の制限に合わせて選択できるように努めた。

〈有明アリーナ〉



キッチンカーに掲出されるハラル・アレルギー情報

(ウ) 障害者等への対応/アクセシビリティ

障害者への合理的配慮の提供などにより、バリアフリー、アクセシビリティの確保や情報保障への対応を実施した。高齢者について、会場内の快適な移動やアクセシビリティの確保などの対応を行った。

a. バリアフリー対応

会場内の設備の配置、車椅子利用者向けのスペースやトイレの設置など、バリアフリーに配慮し、障害者や高齢者がスムーズに移動できる環境を整えた。

b. 入場予約方法の確保

様々な方が来場可能となるよう、スマートフォンのアプリケーションのほか、ホームページ上での入場予約も実施した。



前のページに戻る

ホームページからチケット予約が可能

c. ピクトグラム

ピクトグラムは外国人旅行者や障害者、高齢者を含めたすべての人にとって、案内サインを理解してもらうために有用な手段の一つであることから、施設案内等に活用した。

TDM 1874 Brewery					
Menu/Food Pictograms					
No.	品名	品名(英語)	品名(英語)	アレルギー	アレルギー
1	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
2	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
3	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
4	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
5	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
6	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
7	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
8	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
9	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
10	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
11	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
12	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	
13	ビール(小麦・大麦・ホップ・酵母)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	Beer (Wheat, Barley, Hops, Yeast)	小麦・大麦	

ピクトグラムを使用したアレルギー情報

(エ) 子育て対応

子育て中の方が、安全かつ安心して来場が可能となるよう、環境面や安全面に配慮し必要な設備等を設置した。

a. ベビールームの設置・提供

おむつ替えや着替え、授乳などに利用できるベビールームを設置した。

b.託児サービス

子連れの来場者がステージイベント等を気兼ねなく観覧することができるよう、会場の企画内容を踏まえ、託児サービスを提供した。

c.ベビーカー対応

快適な施設環境を確保し、ベビーカーの利用に配慮しバリアフリーな設備や充分にスペースを確保した通路を提供する。

(オ) ジェンダー平等

基調講演者やスタッフ等に対して、性別に基づく差別や偏見なく公平な待遇を行った。

a.ジェンダーバランスへの配慮

基調講演者や出演者についてジェンダーバランスへの配慮を行い、登壇者の女性比率は50%以上を目標とした結果、最終的には47%となった。

ウ 来場者利便性の向上

来場者の満足度の向上を図るとともにユーザーフレンドリーな運営に向け、利便性向上を図る各種取組を行った。

(ア) 各種サービスの提供

国内外からの多様な来場者がより快適に過ごすことができるよう、利便性向上に向けた各種取組を実施した。

a.案内所の設置

案内所を設置し、コインロッカーやベビーカーの一時お預かりや貸出などのサービスを用意するとともに、誰でも安心して利用して頂けるインフォメーションの機能を提供した。



日本科学未来館 インフォメーション

b.関連プログラム等の案内

同時期に開催される「SusHi Tech Tokyo 2024」の他会場のプログラムや同じエリアで実施される連携イベントへの周遊促進に向け、来場者への案内を実施した。

〈海の森エリア〉



他会場のプログラムを紹介するパネル

(イ) ユニバーサルデザイン

利用者本位、人間本位の考え方に立って快適な環境をデザインする「ユニバーサルデザイン7原則」の考え方に基づき、全ての人が迷うことなく快適かつ安全・安心して利用できる会場作りに配慮した。

エ DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応

未来の東京を描くプログラムとして、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応を行った。

(ア) ホームページでの情報発信

都民や国内外に向け、本プログラムの魅力や公式情報を発信する媒体として、公式ホームページを制作した。

ユニバーサルデザイン

あらゆる人々が利用しやすいよう、明確かつシンプルなデザインによるホームページを制作。日本語・英語の2言語対応を行った。

(イ) アプリ

「Sushi Tech Tokyo 2024」を構成する3つのプログラム（グローバルスタートアッププログラム、シティ・リーダーズプログラム、ショーケースプログラム）を包含したワンストップアプリを開発し、各プログラムの内容閲覧や来場者登録、コミュニケーション機能の搭載など、利便性向上及び交流コンテンツの一つとして活用した。

a.機能

3つのプログラムのスケジュール、マップ表示の他、来場者同士のコミュニケーション機能等を搭載した。

b.ユニバーサルデザイン

あらゆる人々が利用しやすいよう、明確かつシンプルなデザイン、直観的なナビゲーションなどを導入した誰でも利用しやすいアプリとした。日本語・英語の2言語対応とした。

c.リアルタイム情報の提供

セッションの内容、講演者情報など、リアルタイムで必要な情報にアクセスできるよう努めた。

(ウ) デジタル技術の活用

VR、XR や 5G、フリーWiFi、デジタルサイネージなどのデジタル技術を活用し、利便性の向上、顧客体験の向上などにつながる取組を行った。

VR、XR 視聴に向けた環境整備

VR や XR などの技術を活用した顧客満足度の高い映像コンテンツを提供できるよう、5G やフリーWiFi など、安定した通信環境の整備に努めた。

オ ボランティアスタッフとの協働

ボランティアネットワーク等のレガシーを活用し、年齢・性別・国籍・障害の有無等に関わらずボランティアの募集を行った。

募集概要

- ・公式 HP などからの募集受付を検討するほか、「東京ボランティアレガシーネットワーク」での募集告知など、過去にボランティア活動を経験したことのある方々にもアプローチし募集を実施した。
- ・次世代を担う若者に積極的に参画していただく観点から、学生ボランティアにも参加いただいた。



学生ボランティア



(2) 日本科学未来館

最新のテクノロジーやサステナビリティを楽しく体験し、課題解決に向けたアイデアをこどもたちに表現してもらうことをコンセプトに、28 日間にわたって開催。10 代未満（24%）と 40、50 代（あわせて 41%）の親子連れを中心に約 97,000 人が来場した。

場所：日本科学未来館（江東区青海 2-3-6）

日程：4 月 27 日～5 月 26 日 会期：28 日間

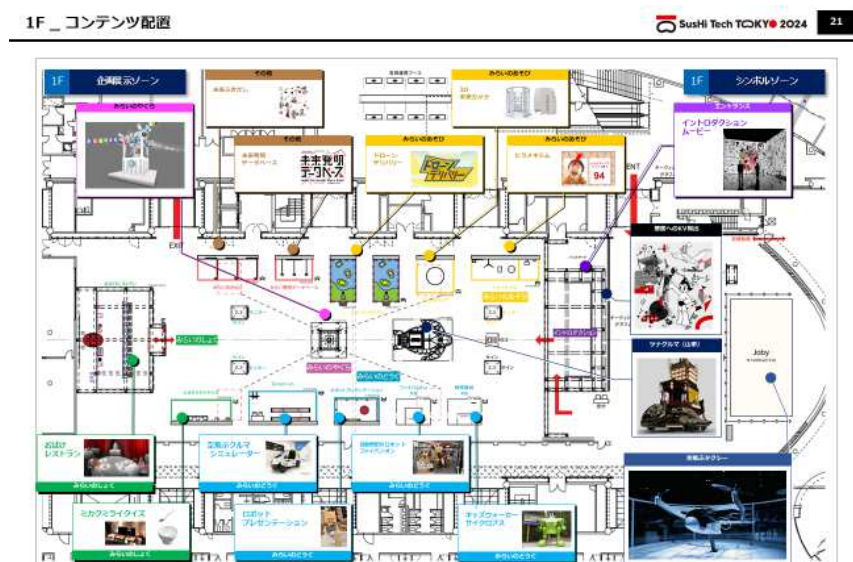
コンセプト：学び欲／創造欲を刺激する未来の緑日の空間の中で、未来／科学／テクノロジー／サステナビリティなどついて楽しく体験し、考える。そして東京の未来をつくる“発明”を学び、自らも東京の未来をつくる“発明家”になる。今の課題とその解決につながる発明を学び、刺激を受け「吸収」し、自分なりの“発明”を「表現」する。全方位で、来場者が楽しく「吸収」と「表現」を行える空間を目指す。

来場者数： 約 9 万 7,000 人

実施内容：

ア 1 階展示ゾーン「みらい発見フロア」

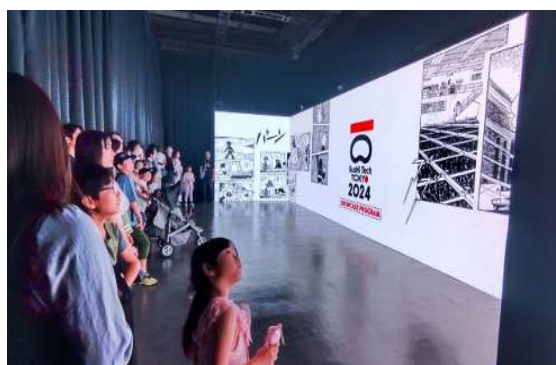
未来になぜその発明が必要なのかという答えを、こどもたち自身が発見することができるよう、様々な最新技術などを用いた体験型展示を実施。「みらいのどうぐ」「みらいのあそび」「みらいのしょく」の 3 ゾーンとその他コンテンツで構成。



コンテンツ配置図

(ア) イントロダクション

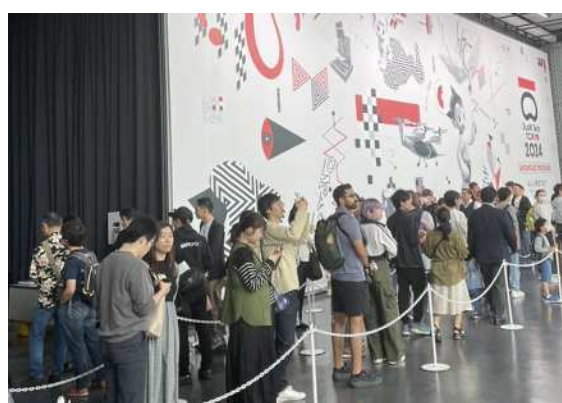
展示室冒頭に映像コーナーを設置し、鉄腕アトムをはじめとする手塚治虫作品のキャラクターたちが登場。没入感のある映像で、未来のテクノロジーへの思いを喚起し、こどもたちに体験してほしいミッションを伝える映像を放映した。



イントロダクション



イントロダクション前 入口



イントロダクション前 待機列



イントロダクション 映像

(イ) みらいのどうぐゾーン

未来の生活を便利で豊かにする「どうぐ」を、最先端のロボットやシミュレーターなどを通じて学ぶことができるエリアを設置した。

a. ロボットプレゼンテーション

ロボットたちが楽しくしゃべりながら、ロボットの歴史を説明する体験型展示を実施。2050年の様々な暮らしのなかで、ロボットがどんな風に活躍しているか、人間とロボットの関わりについてプレゼンテーション。

・技術パートナー：ユカイ工学株式会社

動きながら話すことができる同社のロボット「TONY ROBOT」が提供された。ロボット自身がロボットの歴史について紹介する新しいコンテンツを生み出した。



ロボットプレゼンテーションの様子

b.空飛ぶクルマシミュレーター

実用化に向けて開発が進む空飛ぶクルマの体験型シミュレーターを設置。最先端の装置で実際に空を飛んでいるような体験を VR により提供した。

・技術パートナー：Dream On

実用化に向けて開発が進む、空飛ぶクルマに興味をもってもらう場とした。機体が提供されたほか、前後に動かす体験日には担当者が来場し、対応にあたった。



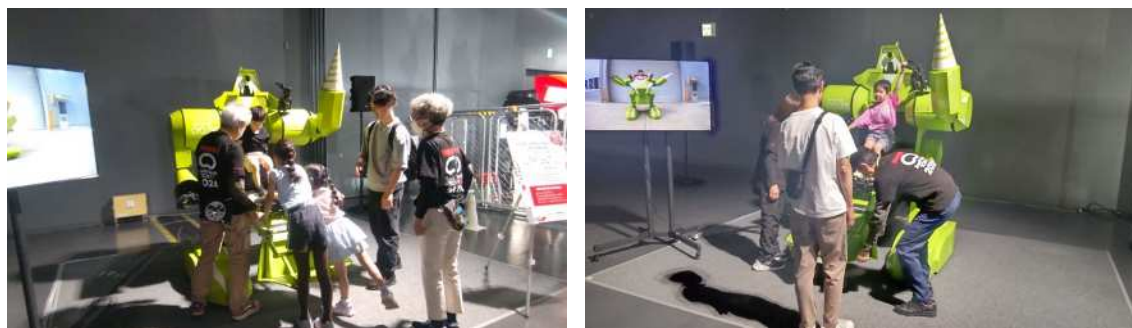
空飛ぶクルマシミュレーター

c.キッズウォーカー・サイクロプス

簡単な操作でこどもでも気軽に操縦体験ができる乗用ロボットを展示。5月17日、18日、19日は、実際に乗り込んで操作が可能な体験会を実施（それ以外は乗り込みと記念撮影のみ可能）。

・技術パートナー：榊原機械株式会社

簡単な操作で、こどもも気軽に操縦体験ができる乗用ロボットを通じ、ロボットの未来について考えるきっかけを作った。ロボットが提供されたほか、実際に乗り込んで体験できる日には担当者が来場して対応にあたった。



キッズウォーカー・サイクロプス 乗り込み体験

d.自動車変形ロボット ファイバリオン

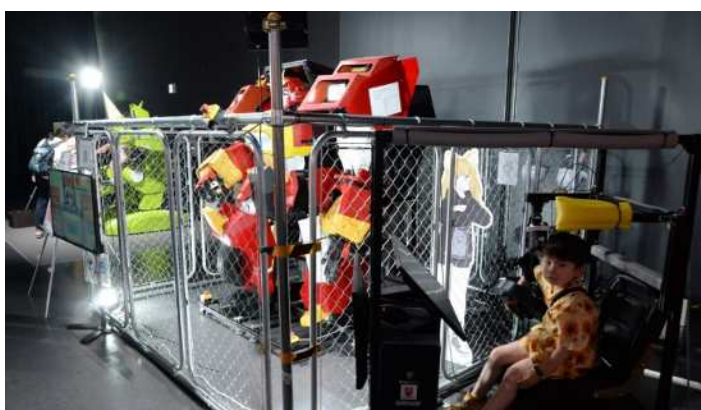
専用のグローブを装着することで、まるで自分の手のような感覚で、離れた場所にいるロボットの手を動かすことができる、全長 2.5 メートルの勇者ロボット「ファイバリオン」を展示。5 月 4 日、5 日、6 日は、操縦席に座り、離れた場所からロボットを動かす体験を実施。

・技術パートナー：株式会社 BRAVE ROBOTICS

アニメに登場するような、全長 2.5 メートルの遠隔操作型ロボットで、主要な開発を同社が進めている。内覧会だけでなく、会期中の取材にも快く応じていただき、数多くのメディアで SusHi Tech が取り上げられるきっかけとなった。

・技術パートナー：株式会社 ICOMA

アニメに登場するような、全長 2.5 メートルの遠隔操作型ロボットで、デザイン面の開発・設計を同社が担っている。



自動車変形ロボット ファイバリオン ロボット操縦体験

(ア) みらいのあそびゾーン

ドローンや3Dカメラなど、暮らしに役立つ技術を「あそび」を通じて楽しく学ぶことができるコーナーを設置。

a. ドローンデリバリー

ドローンを動かす楽しさや難しさを体感しながら、島を目指して荷物をとどけるゲーム。ドローンが、物流の未来にどのように役に立つのかを考える機会を提供した。

・技術パートナー：R2

市販のドローンにUFOキャッチャーの爪を組み合わせた機体を、SusHi Tech に向けてゼロから開発した。会期中の取材にも快く応じていただき、数多くのメディアで SusHi Tech が取り上げられるきっかけとなった。



ドローンデリバリー



ドローン機体

b.3D 未来カメラ

最先端のカメラで全身をスキャンして、自分の 3D モデルを作ることができるコンテンツを実施。SusHi Tech Tokyo 2024 オリジナルの仮想空間で、自分のアバターを動かしてロボットと一緒に記念撮影が可能に。

・技術パートナー：KDDI 株式会社

最先端のカメラで全身をスキャンして、自分の 3D モデルを作ることができるもので。筐体の提供を受けた。株式会社 WOGO とともに、SusHi Tech オリジナルの映像制作に尽力された。



3D 未来カメラの体験の様子

c. ヒラメキジム

専用のメガネをかけて、視線の動きやまばたきの情報を読み取ることで、BHQ（Brain Healthcare Quotient＝脳の健康を見えるようにする指標）を調べることができる体験型コンテンツを実施。

・技術パートナー：一般社団法人ブレインインパクト

専用のメガネをかけて、視線の動きやまばたきの情報を読み取ることで、脳の健康状態にあたる BHQ（Brain Healthcare Quotient）を測定した。同法人からは、なぜ視線の動きを読み取ることで脳の健康を調べることができるか、学術的な立場からパネル説明文の監修がなされた。



ヒラメキジム体験の様子

(イ) みらいのしょくゾーン

環境に配慮したサステナブルフードや、味覚や食の研究に基づく新しい食器など、みらいのおいしい「しょく」の姿が見られる展示コーナーを設置。

a.おばけレストラン

代替食材が別の食べものになる様をおばけレストランに見立てたプロジェクションマッピング体験を実施。環境への影響や食物アレルギーに対し、代わりになる食べものの研究が進められていることなどを学べるコンテンツ。

・技術パートナー：ネクストミーツ株式会社

代替食についての興味を持ってもらうためのコンテンツで、映像作成にあたり、大豆などを使った代替肉が提供された。この代替肉を実際に食することができる場を「海の森エリア」に設けることで、会場間回遊の一助となった。

・技術パートナー：イビデン物産株式会社

代替食についての興味を持ってもらうためのコンテンツで、映像作成にあたり、植物由来の代替エビが提供された。



おばけレストラン 入口



おばけレストラン 座席



おばけレストラン 映像

b.ミカクミライクイズ

3D フードプリンターやエレキソルトなど、味覚をコントロールしたり、新しい食べものができたりする最新テクノロジーを集めた展示を実施。展示してある発明品を観察しながら用途を考えるクイズを通じて、これらのテクノロジーを健康管理などに活用していく未来を想像できる機会を提供した。

- ・技術パートナー：麒麟ホールディングス株式会社

塩味を強く感じるができる食器型のデバイス「エレキソルト」が提供され、テクノロジーの力が健康問題の解決につながることを子どもたちに伝えることができた。

- ・技術パートナー：一般社団法人 日本味覚協会

味覚の感度を確かめることができるチョコレートの提供を受けた。展示コーナー全体のテーマを「味覚」としており、学術的な立場からパネル説明文の監修がなされた。

- ・技術パートナー：山形大学ソフト&ウェットマター工学研究室

ゲルなど柔らかい素材を活用して食品を製作する「3D フードプリンター」の提供を受けたほか、同研究室や複数社で開発中の動く寿司模型も展示された。

- ・技術パートナー：ユシロ化学工業株式会社・株式会社スタジオミダス・株式会社 F-EAT

3D フードプリンターの関連として展示した動く寿司模型の開発に同社が関わっている。



3D フードプリンター



ミカクミライクイズ

(ウ) その他のコンテンツ

a.空飛ぶタクシー展示

Joby Aviation が制作する空飛ぶモビリティの実物大模型（機体名：Joby S4）を展示。4月18日から先行展示を実施した。

・技術パートナー：ANA ホールディングス株式会社、Joby Aviation Inc.

同社が普及に向けて取り組んでいる空飛ぶモビリティの実物大模型（機体名：Joby S4）が提供された。SusHi Tech のエリアに入って最初に目にする展示で、多くの人目を惹いた。会期が始まる前の4月18日から先行展示したことで、事前PRの一助にもなった。

5月15日~17日には、ANA ホールディングス社担当者によるVRコンテンツの視聴体験会も実施した。



展示(機体名：Joby S4)



VR コンテンツの視聴体験

b.未来発明データベース

ショーケースプログラムに協力する技術パートナーによるアイデアなどをデータベースとして表示する展示コンテンツを設置。発明品そのものだけでなく、それが生まれた背景にある「Q=問い」と「I=アイデア」に触れて、発明のタネの見つけ方や、ものづくりについて考える機会を提供した。

・技術パートナー：ゆるスポーツ協会

「未来発明データベース」の監修に協力を得た。問い（Q）と答え（A）ではなく、問い（Q）とアイデア（I）というコンセプトを打ち出し、正解・不正解ではなく、アイデアを自分で生み出すことの楽しさを子どもたちに伝えるきっかけとなった。



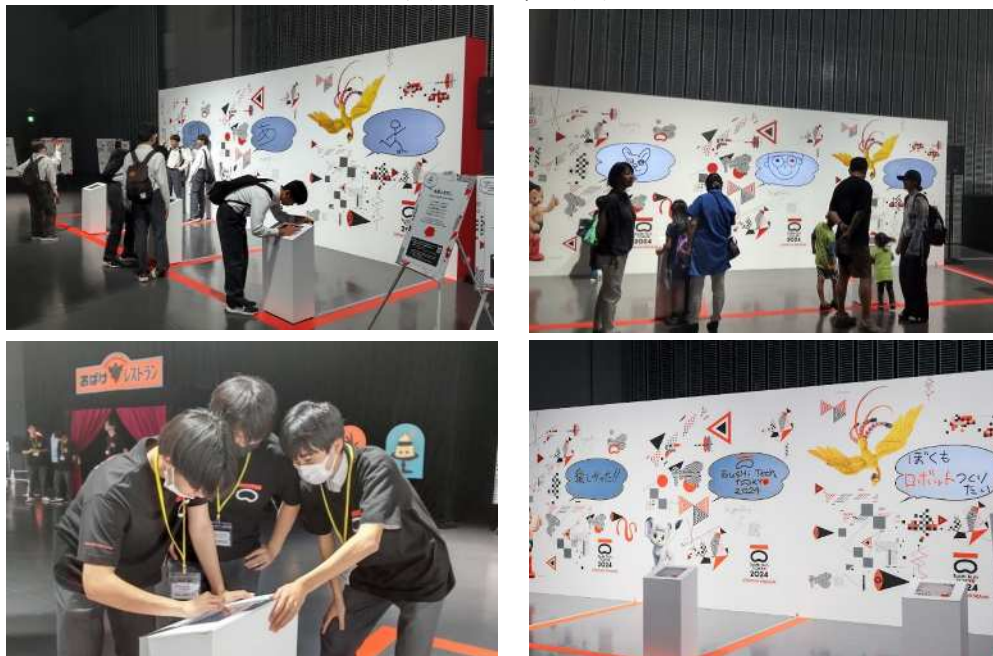
未来発明データベース



未来発明データベース 体験

c.未来ふきだし

本会場での展示コンテンツなどを体験して、ひらめいた未来へのアイデアや希望を、タッチパネルを通じて自分の言葉で表現をするコーナー。



未来ふきだし

d スペシャルコンテンツ「みらいのやぐら」

市原えつこ氏の制作監修のもと、日本の伝統と、革新的なアートやテクノロジーを融合させたみらいのやぐらを本プログラムにあわせて制作・展示。



マイクが拾う音に反応して光る技術を体験



e. ツナグルマ展示

160 年超の歴史を持つ宮本卯之助商店と、最先端プロダクト開発型企業の RDS が協働で制作した山車「ツナグルマ」を会場内にて展示。

・技術パートナー：株式会社宮本卯之助商店

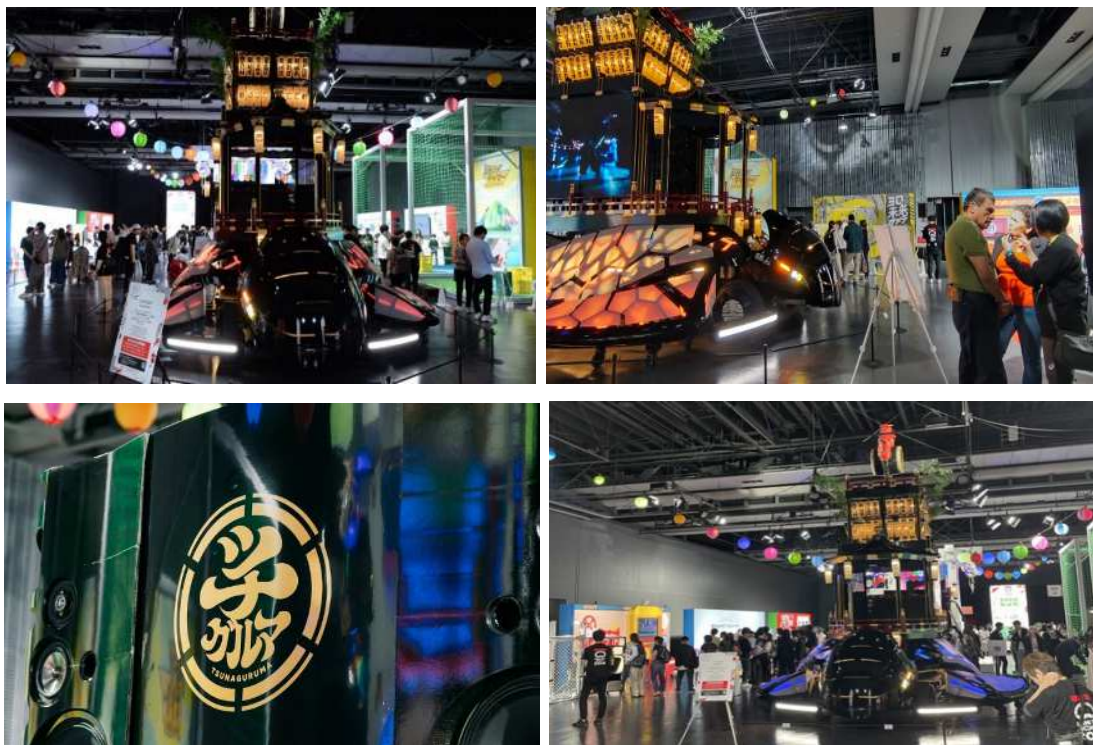
伝統の山車をアップデートした「ツナグルマ」の制作に協力を得た。古くから縁起がよいとされている亀の形をしたコクピットなどの「伝統」の部分で、同社の知見が生かされた。

・技術パートナー：株式会社 RDS

伝統の山車をアップデートした「ツナグルマ」の制作に協力を得た。人口減少によりお祭りの維持そのものが難しくなっている時代でも少人数で引けるよう、EV アシストを搭載するなど、「未来」の部分で同社の知見が生かされた。

・技術パートナー：LED TOKYO 株式会社

日本科学未来館会場の展示エリアで、最初に来場者が目にしたイントロダクションムービーの映像機材が提供された。不具合時にも迅速に対応がなされ、大きなトラブルなく会期を終えることができた。大型機材の映像と音には迫力があり、来場者の興味・関心を一気に惹きつける効果があった。



ツナグルマ展示

f.未来の東京を体感（「東京ベイ e S G賞」XR 体験：株式会社 STYLY）

e.Minecraft カップ事務局

Minecraft カップ「東京ベイ e S G賞」を受賞した作品の VR・AR 体験や、教育版マイクラフトの体験ワークショップを実施。

開催日：4 月 27 日、28 日

・東京ベイ e S G パートナー：株式会社 STYLY

最先端の VR・AR 技術を生かして、Minecraft カップ受賞作品が描いた未来のまちを現実の風景に重ねて楽しんだり、VR ゴーグルで内部を体験することができるコンテンツを作成

・東京ベイ e S G パートナー：Minecraft カップ運営委員会

プログラミング体験やデジタルものづくりを通した問題発見・課題解決力を養うツールである「教育版マイクラフト」を使って、こどもたちに未来のまちを考える機会を提供



Minecraft カップ 体験

イ オープニングセレモニー

SusHi Tech Tokyo 2024 のオープニングとして実施。3プログラム（ショーケースプログラム、グローバルスタートアッププログラム、シティ・リーダーズプログラム）のオープニングセレモニーを実施。小池百合子東京都知事による開幕宣言や3つのプログラムの代表者、浅川館長による挨拶、ゲストらによるトークセッションなどを実施した。

第一部登壇者：

小池百合子東京都知事、浅川智恵子日本科学未来館館長、酒井里奈株式会社ファーマンステーション代表取締役、内田東吾イクレイ日本事務局長、津田佳明 ANA ホールディングス株式会社執行役員 未来創造室長

第二部登壇者：

宮坂学副知事、田中元子 実行委員会副委員長、後藤りゅうとさん（こどもアンバサダー）、Minecraft 受賞者（3 チーム計 6 名）



小池百合子東京都知事



オープニングセレモニー



登壇者集合写真



浅川智恵子日本科学未来館館長



Minecraft 受賞者



宮坂学 副知事

ウ 東京都の取組発信エリア

東京都各局や自治体の取組を1階コミュニケーションロビーにてブース出展の形で紹介した。

(ア) ユニバーサルコミュニケーションの促進【生活文化スポーツ局】

実施期間：4月27日～5月1日

ユニバーサルコミュニケーション技術についての体験を実施



ユニバーサルコミュニケーション技術体験

(イ) 世界陸上・デフリンピック【生活文化スポーツ局】

実施期間：4月27日～5月1日

東京2025世界陸上、東京2025デフリンピックについての紹介



世界陸上・デフリンピック 紹介



(ウ) SusHi Tech Tokyo2024 ブース【政策企画局】

実施期間：4月27日～5月26日

SusHi Tech Tokyoに関する東京都の取組を幅広くご紹介。オリジナルグッズの配布。未来の発明品のアイデアを収集



あなたが作ってみたい未来の発明品は？パネル設置

(エ) こどもスマイルムーブメントブース【子供政策連携室】

実施期間：4月27日～5月26日

「東京の魅力すごろく」を体験者にはオリジナルグッズのプレゼント



こどもスマイルムーブメントブース

(オ) スマート東京の紹介【デジタルサービス局】

実施期間：4月27日～5月26日

デジタルの力で都民のQOL向上を目指す、「スマート東京」を紹介



スマート東京 紹介

(カ) 環境事業の紹介【環境局】

実施期間：4月27日～5月26日

気候変動対策や生物多様性の保全、大気汚染対策、資源循環の取組など幅広く環境への取組を紹介



環境事業 紹介

(キ) 東京の都市づくり【都市整備局】

実施期間：4月27日～5月26日

江戸から未来へと続く東京の都市づくり“Tokyo Time Scape”（動画）等を放映



Tokyo Time Scape の放映

(ク) 品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」にようこそ！ 【品川区】

実施期間：4月27日～5月26日

都内公共施設で初めて Nealry ZEB の認証を受けたエコルとごしの取組を紹介



エコルとごし紹介ブース

(ケ) GRAND CYCLE TOKYO 【生活文化スポーツ局】

実施期間：5月3日～4日

バーチャルサイクリングでレインボーライドのコースを体験



GRAND CYCLE TOKYO レインボーライド体験

(コ) 台東区の伝統工芸職人による実演【台東区】

実施期間：5月3日～6日

江戸簾職人の製作実演及び展示



江戸簾職人 製作実演

(サ) 援農ボランティアの紹介【産業労働局】

実施期間：5月11日～13日

援農ボランティアの紹介や緑の募金を実施。募金参加者にはトイカプセルグッズを配布。



援農ボランティア紹介

(シ) 遠隔農作業支援（スマート農業）の展示【産業労働局】

実施期間：5月11日～13日

農林水産財団との連携し、スマート農業への取り組みを紹介。



遠隔農作業支援の展示

(ス) 臨海副都心における自動運転の取組紹介【港湾局】

実施期間：5月12日～26日

自動運転に関する技術やこれまでの取組を紹介。



自動運転紹介ブース

(セ) 東京都立忍岡高校による展示【教育庁】

実施期間：5月15日～26日

東京都立忍岡高校生活科学科の生徒の皆さんが考案したSDGsメニューや伝統的な和菓子の紹介等、パネル等を用いた紹介。



サステナブルレシピ紹介



展示

(ソ) TOKYO 2020 レガシー展ブース

実施期間：5月17日～21日

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を彩った品々の一部を紹介



レガシー展示ブース

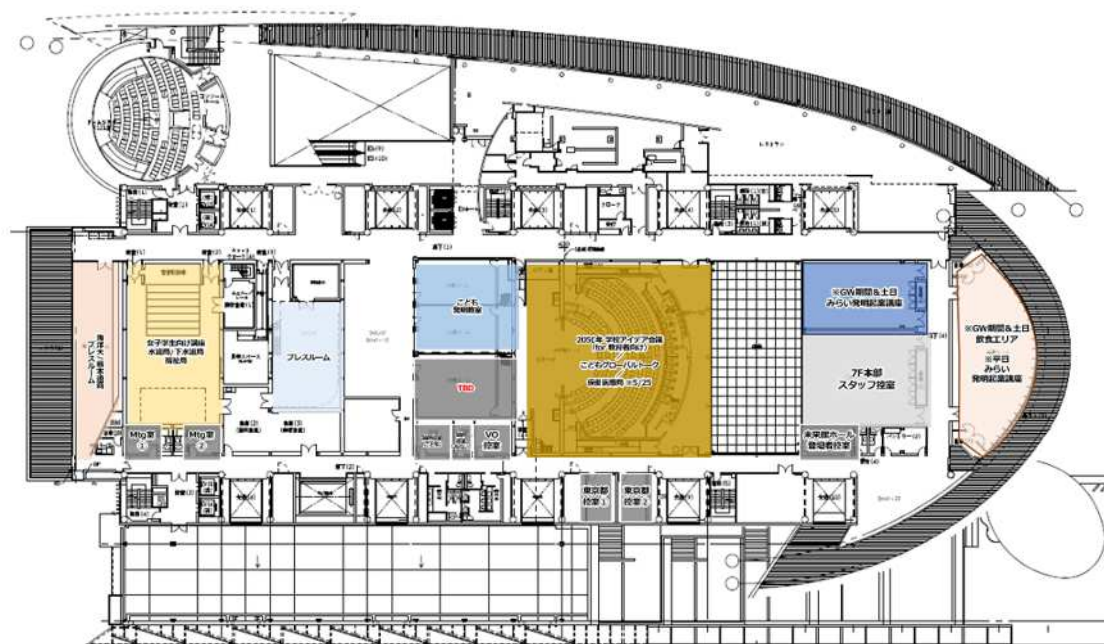
エ 7階ワークショップ・学びのコンテンツ等（みらい創造フロア）

小学生や中高生向けのワークショップをはじめ、参加者が主体的に考え表現する機会を提供する取組を実施。

7階レイアウト

SusHi Tech TOKYO 2024

210



（ア） こども発明教室

小学生等を対象に、自らアイデアを発想し、それを形にする「発明」のプロセスを体験するワークショップを開催。「あそび」「どうぐ」「しょく」をテーマとし、最先端企業と一緒に学ぶ機会を提供した。

a.あそび 「誰もが楽しめるスポーツを発明しよう！」

誰もが楽しめる新しいスポーツを考えるワークショップ。発案されたスポーツの一部をシンボルプロムナード公園で体験できる取組をあわせて実施した。

実施期間＝4月28日～5月5日 講座数＝15



「誰もが楽しめるスポーツを発明しよう！」

・技術パートナー：一般社団法人世界ゆるスポーツ協会

年齢や性別などにかかわらず、誰でも楽しめる「ゆるスポーツ」という、同協会が考案したアクティビティーを、小学生でも取り組むことができるようにアレンジした。企画の考案や運営方法の助言を得た。

b. どうぐ「ブロックで暮らしに役立つロボットを発明しよう！」

自由に組み立てて簡単に動かせるブロックキットを使い、ロボットの発明を疑似体験できるワークショップを実施。

実施期間＝5月6日～17日 講座数＝10

・技術パートナー：ユカイ工学株式会社

自由に組み立てて簡単に動かせるブロックキットを使い、ロボットの発明を疑似体験する内容。同社で運営しているワークショップの知見をいかし、モーターとスイッチのつなぎ方から説明したため、初めてブロックに触れるこどもたちであっても興味を惹くことができた。



「ブロックで暮らしに役立つロボットを発明しよう！」



ワークショップ実施時の保護者



ブロックキットで作成したロボット

c.しょく「フードロスのない世界を発明しよう！」

フードロスの問題や未活用だった食材を生まれ変わらせるアップサイクルを学び、フードロスをなくすルールを考えるワークショップを実施。

実施期間＝5月18日～26日 講座数＝10

・技術パートナー：オイシックス・ラ・大地株式会社

同社の社員が講師となり、フードロスの問題や未活用だった食材を生まれ変わらせるアップサイクルをこどもたちに解説。フードロスをなくすルールをこどもたちと一緒に作り出した。



「フードロスのない世界を発明しよう！」講師による説明



捨てられてしまうわかめを触るこども



グループワーク

(ウ) みらい発明起業講座

中高生を対象とした講座を実施。ビジネスの現場で使われているアイデアの発想法やフレームワークを使いながら、自らの手で新たなビジネスアイデアを生み出す体験を提供した。武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 学部長 伊藤羊一氏が監修にあたった。

実施期間=4月28日～5月26日 講座数=28



みらい発明起業講座 講師による解説



監修の伊藤氏による説明動画を見る参加者



グループ内で発表する高校生



(エ) 2050 年 学校アイデア会議

2050 年の学校の姿とはどのようなものかという視点に立ち、学びに携わる有識者と参加者が一緒に未来の姿を考える講演会形式のイベントを未来館ホールで実施。各回のテーマなどは下記のとおり。

a. 未来の教室とテクノロジー 5 月 11 日 14 時 00 分～15 時 00 分

登壇者：石戸奈々子氏（慶應義塾大学 教授）、礒津政明氏（株式会社ソニー・グローバルエデュケーション会長）、小宮山利恵子氏（株式会社リクルート スタディサプリ教育 AI 研究所 所長）、塩飽哲生氏（Awak App Inc. CEO&Founder）、星友啓氏（スタンフォード大学・オンラインハイスクール校長、MC）



未来の教室とテクノロジー

b. 未来のインクルーシブな学校 5 月 12 日 14 時 00 分～15 時 00 分

登壇者：井手上漠氏（タレント）、高濱正伸氏（花まる学習会 代表）、水田光夏氏（パラ射撃選手）、星友啓氏（スタンフォード大学・オンラインハイスクール校長、MC）



未来のインクルーシブな学校

c. 미래の生徒と先生たち 5月18日 15時00分～16時00分

登壇者：藤原和博氏（朝礼だけの学校 校長）、松本杏奈氏（スタンフォード大生）、宮田純也氏（一般社団法人 未来の先生フォーラム代表理事）、星友啓氏（スタンフォード大学・オンラインハイスクール校長、MC）



未来の生徒と先生たち

d. 未来の時間割 5月19日 15時00分～16時00分

登壇者：石黒和己氏（NPO 法人 青春基地 創業者）、合田哲雄氏（文化庁次長）、松田悠介氏（Crimson Education Japan 代表取締役）、星友啓氏（スタンフォード大学・オンラインハイスクール校長、MC）



未来の時間割

(エ) その他

a. 女性の起業家マインドを社会課題解決とともに育む

5月11日、12日 10時30分～17時00分

次世代を担う女性の起業家らから学ぶ特別講座を実施。社会課題を解決するビジネスの作り方を学ぶ機会を高校生、大学生に提供した。

講師：西村行功氏・永津英子氏・大塚泰子氏・稲田有美氏・秋元由梨氏

(デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社)



特別講座実施の様子



集合写真



参加者の発表資料

b. チョコレートから考えるサステナ&エシカル消費 5月19日 11時～12時

身近なチョコレートを切り口に、日本の食を支える輸入農産物に目を向け、地球と自然とヒトの未来を考える講座を実施。講師は関口友則東京大学未来ビジョン研究センター グローバル・コモンズ・センター共同研究員。



関口講師による講座

c.スタンフォード in 東京～未来の起業家 11 時～12 時

アントレプレナーシップ（起業家精神）について、スタンフォード大学のトーマス・ベイヤーズ教授がオンライン授業を実施。



トーマス・ベイヤーズ教授によるオンライン授業

(エ) 7 階東京都企画

都庁各局等による SusHi Tech Tokyo の理念を体現する様々な取組を講演やワークショップを通して紹介。

a.水素で動く船?! 仕組みを学んでみよう!

開催日＝4 月 28 日 12 時 00 分～12 時 45 分、4 月 29 日 12 時 00 分～12 時 45 分

水素を活用した燃料電池船の仕組みを学びながら、水素エネルギー活用への理解を深めることができる講座を実施。講演者は東京海洋大学大出剛特任教授。



らいちょう N 展示

b.水素って何だろう？どんな未来につながる？

開催日＝4月28日 13時00分～13時30分

水素を分かりやすく解説し、それにより創られる未来についての講演を実施。講演者は根本通商株式会社カーライフ新エネルギー部 緑川直樹部長。



c.水の科学館出張ワークショップ／虹の下水道館出張ワークショップ

【水道局・下水道局】

開催日＝5月21日 13時30分～14時40分

アメンボを水に浮かべた、表面張力の実験を行う「はりがねアメンボ」をつくるワークショップと、下水道の仕事の1つ「水質検査」体験を実施。



水の科学館による出張授業

d.遺伝子や脳科学を中心に、体や脳の不思議を紐解く 【保健医療局】

開催日＝5月25日 10時30分～12時30分

遺伝子や脳科学を中心とした体や脳の不思議について、東京都医学総合研究所の研究員による解説・講演を実施。



東京都医学総合研究所による講演「遺伝子や脳科学を中心に、体や脳の不思議を紐解く」

e.触れて・噛んで・味わって：幸せになるお口のこともっと知ろう！

【福祉局】

開催日＝5月25日 15時00分～15時30分

美味しいものを味わう幸せ、噛める喜びといった身近な行動から、口腔の健康とひとの幸せについて講演

講演者は東京都健康長寿医療センター研究所 枝広あや子研究員



枝広研究員による講演「触れて・噛んで・味わって：幸せになる奥地のこともっと知ろう！」

オ 会場アンバサダー

こどもたちの知的好奇心が高まるよう、「鉄腕アトム」のアトムや「ジャングル大帝」のレオなど、手塚治虫が生み出したさまざまなキャラクターを会場アンバサダーとして起用。イントロダクション映像や会場装飾などで漫画のコマ等も活用した。



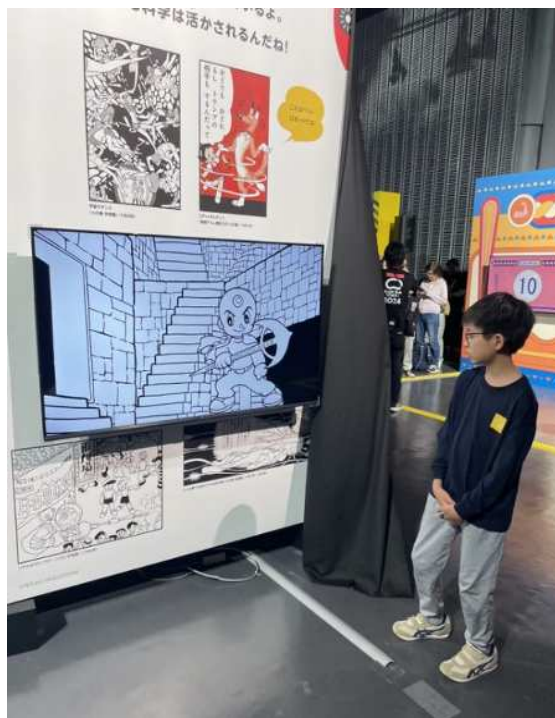
会場入り口



未来発明データベース



会場外



会場内

(3) シンボルプロムナード公園

江戸から続く今の東京と、未来の東京を比較しながら楽しみ、新たな発見や気づきを促すことをコンセプトに、サステナブルな食やアート、ファッションから未来を見据えた最新型のモビリティまで幅広い体験コンテンツや企業出展などを展開。15 日間で約 47 万人が来場した。

場所：シンボルプロムナード公園(江東区青海/有明)

日程：5 月 12 日～26 日

コンセプト：プロムナード公園は、都市（便利）と自然が共生する未来のシンボルであるべき大通り。全長 4km と長く、自然豊かなこの参道のような大通りで、江戸からつくく東京のこれまでとこれからが渾然一体となったコンテンツを比較して楽しみことで発見を促す。「食べる」「遊ぶ」「買う」「乗る」など、さまざまな体験を用意するほか、廃材を活用した「サステナブルアート」で来場者の関心を集める。

来場者数： 約 47 万人

■ 全体エリアマップ | コンテンツ

Sushi Tech TOKYO 2024

5



実施内容：

ア FOOD

最新のフードテックを活用し、未来を担う Z 世代も満足する「おいしい」「ヘルシー」「地球にやさしい」新しい食のスタイル「Z 品グルメ（ゼッピンググルメ）」を楽しめる屋台やキッチンカーが集合、食べ歩きやステージを観覧しながらの食事を楽しむ機会を提供した。

(出店数)

特設ブース（HUTTE）：4 店舗

キッチンカー・テント出店者：のべ 143 店舗（複数開催日出店者も 1 とカウント）

(フードパートナー)

そうめん専門甚-JIN-/ジェラート 結/FOOD TRUCK OFFSHORE/

ROCKET CHICKEN/BlueTarp FOODTRUCK/crazycompany/弥栄/

Tsu-na-gu Kitchen/ACERO/Socal Kitchen/BREAD GARDEN/ORGAR'S/

トーマスカフェ/農家さんのケトルコーン/rico cafe/Holy バーベキュー/

Like/CHURROMOS/pighip/j48kitchen/frifri/旨めた屋/一風堂/鮭さきがけ/

OGGI/WEP waffle factory/asombroso!東京 1st/ティエスカフェ/

あなたのとなりのコーヒー/WAGON193/彩 SAIKA 雅/FabuDine./

おどるめん AKIRA/まぐろ問屋いとう水産/TOKYO AMP/SAMEYA/Mr.HALAL/

eat for/鮭虎/Righteous Burger/ココナッツグレン/佐和屋/わたべ（UNG WATABE）/

「発見！ふくしま」/ホタテ応援隊

(FOOD エリアでの取組)

(ア) 特設ブース（HUTTE）でのサステナブルなメニューの販売

未来を担う若手シェフによる持続可能な食材などを使った限定メニューや、陸上養殖によって育てられたアトランティックサーモンを使った握り寿司など、本イベントのみで食することができるメニューを販売した。

a.陸上養殖サーモン握り寿司 特設ブース

b.The Momentum by Porsche 特設ブース（東京産食材やプラントベース食材を取り入れた限定メニューの販売）

c.CLUB RED 特設ブース <清藤洸希（枯朽オーナーシェフ）>

d.CLUB RED 特設ブース <本岡将（restaurant KAM オーナーシェフ）>

・技術パートナー：CLUB RED（株式会社ぐるなび）

同社が主催する 35 歳以下の若手料理人によるコンペティションで優秀な成績をおさめたシェフ 2 名が本イベントに参画。未来やサステナブル、東京をテーマにメニューを考案し来場者に提供した。

・技術パートナー：丸紅株式会社

5月12日、18日、19日、25日、26日の5日間、シンボルプロムナード公園セントラル広場フードエリアにて「陸上養殖サーモン握り寿司 特設ブース」を設置。国内での生産を予定している陸上養殖アトランティックサーモンについて提供を受けた。

また、ロングテーブル企画や特設ブースで提供したメニューの一部の容器（皿、カップ）に同社が開発した循環型食器「edish（エディッシュ）」を活用した。

(イ)「Eat Better」冊子の発行

フードエリアのテーマである「Eat Better」をタイトルとした本イベントでの食への取組を紹介する冊子を制作し、会場内で配布した。本イベントがよりよく食べるということを考えるきっかけとなるための施策として実施した。



有明アリーナに登壇した生江氏へのインタビュー

フードエリア平面図



会場写真



特設ブース (HUTTE)



養殖サーモン握り寿司の提供

(ウ) リユース食器の活用

フードエリアでは、特設ブースやキッチンカーなどの店舗および5月25日のロングテーブル企画「YUKIYAMESHI×Oisix」の参加者向けに、環境局と連携してリユースカップを使用した。



リユースカップの活用

(エ) ファーミングユニットの展示

都市で暮らすすべての人々が、「たのしく育てて、たのしく食べる」をサステナブルに実践するためのプラットフォーム「grow」とコンポスト等を展示。

・技術パートナー：プランティオ株式会社

シンボルプロムナード公園セントラル広場フードエリアにて、同社が開発するインドアファーミングユニット「grow」を設置。省スペースで設置可能な農園「モジュール型ファーミングユニット」や屋内型農園「インドアファーミングユニット」のコンセプト展示を同社の協力のもと実施したほか、一部のフードエリア特設ブース店舗で調理の際に生じた生ごみを肥料化するためのコンポストの提供などで協力を得た。



インドアファーミングユニット「grow」

(その他会場写真)



FOOD エリア (ステージ前)



FOOD エリア (キッチンカー)

イ PLAY

昔ながらの遊びから、最新のテクノロジーを使ったクリエイティブスポーツから、年代、性別を問わず誰もが参加できるインクルーシブな新スポーツまでを体験できるエリアとして実施。

(ア) パラスポーツ体験&デモンストレーション (5月12日)

持続可能な共生社会の在り方について考える機会を提供する、パラスポーツ体験会を実施。現役パラアスリートらによるデモンストレーションなどもあわせて実施。



パラ射撃



ブラインドサッカー



車いすバスケットボール

・競技種目及び出演アスリート

ブラインドフットボール：菊島宙選手

車いすバスケットボール：藤澤潔氏

射撃：水田光夏選手

(イ) ゆるスポーツ体験 (5月18日、19日、25日、26日)

年齢や性別、障害の有無にかかわらず誰もが一緒に楽しめる新しいスポーツ「ゆるスポーツ」から、人気の競技の体験会を実施。また、日本科学未来館会場でのこども向けワークショップから生まれた新たな競技も体験できるスペースを設置した。



100センチ走



せんたくテニス



点字ブロックリレー



ピクトグラミー



緩急走



フライングエッグ



しょうがいボールはこび



くつしたまいれ

・技術パートナー：一般社団法人世界ゆるスポーツ協会

5月18日、19日、25日、26日の4日間、PLAYエリアにて、年齢や性別、障害の有無に関わらず誰もが一緒に楽しめる「ゆるスポーツ」の複数競技実施運営に関して協力を得た。

a.実施競技：以下の通り

5月18日、19日：フライングエッグ、くつしたまいれ、せんたくテニス、フェイスマッチ、緩急走

5月25日、26日：点字ブロックリレー、シーソー玉入れ、100センチ走、ピクトグラミー、ボブイスレー

(ウ) モバイルトイレ展示 (5月12日)

普通免許でけん引して移動できるバリアフリースイートイレ「モバイルトイレ」を展示。

・技術パートナー：トヨタ自動車株式会社

PLAYエリアにおけるモバイルトイレ車両の提供を受けた。



モバイルトイレの展示

(エ) バイオランドリー展示

微生物の力で雨水や川の水を浄化できる「バイオランドリー」を展示。

・技術パートナー：東京電力株式会社

長岡技術科学大学と東京電力ホールディングスの共同研究による浄水システム「ウォーターチェンジャー」を商品化した「バイオランドリー」の展示に関して協力を得た。



バイオランドリーの展示

(オ) 充電型発電機の活用

・技術パートナー：ゼンデュア・ジャパン株式会社

ガソリン型の発電機の使用を抑制するために、同社が開発する蓄電池型ポータブル電源を一部のエリアで使用した。



蓄電池型ポータブル電源の活用

ウ MARKET

「衣」「食」「住」のジャンルごとに、「目利き」が選んだ逸品を鑑賞、購入することができるエリアを展開。廃材を利用した工作のワークショップも開設した。訳あり野菜を販売するマルシェや、未来のファッションを体験できるフォトブース等もあわせて展開。

(ア) FIND GOOD!! MARCHE (5月12日、18日、19日開催)

地球に GOOD、社会に GOOD、健康に GOOD、いろいろな GOOD を選び取ることでできるマルシェとして出店者を誘致。らでいっしゅぼーやによる規格外野菜の展示・販売や AQ グループによる木のストローワークショップなどサステナブルな活動もあわせて実施。

a.出店者

- ・新宿内藤とうがらし：江戸時代、新宿を真っ赤にそめた“内藤とうがらし”を復活
- ・YOKOHAMA Dry/ヨコハマドライ：未利用野菜をアップサイクルした乾燥野菜、果物
- ・株式会社グッテ：国産米粉使用のノンフライスナック
- ・アクポニ×ガスパル：化学肥料・除草剤不使用で、人・地球に優しく美味しい野菜
- ・ハネダシ・マルシェ：長野で育ったりんごの規格外品から作ったシードル
- ・Soycle/ソイクル：栄養価・うま味が最大限引き出された発芽大豆ミート
- ・Better life with upcycle：パンのミミをアップサイクルしてつくるクラフトビール
- ・Insect Farm/インセクトファーム：有機栽培で安心、安全な野菜、ハーブ、果物
- ・imperfect 表参道：世界中から厳選したサステナブルなコーヒー豆とコーヒー



FIND GOOD!! MARCHE

b.ワークショップ

- ・技術パートナー：株式会社 AQ Group

同社の協力のもと、日本の伝統技術「カンナ削り」をきっかけに世界で初めて開発に成功し

た木のストローを作る体験会を開催。

(ア) FASHION MUSEUM

未来のファッションをテーマに、美術館形式の展示から自分たちで持ち込んだ洋服をリペアすることができるワークショップ、アーティスティックな撮影体験などさまざまなブースを設置。若者に人気の下北沢のビンテージストア「NOIL」と協力して実施した。



FASHION MUSEUM

(イ) Re-think 廃材アートワークショップ

廃棄されたもの、忘れ去られたもの、時代遅れのものを地域社会や地元企業から調達し、魅惑的なアート・インスタレーション、イベント装飾、機能的な家具に変身させるワークショップを実施。空間デザイナーの福垣慶吾氏の監修を受けて実施した。



Re-think 廃材アートワークショップ

オ ステージプログラム

食や音楽など様々なテーマによるパフォーマンスを実施。ステージの設えはサステナブル素材も活用して作り、コンテンツもサステナブルを意識しながら、見て楽しめる内容となった。品川区の大井権現太鼓保存会など、都民が登壇するコンテンツも盛り込み、地域の気運情勢にも寄与した。

(ア) オープニングステージ/トークショー (5月12日)

オープニングを飾るトークショーを開催。インクルーシブな社会の在り方や、パラスポーツが今後さらに普及することによって東京の未来はどう変わっていくのかなど、スポーツと東京の未来の在り方を考えるトークショーを開催。

出演者：

根木慎志子（シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン、東京都パラ応援大使）、こにわ氏（スポーツナビゲーター）、水田光夏選手（パラ射撃）、菊島宙選手（ブラインドフットボール）、藤澤潔氏（男子車いすバスケットボール元日本代表、東京2020パラリンピック銀メダリスト）



オープニングステージ

(イ) HEAVEN ARTIST STAGE (5月18日、19日)

東京都実施している「ヘブンアーティスト」4組がパフォーマンスを実施。

出演者：SEOPPI、QUENARPAN (5月18日)

ひとみ & Friends、HIBI★Chazz-K (5月19日)



HEAVEN ARTIST STAGE

(ア) グリーン電力によるテレコムセンタービルライトアップ (5月18日)

水素と太陽光によるグリーン電力でテレコムセンタービルをライトアップし、脱炭素化に先進的に取り組むまちを来訪者に広く発信する取り組みを実施。石井基子氏らをゲストにトークと点灯セレモニーを実施。

出演者：石井基子氏（照明デザイナー）、東京都・松川桂子港湾局長 ほか



テレコムセンタービルライトアップ 点灯セレモニー

(イ) DJ NIGHT PARTY feat.EDO (5月18日、25日)

江戸から続く伝統芸能と現代パフォーマンスを融合した DJ プログラムを実施。

出演者：吉田兄弟×DJ DAISHIDANCE (5月18日)

DRUM TAO、真滯、DJ Celly (5月25日)



DJ DAISHIDANCE



吉田兄弟



真滯



DRUM TAO

- (ウ) パブリックビューイング「近未来オムニバスドラマ」(5月18日、19日、25日、26日)

有明アリーナのステージにて上映したオムニバスドラマ2本を本会場のステージでも上映を行った。(P217 参照)

- (エ) パブリックビューイング「超人スポーツ」

有明アリーナで行われた、「HADO」などの迫力ある次世代スポーツのデモンストレーションの模様をステージ横 LED ビジョンにて放映。(P219 参照)

- (オ) ツナグルマパレード/WAO!DANCE (5月19日)

山車をアップデートした「ツナグルマ」の公園内パレードを実施。パレードでは、ツナグルマを囲む形で、伝統的な「音頭」をアップデートした「WAO!DANCE」を多数のダンサーと一般来場者がともに踊った。

場所：夢の広場付近(スタート)～セントラル広場(ゴール)



ツナグルマパレード

(カ) 地域団体パフォーマンス (5月26日)

東京都品川区を中心に活動している「大井権現太鼓保存会」による太鼓のパフォーマンスを実施。



太鼓パフォーマンス (大井権現太鼓保存会)

(キ) パブリックビューイング「yama SPECIAL LIVE」 (5月26日)

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムの応援ソング「声明」を歌うアーティスト「yama」の SPECIAL ライブ (5/21 に有明アリーナで実施) の模様を上映。



パブリックビューイング「yama SPECIAL LIVE」

(ク) クロージングセレモニー (5月26日)

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムの最終日を飾るクロージングセレモニーを実施。

出演者： 辻愛沙子氏・村山輝星氏・中村倫治副知事 他

実施内容： ・中村副知事挨拶

・振り返りトークセッション、ひと言

・フォトセッション及びクロージング映像の放映



クロージングセレモニー

カ MOBILITY

エリア間をつなぐ「夢の大橋」や日本科学未来館前の特設エリアなどで、最先端の次世代モビリティを体験できるコーナーを設置。

(ア) mirai サーキット

最新のモビリティの試乗体験会（事前申込制）を実施。低速コースと高速コースに分け自由に乗り比べを楽しむことができる機会を提供した。

(低速コース車種)

WHILL Model C2 (WHILL 株式会社)、ストリーモ (株式会社ストリーモ)、poimo (株式会社メルカリ 研究開発組織 mercari R4D、Segway PT i2 SE (Nextway 株式会社、セグウェイジャパン、C+walk T/S (トヨタ自動車株式会社)



mirai サーキット受付



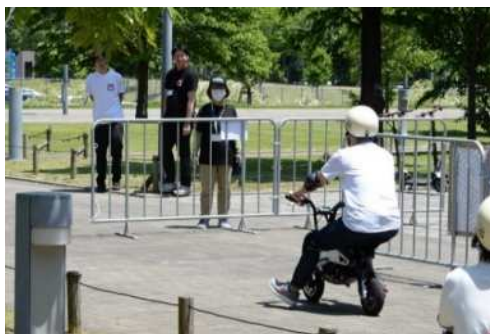
mirai サーキット案内版 (右)



mirai サーキット（低速コース）

（高速コース車種）

ZERO9 Lite（SWALLOW 合同会社）、Fiido Q1S（SWALLOW 合同会社）、GFR-02（glafit 株式会社）、NFR-01Pro（glafit 株式会社）、WUSA（株式会社 RDS）、ストリーモ（株式会社ストリーモ）、タタメルバイク（株式会社 ICOMA）、Free Mile plus（FreeMile 株式会社）



mirai サーキット（高速コース）

(イ) Round-Palette 体験 (5月18日、19日)

「移動」の新しい価値を提供するスローでオープンなモビリティ「Round Palette」に実際に乗って体験ができる体験会を実施。

・技術パートナー：トヨタ自動車株式会社



Round-Palette 体験

(ウ) PARTNER MOBILITY ONE 体験 (5月18日、19日)

ベンチ型のモビリティ「PARTNER MOBILITY ONE」(久留米工業大学)の試乗体験



PARTNER MOBILITY ONE 体験

(エ) UNI-ONE 体験 (5月12日、18日、19日、25日、26日)

着座型で両手が自由に使えるモビリティロボット「UNI-ONE」に実際に乗ることができる体験会を実施。5月12日・18日・19日・25日・26日

・技術パートナー：本田技研工業株式会社



UNI-ONE 体験

(ア) 傘モビリティ「&brella」体験 (5月12日、15日～21日)

傘のついた次世代モビリティ「&brella(アンブレラ)」の試乗体験を実施。

・技術パートナー：トヨタ自動車株式会社



傘モビリティ「&brella」体験

キ ART

国内外のアーティストが事前に回収した様々な廃材・廃品類等を活用したアート作品を制作し、各エリアやエリア間に点在する形で作品を展示。さらに、アート展示とあわせて廃材に関する説明を記載したレシピを設置し回遊を促す取組もあわせて実施した。

参加アーティスト：MAGMA、studioBOWL、Kanto Iwamura、加治聖哉、キムテボン、ミズグチグッチ、Ian Grossberg、The Crafters、永井誠人、小川真平

アート作品展示



(イ) 廃材アップサイクルレシピ配布



作成したアートレシピ

アートの素材になっている廃材を示した

ク 特別プログラム「LONG TABLE」

シンボルプロムナードの特色である、屋外、広さを活かした企画を実施。「FOOD」エリアにおいて 100 人が座れるフォトジェニックなロングテーブルを設置し、料理とアーティストのコラボレーションが楽しめる企画など様々な取組を行った。

(ア) EATBEAT!

EATBEAT!の協力を得て江戸から続く東京ならではの食を再構築し、春の東京産の食材を用いたコース料理を楽しむことができる「食×音楽」のイベントを実施。
(有料、事前予約制)



Y

EATBEAT!

(イ) UKIYAMESHI×Oisix

サステナブルな食材を使い、見た目も華やかなデリ・ケータリングを提供する「YUKIYAMESHI」を主宰する料理家・寺井幸也氏が作った食事とトークセッションがセットになったイベントを実施。(有料、事前予約制)

・技術パートナー：オイシックス・ラ・大地株式会社

「FOOD」エリアに設置した 100 人が一度に着席できるロングテーブルにおいて、同社と協力のもと「LONG TABLE DINER YUKIYAMESHI × Oisix」を 5 月 25 日に実施。同社関係者がステージ進行役などで登場したほか、提供食材などに関して協力を得た。



YUKIYAMESHI×Oisix

ケ その他

(ア) 各局・各市町村の PR ブース設置

「SusHi Tech Tokyo」の取組の紹介に加え、東京グリーンビズ、あつまれ それぞれの HTT、東京都中央卸売市場の紹介、こどもスマイルムーブメントの取り組みを伝えるブースを展開した。各ブースの出展内容は以下の通り。

- ・東京グリーンビズ：東京の緑のスポットのMAP・パネル展示、ノベルティグッズ配布
- ・あつまれ それぞれの HTT：ひんやりグッズの展示、パネル展示等
- ・東京都中央卸売市場：豊洲市場に関するパネルやマグロ模型展示
- ・こどもスマイルムーブメント：きもの笑福「浴衣でお台場散策♪」及びパネル展示等
- ・TEAM BEYOND：パラスポーツ「TEAM BEYOND」グッズ配布、パンフレット配布



東京グリーンビズ



あつまれ それぞれのHTT



東京都中央卸売市場



こどもスマイルムーブメント



TEAM BEYOND

(イ) 公園内他イベントとの連携

5月18日、19日に青海臨時駐車場 NOP 区画で開催されたスポーツ、カルチャー、音楽が融合した体験型エンタテインメントフェス「CHIMERA GAMES」との連携を行った。

「SusHi Tech Tokyo×キメラゲームス スクールキャラバン」として、4月26日に港区立赤羽小学校を訪問。5年生3クラス90名（30名×3クラス）を対象に、図工（廃材アート）、体育（ダンス、ダブルダッチ）などを実施。スポーツやアートなど本プログラムおよび CHIMERA GAMES のコンテンツを交えて体験会を実施した。

・技術パートナー：キメラゲームス（一般社団法人 CHIMERA Union）



SusHi Tech Tokyo×キメラゲームス スクールキャラバン

(4) 海の森エリア

中央防波堤エリアの“陸・海・空”を活かし、さまざまな最先端テクノロジーの展示、実演を行った。子ども向けにはワークショップ、ショーなど行うとともに、ビジネス向けには、東京の目指す未来のまち実現に向けた「先行プロジェクト」を紹介するツアーも開催した。

場所：海の森水上競技場（東京都江東区海の森三丁目6番44号）他

※「空飛ぶクルマ都内初飛行」イベントは東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場
特別会場

日程：5月12日～21日

※空飛ぶクルマ初飛行イベント開催期間 5月17日、18日、22日、23日

コンセプト：「自然」と「便利」が融合する持続可能な都市に向け、現在、都が中央防波堤エリアにおいて進めている「先行プロジェクト」の実装状況等について、実演・体験・展示する。また、先行プロジェクトと他技術やIPとがコラボレーションすることで、先行プロジェクトの技術内容を分かりやすく紹介する。

来場者数： 約1万人

ア 海の森水上競技場 5月12日～21日

(ア) エリア区分

a 最先端エネルギーエリア（第二駐車場付近）

-先行プロジェクト展示

-オフグリッドベース展示

-次世代型ソーラーセル展示

b 次世代モビリティエリア（第一駐車場付近）

-電動サイクル、電動3輪クイックボードの体験コーナー

c 室内展示エリア（グラウンドスタンド棟、フィニッシュタワー棟）

-インフォメーション

-先行プロジェクト展示

-商談スペース

d 水面体験エリア（水上競技場コース栈橋付近）

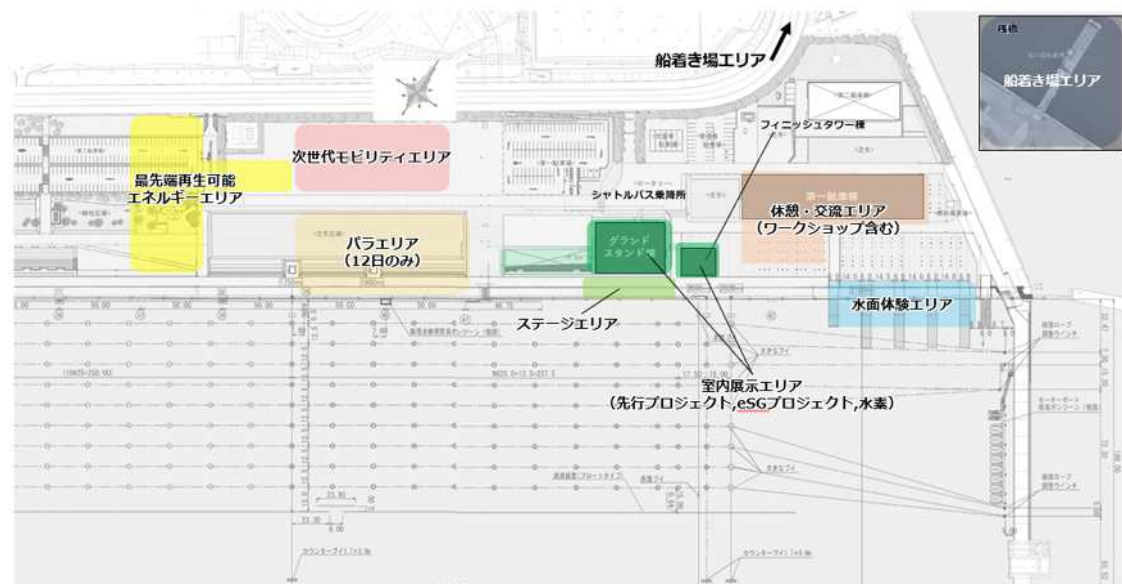
-ドラゴンボート体験(中止)

e 休憩・交流・ワークショップエリア（第一艇庫棟、同棟前広場）

-フードコーナー

-各局連携展示・実演

会場エリア区分



会場エリア区分図

コンテンツ一覧

カテゴリ	名称	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
エンターテインメント	先行プロジェクトツアー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ロボコスタンプラリー	●						●	●		●
	ロボコ着ぐるみ出現	●						●	●		
	エレキテック 〜GENKI LABO サイエンスライブ〜							●	●		
	エレキテック 〜DJ体験会〜							●	●		
	水素で奏でる！ストリート電子ピアノ							●	●		
	水素ジオラマ展示	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Inclusive Action Day パラスポーツステージ・体験	●									
モビリティ	指定水面見学ツアー										●
	防災体験VR								●		
	ロボコのドローン☆ファクトリー	●						●	●		
	フューチャーモビリティ 〜ライドパーク〜	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	テックスケパーゾーン							●	●		
	ドローン輸送デモンストレーション 野村不動産	●						●	●		
	ドローン飛行デモンストレーション							●	●		
	KDDIスマートドローン							●	●		
アクティビティ	水素船「らいちょうN」	●	●	●				●	●		
	水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」				●	●		●	●		
	水上のニュースポーツ ドラゴンボート体験	●						●	●		
フード系	ヘルステック体験 〜リビングラゴ〜	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ロボコのテック☆バーガーショップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ロボコのサステナ☆バーベキュー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フード☆ラゴ 〜味が変わる!? エレキソルト体験〜							●	●		
	キッチンカー展開	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	水素石窯で焼く ピザの試食コーナー							●	●	●	●
	水素で焼く！東京食材の試食コーナー							●	●		

コンテンツ一覧表

(イ) 会場アンバサダー「僕とロボコ」

集英社「週刊少年ジャンプ」の人気作品「僕とロボコ」とタイアップを実施。ロボコを海の森エリアのアンバサダーとして採用し、書き下ろしイラストやアニメーション等を活用し、盛り上がりを醸成した。着ぐるみの出演も2日間実施した。
(5月11日・12日)

【キービジュアル（2種）】



キービジュアル (1)



キービジュアル (2)

(ウ) 先行プロジェクト採択事業者展示

3つに分類されている15社の採択事業者を、エネルギー（最先端再生可能エネルギー）、環境・モビリティ（次世代モビリティ、環境改善・資源循環）の2つに分け、各事業者の展示を回るツアーを平日、1日2回、事前予約制で実施した。両ツアーともに予約時から好評で、エネルギーツアーは定員数を引き上げた回もあった。5月13日は荒天のためツアーを催行中止とした。

各事業者の取組を紹介する方法として、海の森エリアに設置されている実機の屋外展示に加え、グランドスタンド棟・フィニッシュタワーで屋内展示を行った。またそれぞれの事業者の取組を「僕とロボコ」のキャラクターがわかりやすく紹介する説明パネルを作成し、展示した。

a. 先行プロジェクトツアー実施概要

エネルギーツアー	①11時30分～12時30分②14時00分～15時00分
環境・モビリティツアー	①12時30分～13時30分②15時00分～16時00分
ツアー参加人数合計	556人



事業者説明を聞くツアー参加者

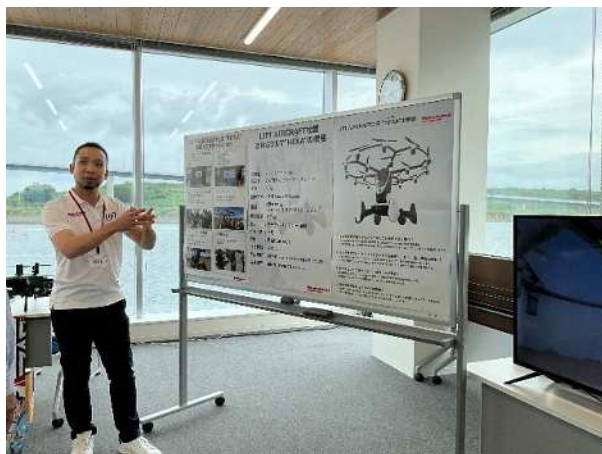


集合するツアー参加者

b.次世代モビリティ

・丸紅エアロスペース

空飛ぶクルマ「HEXA」の資料展示



丸紅エアロスペースによる説明



展示パネル

・NTTコミュニケーションズ

VR ゴーグルで空飛ぶクルマが実装された都市を体験



NTT コミュニケーションズによる体験・説明



展示パネル

・KDDI スマートドローン

水空合体ドローンの展示とドローン飛行デモ



KDDI スマートドローンによる展示



展示パネル

・野村不動産

センサーで自動制御するクルマのデモ

空飛ぶクルマの離着陸を想定した浮体式ポート（デモ版）展示（水上競技場コース）

浮体式ポートにドローンが離着陸するデモ（水上競技場コース）

（「ロボコのドローン☆ファクトリー」と連携）



野村不動産による説明



展示パネル

c.最先端再生可能エネルギー

・東亜道路工業

路面に設置可能な舗装式太陽光パネル

舗装式太陽光パネルで発電した電気を給電する充電スポット



東亜道路工業による展示



展示パネル

・三鷹光器

多段積載式風力発電機からオフグリッドベースに電気を供給



三鷹光器の実機展示・オフグリッドベース



展示パネル

・チャレナジー

輸送設置が容易な可搬式風力発電機の展示



チャレナジーによる実機展示



展示パネル

・東急不動産

水面に設置した洋上浮体式太陽光発電パネルで発電された電気を電動モビリティに供給。VRゴーグルを使い設備上等に立った映像体験を提供した。



指定水面に設置された洋上浮体式太陽光パネル



展示パネル

・三井住友建設

プロジェクトで採用した3タイプのフロートシステムの展示



三井住友建設による実機展示



展示パネル

・商船三井（会場外の船着場）

水素生産船「ウインズ丸」の展示



商船三井による「ウインズ丸」実機



展示パネル

・アンヴァール

海水から水素を生成する過程、技術の解説、展示



アンヴァールによる展示



展示パネル

d.環境改善・資源循環

・炎重工（水上コース）

海ごみを清掃する自動運転・自動充電ロボットのデモ



炎重工による実機展示



展示パネル

・清水建設

コンクリートに塗布するだけで CO₂ を吸着する技術「DAC コート」に関する展示、解説



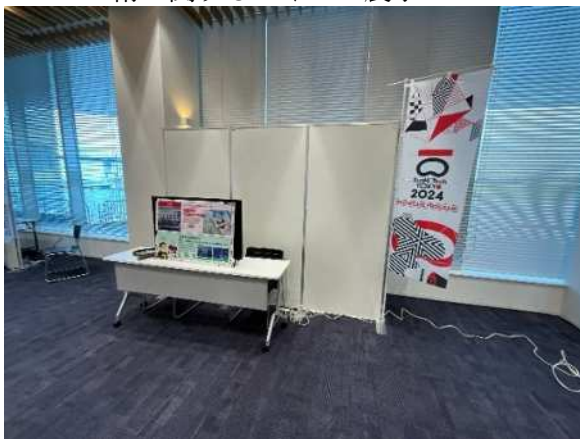
清水建設による展示



展示パネル

・イノカ

実験水槽で東京湾の環境を再現し、ヘドロに起因する悪臭の軽減や水質改善の技術に関するパネルの展示



イノカによる展示



展示パネル

・アルガルバイオ

微細藻類の海上培養装置の展示

藻類クレヨンを使った塗り絵・目に見えない微細藻類の観察体験



アルガルバイオによる展示



展示パネル

・海上視察

5月21日は、海洋産業・振興協会の協力を得て、電気船「侍」をチャーターし、指定水面上の浮体式太陽光発電設備を見学するツアーを実施。4便運航し、188人が乗船した。



指定水面ツアーの様子

(エ) エンターテインメントコンテンツ

a. 周遊スタンプラリー

東京ベイエリアおよびショーケースプログラムの周遊施策として、スタンプを集めて「僕とロボコ」オリジナルグッズをプレゼントするスタンプラリーを実施した。5個集めた人にペーパーファイルまたはステッカーを、8個集めるとサステナブル膝ボトルをプレゼント。スタンプは海の森水上競技場内のほか、ショーケースプログラムの各ベニュー（有明アリーナ、日本科学未来館、シンボルプロムナード公園マーケット）、ベイエリアの協力施設（虹の下水道館、水の科学館、アクアシティお台場、相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明、ダイバーシティ東京プラザ、シティサーキット東京ベイ、BMW Group Tokyo Bay）に設置した。



スタンプラリー台紙



ペーパーファイル



ステッカー



サステナブル膝ボトル

b. パラスポーツ体験&デモンストレーション（5月12日）

パラスポーツを盛り上げるためのコンテンツで、シンボルプロムナード公園と日本科学未来館と連携して共同実施した。

・トークショー

出演者：元車いすバスケットボール日本代表・根木 慎志氏、パラパワーリフティング選手・山下 貴久雄氏、障がい者乗馬選手・稲葉 将氏、身体障害者アーチェリー選手・高田 悠斗氏

・パラスポーツ体験



トークショー



パラアーチェリー体験



パワーリフティング体験



乗馬体験

c. ドラゴンボート体験（5月12日） ※中止

海の森総合型スポーツクラブの協力を得て20人乗りドラゴンボートの体験会を1日4回実施する計画だったが、強風のため中止となった。

d.らいちょう N 展示 (5 月 12 日～14 日)

東京海洋大学の水素船「らいちょう N」の展示。5 月 13 日は強風のため中止。



らいちょう N

e.フューチャーモビリティ～ライドパーク～

電動サイクル、電動 3 輪クイックボードを自由に体験できるコーナーを設置。特定小型原付として満 16 歳以上（運転免許証不要）。参加者の身分証明書を確認の上実施した。

・技術パートナー：OpenStreet 株式会社

イベントスタッフへの電動サイクル貸与や参加者への電動サイクルの試乗会の実施について協力を得た



フューチャーモビリティ～ライドパーク～

f.ヘルステック体験～リビングラボ～（5月12日～21日）

東京都立大学 久保田研究室協力のもと、トレーラハウス型実験環境「リビングラボ」でヘルステック体験を実施。リアル脱出ゲームやブロックデザインテスト、座るだけで筋トレができるリクライニングチェアなどの体験を実施。



リビングラボ外観



リビングラボ内部

g.ロボコのドローン☆ファクトリー（5月12日、18日、19日）

小学生高学年を対象に、ドローンの仕組みの解説、小型ドローン「HS21」制作、自作ドローンの試験飛行を兼ねたレースを週末の3日間、1日2回開催した。事前予約制、参加費2000円（税込）にも関わらず、予約開始直後に1回の参加枠数24組が埋まった。

イベント終了後は、先行プロジェクト・野村不動産が産業用ドローンの飛行デモンストレーションを実施し、水上コースの栈橋に設置した浮体式ポートに着陸、ドローンに積んだお菓子を参加児童たちに配布した。

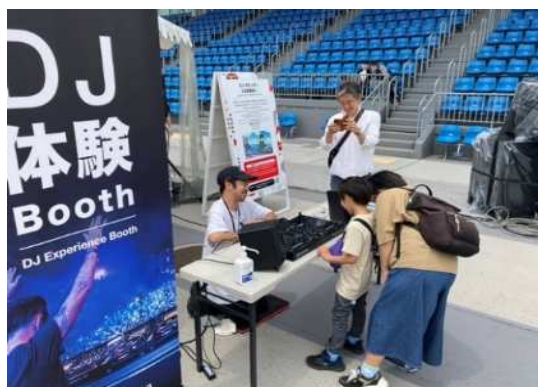


ロボコのドローン☆ファクトリー

h.エレキテック～DJ 体験会～（5月18日、19日）

海の森エリアで発電した電力の一部を使用して、本物の DJ 機材で音を出す、曲を繋ぐ、スクラッチ等の体験会や、DJ スクール生のパフォーマンス披露を行った。

技術パートナー：Alpha Theta 横浜 DJ Lab



エレキテック～DJ 体験会～

i.エレキテック～GENKI LABO サイエンスライブ～（5月18日、19日）

楽しい科学実験を通じて、テクノロジーやエネルギーの仕組みを親子で学べるサイエンスライブを実施した。YouTube で人気の、東京大学客員研究員兼サイエンスアーティスト・市岡元気先生が出演。「子供の科学 100 周年記念企画」として実施。



エレキテック～GENKI LABO サイエンスライブ～

j. テックスケボーゾーン (5月18日、19日)

プロライダーによるスケートボードのデモンストレーションと体験会を実施した。

プロライダー：荒畑潤一氏、景山 武士氏、佐々木 真那氏



テックスケボーゾーン

k. フードコーナー：ロボコのテック☆バーガーショップ

大豆やこんにやくなどを材料として、サステナブルな次世代食材などを実際に食べ、カジュアルに体験できるバーガーショップ。先進気鋭の若手シェフ・森枝幹氏が監修するハンバーガーやサラダなどを提供した。



バーガーショップ外観



提供されたバーガー

ロボコのテック☆バーガーショップ			
ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 600円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 700円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 750円	
ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 750円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 700円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 500円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 350円
ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 500円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 500円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 500円	ロボコの特製チーズ＆オニオン テック☆バーガー 500円

メニュー表

**ロボコの特製チーズ＆オニオン
テック☆バーガー**

「ロボコの特製チーズ＆オニオン」は、大豆やこんにやくなどを材料として、サステナブルな次世代食材を使用したバーガーです。先進気鋭の若手シェフ・森枝幹氏が監修するハンバーガーやサラダなどを提供しています。

**ロボコの特製チーズ＆オニオン
テック☆バーガー**

「ロボコの特製チーズ＆オニオン」は、大豆やこんにやくなどを材料として、サステナブルな次世代食材を使用したバーガーです。先進気鋭の若手シェフ・森枝幹氏が監修するハンバーガーやサラダなどを提供しています。

トレーマツ

1.ロボコのスステナ☆バーベキュー

電気または水素エネルギーを使用したグリラーで焼くバーベキューコーナーを提供した。肉（代替ミートやスステナブル牛など）・とうもろこし・ズッキーニをバーベキューの串にして、販売した。（水素グリラー使用は19日～21日）



バーベキュー串の販売

m.ロボコのフード☆ラボ～味が変わる！？エレキソルト体験～（5月18日、19日）

日本科学未来館で展示した技術パートナーの「エレキソルト」の実験機を体験する企画を実施した。微弱な電流を流すことで減塩フードも塩味が強く感じられる食器。「エレキソルト」実験機の体験は18歳以上としたが、18歳未満のお子さまには減塩フードの試食体験を用意した。



エレキソルト体験

n.水素石窯で焼く ピザの試食コーナー（5月19日～21日）

トヨタが開発を進める水素を使用して調理をすることができる水素石窯を使用して、コインピザのサンプリングを実施。水素石窯を室内で使用する事例は初めて。



水素石窯で焼く ピザの試食コーナー

(オ)各局連携

a.水素関連【産業労働局】

・ジオラマ展示

未来の羽田エリアをイメージしたジオラマで、水素を「つくる」「ためる」「はこぶ」「つかう」の流れを学ぶことができる。第一艇庫棟の入口に設置した。



水素ジオラマ

・水素で焼く！東京食材の試食コーナー（5月18日）

水素コンロで調理した、東京食材の TOKYO X（豚肉ロース）としいたけの試食会をフードコーナーで実施した。



水素で焼く！
東京食材の試食コーナー

・水素で奏でる！ストリート電子ピアノ（5月18日）

グリーン水素を燃料にした燃料電池を原動力とした電子ピアノをフードコーナーに設置し、自由に演奏できる空間を創出した。



水素で奏でる！ストリート
電子ピアノ

b.防災体験 VR（5月19日）【政策企画局】

専門家監修による科学に基づいた最新の防災体験を実施。VR の特性を活かした迫力と臨場感のある映像でシミュレーションを楽しむコーナーを第一艇庫棟 1 階に設けた。



防災体験 VR

イ 東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場特別会場

実施期間＝

5月17日 16時45分開始

5月18日 11時00分開始・14時00分開始

5月22日 13時00分開始・16時00分開始

5月23日 11時00分開始・14時00分開始



・「空飛ぶクルマ都内初飛行」イベント

丸紅エアロスペース株式会社が事業展開する「次世代モビリティ・空飛ぶクルマ」について、ショーケースプログラムの開催中、コンテンツの一環として4日間の日程で全7回実施。初日には小池都知事及び46社のメディアが来場。最終日にはCBC（TBS系列）の生中継も行われた。

なお、初飛行の会場については、安全対策を最優先として検討を行い、関係機関等とも調整のうえ、「東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場」とした。

(ア) 概要

来場者数 3,108人

【特記事項】

- ・天候に恵まれ、全4日・全7回とも開催
- ・5月17日は小池都知事来場。メディア46社来場
- ・5月18日以降は一般来場と一部関係者
- ・「貨物輸送型（カーゴタイプ）ヘクサ」は一度も飛行できず。



オープニングセレモニー（小池都知事来場）



飛行の様子



会場の様子



CBC（TBS系列）「ゴゴスマ」中継の様子

(イ) アンケート

【SusHi Tech Tokyo 2024】LIFT AIRCRAFT社「HEXA」空飛ぶクルマ
都内初飛行アンケート

313 応答

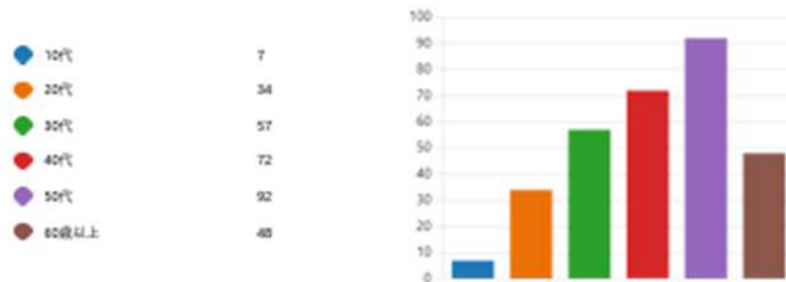
03:04 完了するのにかった平均時間

アクティブ 状態

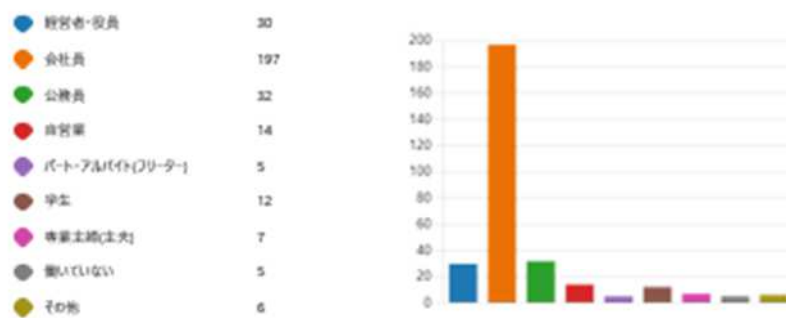
1. 性別



2. 年齢



3. ご職業



4. 空飛ぶクルマに興味はありますか？



5. 空飛ぶクルマ“HEXA”に乗ってみたいですか？

是非乗ってみたい	208
できれば乗ってみたい	88
あまり乗りたくない	14
全く乗りたくない	3



6. どのような場所で空飛ぶクルマ“HEXA”に乗ってみたいですか？

都心部	129
観光地	147
業務地	148
公園地	17
その他	14



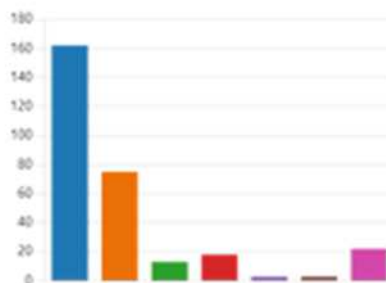
7. どれくらいの時間乗ってみたいですか？

3分	5
5分	48
10分	97
15分	145



8. 料金はどれくらいが適切だと思いますか？

1万円	162
5万円	75
7万円	13
10万円	18
15万円	3
20万円	3
その他	22



9. なぜ乗りたくないと思いましたか？

運転の安全性	11
セキュリティの懸念	2
騒音	0
プライバシー	0
環境負荷	0
価格	0
その他	4



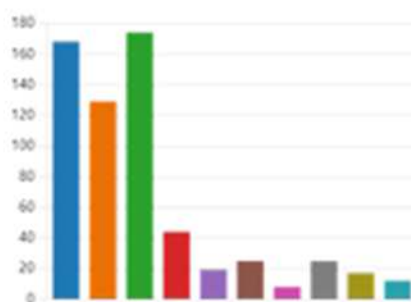
10. 空飛ぶクルマが飛行する東京の未来が楽しみですか？

とても楽しみ	213
楽しみ	83
あまり楽しみではない	14
楽しみではない	3



11. 理由を教えてください

移動時間の短縮	168
渋滞回避	129
眺望	174
環境の安全性	44
セキュリティの懸念	19
騒音	25
プライバシー	8
環境負荷	25
価格	17
その他	12



12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。

56
応答

最新の回答

51回答者 (91%) この質問に 未来回答しました。

地上 水素燃料 資源調達 メンテナンス 様子 学生理由
 バッテリー課題 素敵な 空飛ぶ車 学び
 空飛ぶクルマ イベント 東京 リチウム 感動 テレビ
 未来心

(5) 有明アリーナ

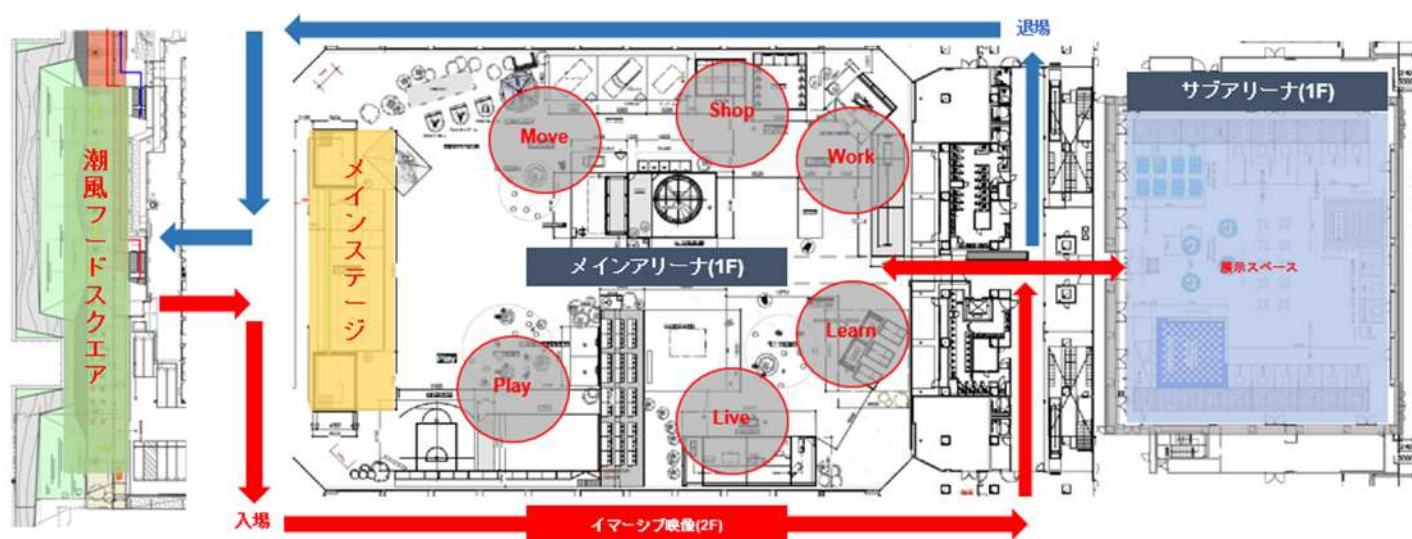
サステナブルな社会がテクノロジーにより実現した「2050年の東京の暮らし」を体験してもらい、未来の東京への共感の輪を広げ、未来への推進力とすることをコンセプトに5日間にわたって開催。10代未満・10代・20代（あわせて34%）など若年層を含む幅広い年代の人々が約33,000人来場した。

場所：有明アリーナ（江東区有明 1-11-1）

日程：5月17日～21日 会期：5日間

コンセプト：サステナブルな社会がテクノロジーの力により実現した「2050年の東京の暮らし」を体験していただくことで、未来の東京の姿への共感の輪を広げ、未来への推進力とする。

来場者数：3万3,300人



実施内容：

ア イマーシブ映像

有明アリーナの来場者通路に沿って映像スクリーンを設置。未来への没入感を高めるために未来の新聞をイメージしたイマーシブ映像を上映した。



来場者通路に設置されたスクリーンでイマーシブ映像を上映

・技術パートナー：LED TOKYO 株式会社

有明アリーナ会場において来場者が最初に目にするイマーシブ映像や、メインステージ上の巨大スクリーンなど、未来の東京を表現する上で重要な LED パネルについて同社から提供を得た。またメイン・サブアリーナ会場内に多数展示されたコンテンツタイトル、特性などを解説するためのデジタルモニターや、未来の山車「ツナグルマ」に搭載された LED パネルも同社から提供を受けた。

イ メインアリーナ（体験エリア）

「2050年の東京の暮らし」の体験コンテンツを6つのテーマに沿って構成。未来を作り出すために欠かせない先端技術を、来場者自らが体験できる設計とした。

（ア）LIVE

ロボット技術の進化により自動化 / サステナブル化 / パーソナライズ化する「未来の暮らし」が体験できるエリアを展開した。

a.未来リビング

自動で動くソファに乗りながら、ロボットペットや自動掃除ロボ、バームクーヘン職人ロボットなどが活躍する自動化が進んだ未来のリビングが体験できるゾーンを展開した。



便利な生活を体験できる未来リビング

・技術パートナー：株式会社 Preferred Robotics

自動化が進んだ未来のリビングを表現する一例として、同社が開発した掃除ロボットや自走移動型の棚の提供を得た。

・技術パートナー：大川家具

自動化が進んだ未来のリビングを表現する一例として、同社が開発した自動移動するソファの提供を得た。

・技術パートナー：GROOVE X 株式会社

自動化が進んだ未来のリビングを表現する一例として、同社が開発したロボットペット「LOVOT」複数体の提供を得た。

・技術パートナー：株式会社ユーハイム

自動化が進んだ未来のリビングを表現する一例として、同社が開発した自動バームクーヘンオーブン「THEO」の提供を得た。

・技術パートナー：パナソニック株式会社

自動化が進んだ未来のリビングを表現する一例として、同社が開発したデジタルサイネージ照明「ランターナ」複数台の提供を得た。

また未来の買い物の一例を体験する SHOP エリアのミライコンビニ区画では、全自動床掃除ロボット「RULO BIZ」の提供を得た。

・技術パートナー：株式会社タニタ、株式会社 KEAN Health

パーソナライズ化が進んだ未来の住まいを表現する一例として、同 2 社合同企画「パーソナライズドメニュー」の出展を行った。タニタからはヘルスケア目的でのレシピメニュー開発の知見、KEAN HEALTH からは遺伝子解析による個人ヘルスケア傾向の分析知見が活かされた。

b. サステナブルハウス

家庭内で野菜が育てられるインドア・ファーミングの最新モデルや、自発光植物の力で電力消費が不要となる室内照明の可能性展示など、住居のサステナブル化が進んだ未来が体験できるゾーンを展開した。



未来のサステナブルを体感する来場者たち

・技術パートナー：大阪大学 産業科学研究所 生体分子機能科学研究分野、奈良先端科学技術大学院大学、株式会社インプラントイノベーションズ、株式会社 LEP、大阪大学

サステナブル化が進んだ未来の住まいの表現一例として、自発光植物細胞を活用する未来の室内ランプの可能性展示を行った。その際、記載した 5 団体が共同開発中の見本品の貸与協力を得た。

・技術パートナー：プランティオ株式会社

サステナブル化が進んだ未来の住まいの表現一例として同社の最新型インドアファーミングユニットの貸与協力を得た。

c. パーソナライズルーム

その日の天気、個人の体調や気分によって異なる香りが推奨される「パーソナルフレグランス」体験や、一人ひとりの遺伝子パターンや健康状態を考慮した専用メニューが推奨される「パーソナライズメニュー」体験、最適な眠りを提案する最新型ベッドの体験など、パーソナライズ化が進んだ未来が体験できるゾーンを展開した。



一人ひとりに合わせた未来を体験する来場者たち

・技術パートナー：Japan Global Association 株式会社

パーソナライズ化が進んだ未来の住まいを表現する一例として、個人の体調や気分によって異なる香りが推奨される「パーソナライズフレグランス」というデモンストレーション出展を実施した際、香りや匂いを専門とする同社の知見協力を得た。また当イベントに際し、ソメイヨシノなどを原料として調合した香りを「未来の匂い」と称して会場入り口付近で漂わせる演出を実施するにあたり、同社の開発協力を得た。

・技術パートナー：パラマウントベッド株式会社

パーソナライズ化が進んだ未来の住まいを表現する一例として、同社の最新型アクティブスリープベッドの提供を得た。

(イ) WORK

技術によるアシストで作業負担が大幅軽減され、一人ひとりに選択肢が広がった「未来の働き方」を体験できるエリアを展開した。

a. アシストスーツシリーズ

アシストスーツ 9 種展示し来場者に災害現場の復旧作業体験の機会を提供した。



作業負担が軽減されるスーツを体験

- ・ 技術パートナー：アシストスーツ協会（株式会社ダイドー、株式会社加地、株式会社 Asahicho、ダイヤ工業株式会社、アルケリス株式会社、株式会社イノフィス、日本シグマックス株式会社、倉敷紡績株式会社、株式会社菊池製作所）

働き方の広がりを表現する一例として、アシストスーツの装着や荷物運びの体験コンテンツを展開。同協会所属 9 社よりそれぞれデザインや用途の異なるアシストスーツの提供を得た。

b. 歩行解析診断ロボット

未病診断への期待が高まる歩行解析ロボットを使った歩行動作測定・解析を体験できる機会を提供した。



歩行解析ロボット

- ・ 技術パートナー：株式会社 RDS

同社の開発する歩行解析ロボットで実際に測定ができる体験会を開催した。

c.自動追従ロボット台車

自動走行機能が備わったロボット台車を使ったモノ運び体験ができる機会を提供した。



自動で人を追うロボット台車

・技術パートナー：株式会社 ZMP

働き方の広がり表現する一例として、自動追従機能付きのロボット台車のデモンストレーション展示を展開。ロボット台車の提供を得た。

(ウ) SHOP

テクノロジーによりサステナブルに進化した「未来のお買い物」の体験ができるエリアを展開した。

a.Sustainable clothing store

デザインの 3D デジタル化や合成技術進化により衣料ロスを出さずデジタル上で試着ができる未来のアパレルショップ体験の機会を提供した。



デジタル上で試着ができる未来のアパレルショップ

・技術パートナー：株式会社 Vglab

アパレルの未来表現の一例として、デジタルで試着ができる体験コンテンツを展開。コンテンツ制作において同社の顔写真合成技術の協力を得た。

b. ミライコンビニ

遠隔操作ロボットが商品陳列で活躍してくれる未来のコンビニが体験できる機会を提供した。



ロボットが活躍する未来コンビニ

・技術パートナー：テレイグジスタンス株式会社

コンビニの未来を体感するゾーンを展開し、可能性の一例としてロボットが商品陳列をするデモンストレーション展示を展開。同社が有する商品陳列ロボットの貸与協力を得た。

(エ) LEARN

誰しものが、いつでもどこでも一流のプロから学べ、自らの潜在能力を最大限に引き出せる「未来の習い事」の一例として、リモートでのダンスレッスン体験コンテンツを展開した。



リモートでダンスレッスンが受けられる「未来の習い事」

・技術パートナー：トンガルマン株式会社

未来の習い事の一例としてリモートダンスレッスンの体験コンテンツを展開。同社の有する映像合成技術の協力を得た。

・ダンス提供：FISHBOY

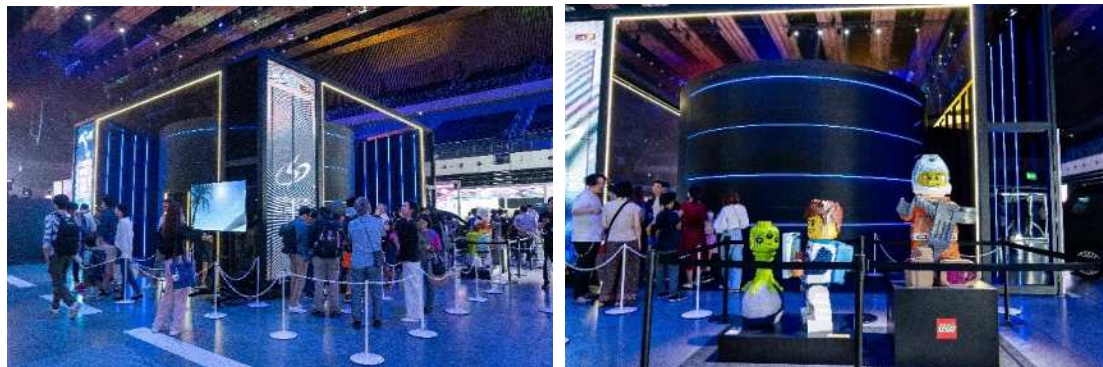
本イベントのために考案したオリジナルダンスの提供を得た。

(オ) MOVE

手軽な移動から壮大な宇宙旅行まで身近で便利になった「未来のモビリティ」の可能性の広がり来場者に体験してもらうべく、モビリティ車両展示や乗り込み体験を多数展開した。

a. 宇宙エレベーター (SPACE GATE)

2050 年に完成を目指す宇宙軌道エレベーターの模擬体験コンテンツを、360 度映像や振動装置を駆使して展開した。



たくさんの来場者でにぎわう宇宙エレベーター

・技術パートナー：株式会社 大林組、田中電気株式会社、株式会社ピー・ビーシステムズ、株式会社 playknot

宇宙への移動が気軽に楽しめる未来表現の一例として、疑似体験コンテンツ「宇宙エレベーター」を展開。その際、大林組には同社が 2012 年に一般公表した「宇宙軌道エレベーター構想」に基づいた体験ストーリーの監修、田中電気とピー・ビーシステムズの 2 社には振動装置付きの映像シアター設備の貸与、株式会社 playknot には 360 度映像の新規制作など、各工程において各企業の知見を活かした形で参画協力を得た。

・技術パートナー：レゴジャパン株式会社

同企業が手掛ける大人から子どもまで楽しめる最新モデルの展示を中心とした企業ブースのサブアリーナ出展協力を得た。また「宇宙エレベーター」コンテンツ待機列付近には宇宙旅行を想起させる宇宙飛行士型レゴ®を 2 体展示した。

b.未来モビリティの展示（FUTURE PLATFORM）

①空飛ぶクルマの展示と乗り込み体験を実施した。



空飛ぶクルマ

・技術パートナー：株式会社 SkyDrive

同社開発の空飛ぶクルマ「SD-03」の提供を得て、会場内展示を実施した。

②自動運転車両 3 台を展示し、うち 2 台では乗り込み体験を実施した。



実際に自動運転車に乗り込む来場者たち

・技術パートナー：本田技研工業株式会社

自動運転車の普及光景の一例として同社の自動運転サービス車両「クルーズ・オリジン」の提供を受けた。会場では車両展示と来場者の乗り込み体験を実施した。また同社を含む自動運転関連企業の合同企画として、サブアリーナでは自動運転の技術や未来像についてわかりやすく理解できるパネル展示やクイズ出題、塗り絵ワークショップの出展協力を得た。

・技術パートナー：株式会社ティアフォー

自動運転車の普及光景の一例として、同社の自動運転サービス車両「Shuttle bus」の提供を受けた。会場では車両展示と来場者の乗り込み体験を実施した。また同社を含む自動運転関連企業の合同企画としてサブアリーナでは自動運転の技術や未来像についてわかりやすく理解できるパネル展示やクイズ出題、塗り絵ワークショップの出展協力を得た。

・技術パートナー：MONET Technologies 株式会社

自動運転車の普及光景の一例として、同社の自動運転機能つき車両「シエナ」の提供を受けた。また同社を含む自動運転関連企業の合同企画としてサブアリーナでは自動運転の技術や未来像についてわかりやすく理解できるパネル展示やクイズ出題、塗り絵ワークショップの出展協力を得た。

③パーソナルモビリティ3種を展示し、5月19日には来場者が一部の機体に直接触れる体験の機会を提供した。



パーソナルモビリティの展示の様子

・技術パートナー：トヨタ自動車株式会社

パーソナルモビリティ多様化の一例として同社開発の段差乗降機能付きモビリティ「JUJ」の提供を受けた。

・技術パートナー：千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）

パーソナルモビリティ多様化の一例として同団体開発のモビリティ「CanguRo」の提供を受けた。また5月19日に行われたモビリティをテーマにしたパネルディスカッションでは同所所長・古田氏の登壇協力を得た。

④車窓サイネージや3D映像パネルを搭載したタクシー車両の展示を実施した。



最先端の機能を有するタクシー車両の展示

・技術パートナー：株式会社ニューステクノロジー、株式会社 S.RIDE

モビリティの多様性進化の表現一例として、2社が開発協力する車窓サイネージや3D立体映像の機能を有するタクシー車両の提供を受けた。

⑤最軽量クラスの電気自動車と最新型ワイヤレス給電設備の展示を実施した。

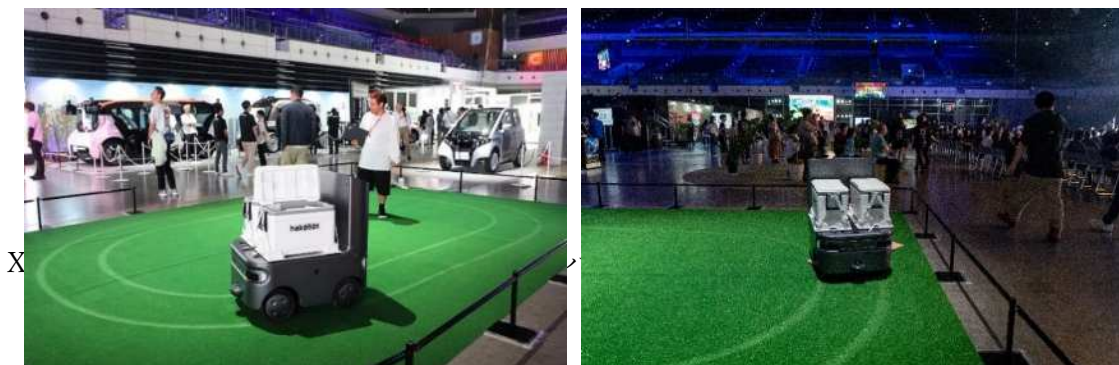


電気自動車車両と給電設備の展示の様子

・技術パートナー：株式会社 FOMM、株式会社 プラゴ

モビリティの多様性進化の表現一例として、最軽量クラスの電気自動車「FOMM」の貸与協力による車両展示、および最新型プラグイン給電キット「PLUGO」の貸与協力による機器展示、そして両展示を隣接による電気自動車の給電光景を展開した。

⑥未来の物流を支える自動輸送ロボットのデモンストレーション展示を実施した。



自動輸送ロボットのデモンストレーションが行われた

・技術パートナー：株式会社 Hakobot

モビリティの多様性進化の表現一例として、自動運搬ロボット「Hakobot」の提供を受け、デモンストレーションを実施した。

⑦エンターテインメントバスによる「宇宙遠足 XR バスツアー」を実施した。



XR 映像を楽しめるエンターテインメントバス

技術パートナー：日本テレビホールディングス株式会社、トヨタ紡績株式会社

モビリティの多様性進化の表現一例として、2社が共同開発する XR 映像を楽しむエンターテインメントバスの出展協力を得た。

c.巨大ロボットの展示

移動車両にも変形する巨大ロボットを展示。期間中には変形デモンストレーションを複数回にわたり実施した。



さまざまな形に変身する巨大ロボット

・技術パートナー：ツバメインダストリ 株式会社

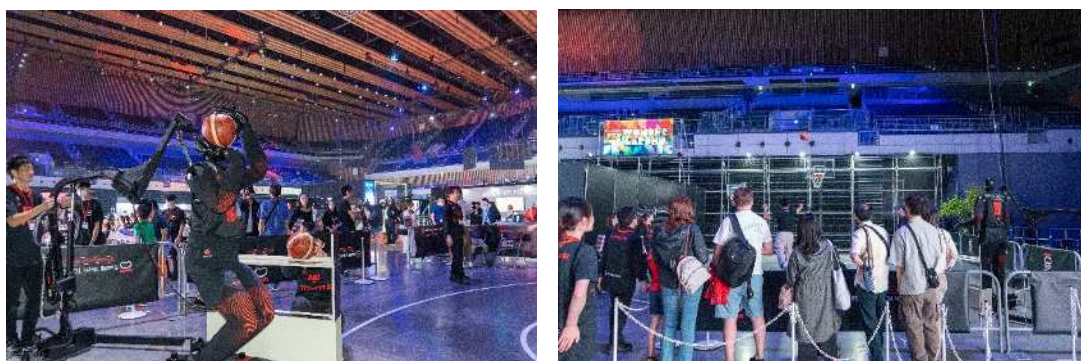
モビリティの多様性進化の表現一例として、同社が開発した自走型巨大ロボット「ARCHAX」の提供を受け、会場内展示を実施した。また ARCHAX の変形デモンストレーションについて会期中複数回にわたり実施協力を得た。

(カ) PLAY

身体能力や年齢など様々な違いを受容し、誰でも遊びに加われる「未来の憩いの場」を体験できるエリアを展開した。

a.フリースローロボット

ロボットによる実演と来場者と交互シュートし楽しめる体験ブースを展開した。



フリースローロボットには連日長蛇の列ができた

・技術パートナー：トヨタ自動車株式会社

ロボットと人間と一緒に楽しむ未来の表現一例として、同社開発の AI フリースローロボット「CUE」の貸与協力を得た。

b.AR スポーツ「HADO」

仮想空間上でエネルギーボールをぶつけあう AR 型スポーツ「HADO」の体験ブースを展開した。



「HADO」を楽しむ来場者たち

・技術パートナー：超人スポーツプロジェクト

VR ゴーグルを着用しながら楽しむ AR 版ドッチボール「HADO」の体験ブースを展開。同団体から出展協力を得た。

c.VR フィットネス

アシックスが開発した VR 映像を駆使したフィットネスゲームの体験ブースを展開した。



VR 映像を駆使したフィットネスゲームを体験する来場者たち

・技術パートナー：株式会社アシックス

VR ゴーグル着用のデジタルフィットネス体験ブースを展開。同社が開発中のフィットネスソフトを当イベント用に新規制作する協力を得た。

(キ) その他

a.会場内サイン

来場者が会場内を分かりやすく移動できるよう、3D 立体映像を駆使した会場案内サインを設置した。



わかりやすく工夫された会場案内サイン

・技術パートナー：株式会社ブライトヴォックス、株式会社リコー

来場者に場内を楽しく移動してもらうため、未来の雰囲気に満ちた3D 立体映像による会場案内サインを設置。その際、株式会社リコーが出資するブライトヴォックスの映写機器を活用し、また当イベント用に3D コンテンツの新規制作協力を得た。

b.植木の里親

引越しや家屋老朽化により行き場を失い保護された植木達を、会場内の植栽装飾として活用。植木の里親への申し出ができるよう来場者向けに案内パネルも設置した。



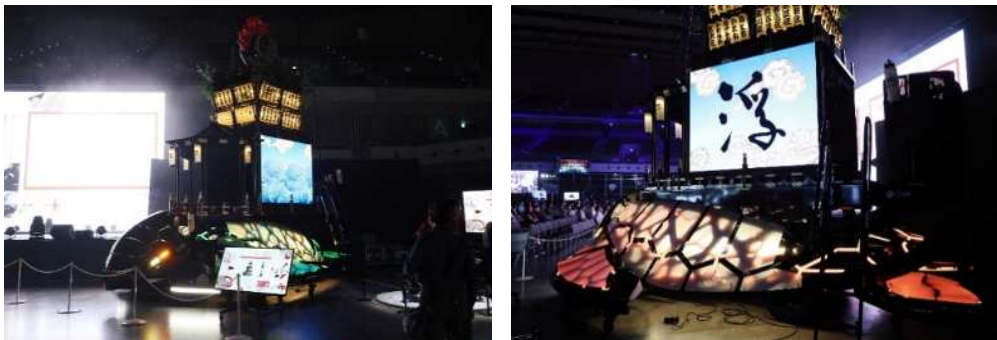
保護された植木が会場装飾として使用された

・技術パートナー：株式会社やましたグリーン

PLAY エリアを中心に、家屋の老朽化や転居に伴い行き場を失った植木たちを会場の植栽演出として多数展示し、同時に新たな貰い手を募集する「植木の里親プロジェクト」を展開同社が取り扱う植木の出展協力を得た。

c. ツナグルマの展示

5月17日、18日の2日間、イベントのシンボル造形物である未来の山車「ツナグルマ」をPLAYエリア内に展示した。



イベントのシンボル造形物「ツナグルマ」

ウ メインアリーナ（ステージプログラム）

メインアリーナ特設ステージで、2050年の東京を考えるきっかけづくりとなるトークセッションやスピーチ、未来への推進力を生み出すステージパフォーマンスなどを展開した。

（ア）オープニングセレモニー 実施日時：5月17日14時00分～14時30分

未来への幕開けを飾るオープニングセレモニーとして有明アリーナ会場の見どころや、SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム応援ソング yama『声明』のミュージックビデオの初披露などを実施した。

出演者：小池百合子東京都知事（ビデオ出演）、辻愛沙子氏（実行委員会委員長）

後藤りゅうと氏（ドラマ出演者）、MC：平井理央氏



オープニングセレモニーの様子

(イ) オープニングスピーチ

a. 「宇宙から見えるミライ」 実施日時：5月17日15時00分～15時40分

宇宙飛行士の野口聡一氏が、自身の経験を基に宇宙飛行の最前線で進みつつある技術革新や今後の持続可能な都市実現などについてスピーチを実施した。

出演者：野口聡一氏

(宇宙飛行士、「こどもスマイルムーブメント」アンバサダー)



宇宙飛行や時速可能な都市実現について語った。

b. 「データから読み解くミライ」 実施日時：5月17日17時30分～18時10分

世界的ベストセラー「FACTFULNESS」の共著者であるアンナ・ロスリング・ロンランド氏が、ファクトから紐解く2050年の世界と東京の未来像についてビデオ出演形式でスピーチを実施した。

出演者：アンナ・ロスリング・ロンランド氏

(「FACTFULNESS (ファクトフルネス)」共著者)



アンナ氏はビデオ収録でスピーチを実施した。

(ウ) パブリックビューイング「空飛ぶクルマ都内初飛行」

実施日時：5月17日16時45分～17時15分

丸紅エアロスペースが事業展開する空飛ぶクルマの都内初飛行を東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場の特別会場にて実施。有明アリーナではその貴重な瞬間をパブリックビューイングとして上映した。



「空飛ぶクルマ」の都内初飛行を多くの人が見守った

(エ) 近未来オムニバスドラマ

2050年の東京での生活の一例を描いたドラマ「COACH」・「大切な友達」の2作品を制作し、有明アリーナで上映した。5月18日には「COACH」主演の木戸大聖氏、19日には「大切な友達」主演の木村文乃氏による舞台挨拶を実施した。

実施日時：5月18日12時00分～12時20分 木戸大聖氏 舞台挨拶

12時20分～12時45分 2作品上映会

5月19日12時00分～12時20分 木村文乃氏 舞台挨拶

12時20分～12時45分 2作品上映会

16時00分～16時25分 2作品上映会



木戸大聖氏



木村文乃氏

・技術パートナー：トライストーン・エンタテイメント

未来の東京の一例を表現する「近未来オムニバスドラマ」を同社協力の下で制作。

(オ) スペシャルトークセッション

「自動運転って何？～みんなで考えよう自動運転のある未来～」

実施日時：5月18日15時00分～16時30分

自動運転とは何か、自動車業界の動向と変化、地域公共交通と自動運転、自動運転が生活にどんな変化をもたらすのか、など自動運転にまつわるトークセッションを実施した。

出演者：谷口綾子氏（筑波大学 大学院システム情報系 社会工学域 教授）、竹岡圭氏（日本自動車ジャーナリスト協会 副会長）、大塚泰子氏（デロイト トーマツファイナンシャルアドバイザー 合同会社）、橋本正裕氏（茨城県 境町長）、加藤昌彦氏（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 招聘 研究員）



自動運転に関する熱いトークが繰り上げられた

(カ) 超人スポーツチャレンジ 2050 実施日時：5月18日13時30分～14時40分

デジタル技術の活用で身体差に関係なく楽しめる次世代スポーツ3種のデモンストラレーションステージを実施。AR とモーションセンシング技術を駆使し“エネルギーボール”と“バリア”を駆使して対戦する「HADO」、人型ロボットを装着しパイロットになって対戦する新感覚ボクシング「R-FIGHT」、手軽に楽しめるデジタルチャンバラ「SASSEN」の3種のうち、SASSENでは来場者による体験参加も実施した。

出演者：中西寛氏（超人スポーツプロジェクトプロデューサー）、宇山賢氏（フェンシング選手）、杉本一樹氏（空手家）、真壁伸弥氏（ラグビー選手）、中村美里氏（柔道家）



3種類の次世代スポーツが紹介された

(キ) MPLUSPLUS LED DANCE SHOW

実施日時：5月18日17時00分～17時40分

音・映像・光を用いたステージパフォーマンスの企画演出を行うクリエイティブ・テクノロジスト集団MPLUSPLUSのダンサーたちが、LEDライトを駆使したダンスパフォーマンスを披露した。ステージ終了後には、パフォーマンスで使用されたLEDフラッグやLEDリボンを実際に手に取ってもらう体験会も開催した。



MPLUSPLUSによる華やかなステージ

・技術パートナー：MPLUSPLUS 株式会社

ダンサーやミュージシャンなどの演者のためのツールとしてプロダクトやシステムを多数開発し、アート&テクノロジーを総合芸術として発展させている。国際的にも人気を博しているステージパフォーマンスも特徴のひとつとしている。

(ク) WAO!DANCE 実施日時：5月18日18時10分～18時50分

イベントのシンボル造形物「ツナグルマ」の製作やデザインに携わった関係者たちによるツナグルマの解説トークセッションに続き、アーティスト・小袋成彬氏が作曲した「和」と「未来」が融合した楽曲に、ダンサーの FISHBOY が振り付けをしたダンスをステージで紹介。来場者の多くが参加する参加型ダンスタイムを実施した。

出演者：宮本芳彦氏（宮本卯之助商店）、小西哲也氏（exiii design）、
鈴木直樹氏（LED TOKYO）、中村弘峰氏（中村人形 四代目）、
佐藤勇介氏（総合プロデューサー）
楽器演奏 いさはやプロジェクト（太鼓：山部泰嗣 / 太鼓：前田剛史 /
笛：吉村靖弘 / 三味線：浅野祥） ほかダンサー多数出演



会場全体を巻き込んだ WAO!DANCE のパフォーマンス

(ケ) パネルディスカッション

未来に向けて考え、自ら行動できることは何なのかを来場者にも主体的に考えてもらうきっかけ作りとして、以下の7テーマ毎に有識者・専門家によるパネルディスカッションを実施した。

a.FOOD 実施日時：5月19日14時00分～15時00分

「東京の豊かな食文化を2050年に残すために」と題し、食料自給率が限りなく0に近い東京で自給自足に関する実情やサステナブルな食文化について考え、よりよい未来を実現するための選択肢「Eat Better」を目指す為になにができるかを考えるパネルディスカッションを実施した。

出演者：生江史伸氏（「レフェルヴェソンス」シェフ）、露木しいな氏（環境活動家）、下川哲氏（早稲田大学教授）



生江史伸氏



下川哲氏



さまざまな切り口から食の未来について議論が交わされた

b.MOBILITY 実施日時：5月19日17時30分～18時30分

「サステナブルなモビリティ社会」と題し、メインアリーナ会場にも展示された新型モビリティ「ラプター」開発に携わった3名による開発経緯や理念などの解説を通じて、今後モビリティがどのように進化し、社会がどのように変わっていくかを考えるパネルディスカッションを実施した。

出演者：杉原行里氏（RDS 代表）、古田貴之氏（千葉工業大学ロボット研究センター所長）、小西哲哉氏（exiii design 代表）



左から杉原行里氏、小西哲哉氏、古田貴之氏



未来のモビリティが活躍する未来を会場が一体となって考えた

c.LIVE 実施日時：5月20日12時30分～13時30分

「進化する技術の中での変わらない人の営み」と題し、テクノロジーの進化を背景に、街づくりや建築の変化についての現在地や未来を創るための人々の心構えや選択の在り方について専門家視点を交えたディスカッションを実施した。

出演者：田中元子氏（実行委員会副委員長、グランドレベル代表）、ディヴィット・シム氏（建築家）、大島芳彦氏（ブルースタジオ代表）



街づくりや人の暮らしに焦点を当てた



田中元子



ディヴィット・シム氏



大島芳彦氏

d.DESIGN 実施日時：5月20日15時00分～16時00分

「人と自然が共存する持続可能なデザイン」と題し、「サステナブル」の定義や江戸時代まで遡る歴史を分かりやすく紐解き、デザインによって未来の生活やビジネスがどのように変わるかを考えるディスカッションを実施した。

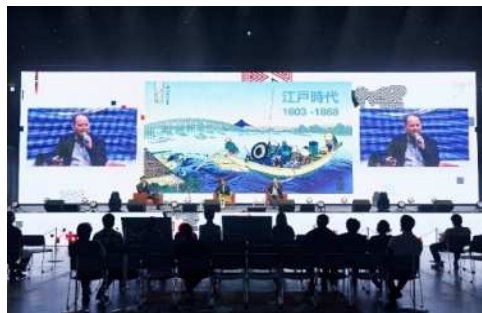
出演者：太刀川英輔氏（Nosigner 代表）、アズビー・ブラウン氏（未来デザイン研究所）、高瀬香絵氏（自然エネルギー財団）



太刀川英輔氏



右：アズビー・ブラウン氏、中央：高瀬香絵氏



サステナブルの歴史について来場者は聞き入った

e.LEARN 実施日時：5月20日17時00分～18時00分

「2050年の教科書」と題し、いま求められるアントレプレナーシップ（起業家精神）や、グローバルで活躍するためのスキルについて専門家の視点で考察し、さらに、社会の変化によって未来の教育はどう変わっていくかについてディスカッションを実施した。都立高校生による質問の時間も設け、ステージと会場でコミュニケーションを図った。

出演者：星友啓氏（スタンフォード・オンライン校長）、伊藤羊一氏（武蔵野大学アントレプレナーシップ学部長）、久保彩氏（フライヤー）



伊藤羊一氏



久保彩氏



星友哲氏



グローバルで活躍するために必要な教育を次世代とともに考えた

f.WORK 実施日時：5月21日12時30分～13時30分

「幸福循環経済」と題し、「サーキュラーエコノミー」とはどのようなものか、先進的な事例や、海外での経験を踏まえて分かりやすく紐解きつつ「幸福=happy」をキーワードに東京の未来像をそれぞれの観点から語りあうディスカッションを実施した。

出演者：安居昭博氏（Circular Initiatives&Partners）、久保田和也氏（4P's コーポレーション）、加藤佑氏（ハーチ）、杉田真理子氏（都市デザイナー）



安居昭博氏



加藤佑氏



久保田和也氏



杉田真理子氏

サーキュラーエコノミーの観点から東京の未来について意見を交わした

g.DE&I 実施日時：5月21日14時00分～15時00分

「未来に向けたサステナブル・マインド」と題し、ダイバーシティ&インクルージョンと人権が尊重される社会実現に向けた現状課題、そして課題解消に向けた取組について、広告業界、NPO、スタートアップ支援それぞれの立場から意見を交わすディスカッションを実施した。

出演者：辻愛沙子氏（東京ベイエSGプロジェクト国際発信実行委員会委員長）、川口加奈氏（Homedoor）江原ニーナ氏（Cradle）



辻愛沙子 実行委員長



江原ニーナ氏



川口加奈氏



(ケ) 企業プレゼンテーション

社会課題を解決し、よりよい未来を実現することを目指して様々な取組みを行う企業がステージ登壇する企業プレゼンテーションを実施した。

a.東京ガス株式会社 実施日時：5月20日14時00分～14時30分

「エネルギーの未来～e-メタンが創り出す世界」と題し、水素とCO₂を原料に製造された合成メタン「e-メタン」を持続可能かつ現実的なカーボンニュートラル化の打ち手の一つと位置づけ、都市ガスをeメタンに置き換える取組が紹介された。

出演者：小西雅子氏（東京ガス株式会社 常務執行役員）



小西雅子氏

・技術パートナー：東京ガス株式会社

5月20日にステージで開催された企業プレゼンテーションにおいて、合成メタン「e-メタン」による脱炭素に向けた取り組みについての技術成果披露の協力を得た。

b.Proximar Seafood with 丸紅株式会社 実施日時：5月20日16時15分～45分

「サステナビリティの未来：サーモン養殖の常識に挑戦」と題し、需要拡大に反して海上養殖生産量の頭打ちも懸念されるアトランティックサーモンを陸上で養殖する取組についての仕組みや事業理念について紹介された。

出演者：ヨアキム・ニールセン氏（Proximar Seafood CEO）



ヨアキム・ニールセン氏

c.株式会社 Playknot&株式会社 STYLY 実施日時：5月20日18時30分～19時
「XRの新時代：次元を超えた体験の創出」と題し、通信速度向上を背景にしたコンテンツ進化や2Dから3Dへの変遷最新事情、現実と仮想現実が重なり合う未来に向けた取組について紹介された。
出演者：本屋敷匠真氏（株式会社 playknot 共同代表）、山口恭兵氏（株式会社 playknot 共同代表）、井倉北斗氏（株式会社 STYLY）



井倉 北斗氏



山口 恭兵氏



本屋敷 匠真氏

・技術パートナー：STYLY

5月20日にステージで開催された企業プレゼンテーションにおいて、MOVE エリアの技術パートナー企業である株式会社 playknot と合同で XR の最新事例や未来展望について語るプレゼンテーション登壇協力を得た。

(コ) クロージングセレモニー 実施日時：5月21日 15時00分～15時15分

有明アリーナ会場の最終日に際し、ショーケースプログラム実行委員長からの挨拶や来場者への呼びかけのコメントなどと併せて、ショーケースプログラムに携わった出演者や協力企業に対して感謝の意を伝えるビデオが上映された。

出演者：辻愛沙子氏（実行委員会委員長）



クロージングセレモニー



辻愛沙子 実行委員長

(サ) yama SPECIAL LIVE 実施日時：5月21日 19時00分～19時40分

東京の未来づくりの旗手になりうる著名音楽アーティストとして yama 氏による特別 LIVE を有明アリーナ開催最終日の5月21日に開催した。SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムの応援ソングとして「声明」を発表し、同曲 MV では有明アリーナなどの会場でも撮影が実施された。



yama SPECIAL LIVE

エ サブアリーナ

(ア) 自動運転関連出展

自動運転のある未来について来場者にわかりやすく想像してもらうべく、自動運転技術に関するパネル展示、タブレットを活用したクイズ出題、こども向けの塗り絵ワークショップ、トミカで遊ぶことができる親子の寛ぎスペース（Play Ground）の設置などを実施した。



クイズコーナー



塗り絵コーナー



遊戯スペース



ライダー展示

出展企業：・ 本田技研工業株式会社
・ 株式会社ティアフォー
・ MONET Technologies 株式会社
・ 先進モビリティ株式会社

(イ) 企業ブース出展

未来の東京づくりを推進するショーケースプログラムの技術パートナーや東京ベイ e S G パートナーの企業ブースを、2 社合同出展を含む計 13 基出展。各社の技術披露と交流の場を創出した。

<技術パートナー出展>

- ・一般社団法人 Chefs for the Blue

海の未来を考えるきっかけ作りとして、同団体シェフと海洋資源保全に尽力する漁業従事者による共同開発レシピ 6 案の紹介と、各海産物の希少性に関する解説展示を実施

- ・アクアテック株式会社

結露現象を効率的に発生させ飲料水を作るウォーターサーバ「AIRLITH」展示。

- ・株式会社 playknot、株式会社 STYLY :

VR ゴーグルを使わず立体に見える 3 D 映像広告のデモ上映を実施。

- ・株式会社アストロスケール :

同社開発のデブリ除去衛星「ADRAS-J」の解説パネル設置と紹介映像上映を実施。

- ・株式会社 SUDACHI Tech、EchoX :

同社が手掛ける NFT 技術、および事業社向け WEB 3 開発支援事業の紹介を実施。

- ・株式会社レゴジャパン

宇宙を身近に感じさせるスペースシリーズを中心とした最新型レゴ®の展示を実施。

<東京ベイ e S G パートナー出展>

- ・株式会社 SeiRogai、

同社の VR360 度バーチャルツアーの事業紹介と体験デモンストレーションを実施。

- ・Meta Works Project

同社開発の遠隔バーチャル案内システム「Virtual Hands On」の体験を実施。

- ・inQs 株式会社

同社開発の光発電遮熱ガラス「SQPV GLASS」の展示を実施。

- ・株式会社 HARTi

同社開発の都市型「AR スマート太陽光電柱」の技術解説展示を実施。

- ・株式会社インターホールディングス

同社が開発した食品長期保存を可能とする真空容器「Shin-ku SERVER」展示を実施

- ・アジア航測株式会社

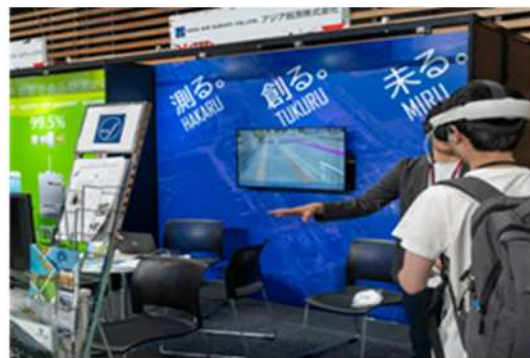
同社開発の XR システムの体験およびセンシング技術の解説展示を実施。

- ・株式会社 PBADAO

同社開発の名刺サイズのカード型ハードウェアウォレット「Pokke」、および生体認証スマートウォレットソフト「TORMO」の体験展示を実施。



Meta Works Project



アジア航測株式会社



Chefs for the Blue



株式会社アストロスケール

(ウ) レゴ®作品「未来の東京」の展示

未来の東京をテーマにした巨大レゴ®作品を展示。来場者の未来想起を促した。



レゴ作品展示

・技術パートナー：レゴジャパン株式会社

同企業が手掛ける大人から子どもまで楽しめる最新モデルの展示を中心とした企業ブースの出展協力を得た。

オ 潮風フードスクエア

(ア) キッチンカー出店

有明アリーナに隣接する有明親水海浜公園の敷地を活用し、サステナブル食材を扱う飲食事業社によるキッチンカーを出展。イベント期間中計7店舗を展開した。

<出店>

Tsukuyomi Coffee Organic (コーヒー) 5月17日～21日

お茶カフェ大川園 (抹茶アイスパフェ) 5月17日～19日

NICO TACOS (タコス) 5月20日、21日

ココナッツグレン (ヴィーガンアイス) 5月17日～21日

TDM 1874 Brewery (クラフトビール) 5月17日～21日

u3doco (オリジナルサバサンド) 5月17日～21日

The Rising Sun Coffee × BEAT ICE (コーヒー&アイス) 5月17日～21日



(イ) Chefs for the Blue 特別ランチ&トーク「海と食の未来をつくる」

持続可能な海を目指すフードジャーナリストとトップシェフ約30名が参加する料理人チーム「Chefs for the Blue」の所属シェフらによる特製ミールボックスの提供と、「海と食の未来」をテーマにしたトークがセットになったスペシャルランチイベントを5月18日、19日の2日間にわたり実施した(有料・事前予約制)。なお5月19日については雨天対応としてサブアリーナ会場内の交流スペースに場所を変更して開催した。

出演者：石井真介(「シンシア」オーナーシェフ)、中村和成(「ラ・ボンヌ・テーブル」シェフ)、佐々木ひろ子(Chefs for the Blue 代表理事)



5月18日屋外実施



5月19日雨天対応（サブアリーナで実施）

・技術パートナー：一般社団法人 Chefs for the Blue

「海の未来」を考えることを狙いとする海の食材を活用したスペシャルランチボックスのメニュー開発と調理、提供、シェフによるテーマトークの演出で協力を得た。

カ その他

(ア) メインアリーナ入口 LED

メインアリーナ会場の入り口には、有明アリーナ会場に先がけて開催していた日本科学未来館で募った来場者や登壇者による「未来の東京への期待」のメッセージが浮かび上がる巨大な LED パネルを設置し、来場者を出迎えた。



メインアリーナ入口 LED パネル

(イ) 各局の取組

a 東京都ブース出展 【政策企画局】

有明アリーナから他会場に向かう来場者に向けて、退場導線通路には、東京都や SusHi Tech Tokyo の取り組みへの理解が深まるブースを出展した。



SusHi Tech Tokyo 2024 PR ブース

b 舟運 【都市整備局】

有明アリーナ会場の開催期間中に都心と有明アリーナを結ぶ航路が以下のスケジュールで特別運行された。乗船料は無料で事前の WEB 予約に加えて、当日受付も行った。期間中には合計 2,542 人が乗船した。

5 月 17 日～19 日 ウォーターズ竹芝前⇄有明アリーナ

5 月 20 日～21 日 ウォーターズ竹芝前⇄晴海五丁目⇄有明アリーナ

第 4 開催結果

1 アンケート結果

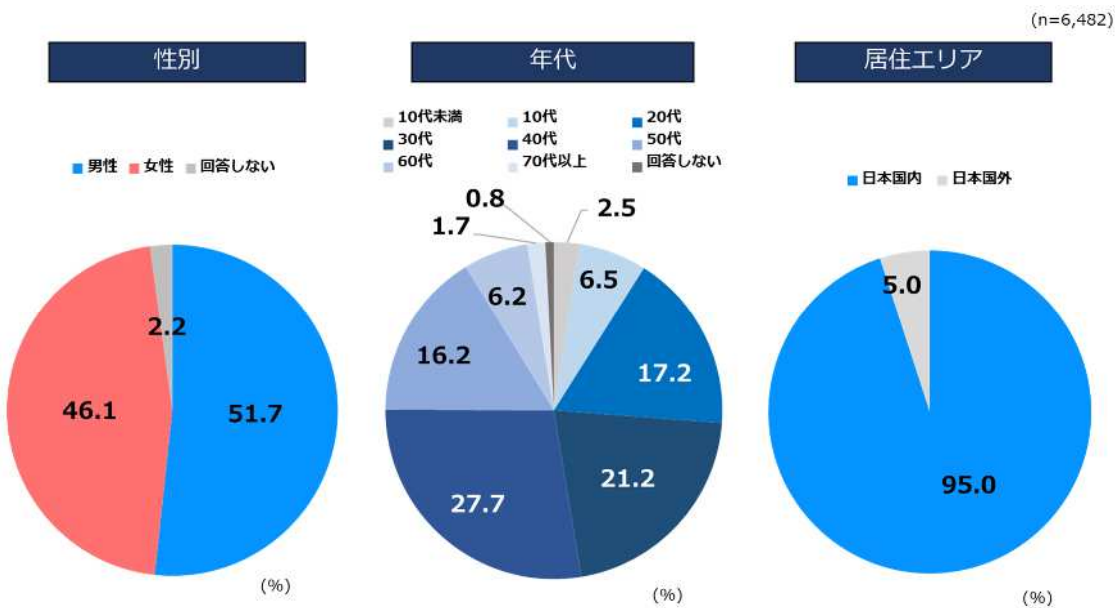
(1)会場での来場者向けアンケート調査

参加者のイベントに対する満足度やサステナブル意識などの定性的な評価の検証及び参加当日の消費行動への貢献度を測定するため、会場でのアンケート調査を実施した。

【調査概要】

- ・ 調査手法：QR コードを用いた WEB アンケートへの回答（日・英）
- ・ 対象者：イベント参加者
- ・ 有効サンプル数：6,482ss
- ・ 調査実施期間：令和 6（2024）年 4 月 27 日～令和 6（2024）年 5 月 26 日

【回答者属性】



居在地

北海道	36	滋賀県	5
青森県	10	京都府	24
岩手県	11	大阪府	50
宮城県	11	兵庫県	28
秋田県	7	奈良県	1
山形県	10	和歌山県	1
福島県	15	鳥取県	1
茨城県	81	島根県	0
栃木県	47	岡山県	8
群馬県	34	広島県	10
埼玉県	488	山口県	6
千葉県	520	徳島県	1
東京都	3721	香川県	5
神奈川県	736	愛媛県	8
新潟県	11	高知県	2
富山県	13	福岡県	28
石川県	6	佐賀県	1
福井県	3	長崎県	1
山梨県	14	熊本県	8
長野県	20	大分県	8
岐阜県	10	宮崎県	2
静岡県	52	鹿児島県	3
愛知県	80	沖縄県	6
三重県	15	日本国外	324

サンプル数表記

都内居住エリア

千代田区	31	町田市	55
中央区	154	小金井市	32
港区	179	小平市	38
新宿区	132	日野市	33
文京区	92	東村山市	13
台東区	67	国分寺市	13
墨田区	82	国立市	8
江東区	630	福生市	6
品川区	177	狛江市	8
目黒区	90	東大和市	11
大田区	183	清瀬市	3
世田谷区	243	東久留米市	8
渋谷区	65	武蔵村山市	6
中野区	83	多摩市	16
杉並区	133	稲城市	23
豊島区	97	羽村市	1
北区	64	あきる野市	4
荒川区	49	西東京市	45
板橋区	118	瑞穂町	3
練馬区	163	日の出町	1
足立区	97	植原村	0
葛飾区	76	奥多摩町	0
江戸川区	136	大島町	0
八王子市	37	利島村	1
立川市	28	新島村	0
武蔵野市	31	神津島村	0
三鷹市	36	三宅村	0
青梅市	7	御蔵島村	0
府中市	50	八丈町	1
昭島市	7	青ヶ島村	0
調布市	55	小笠原村	0

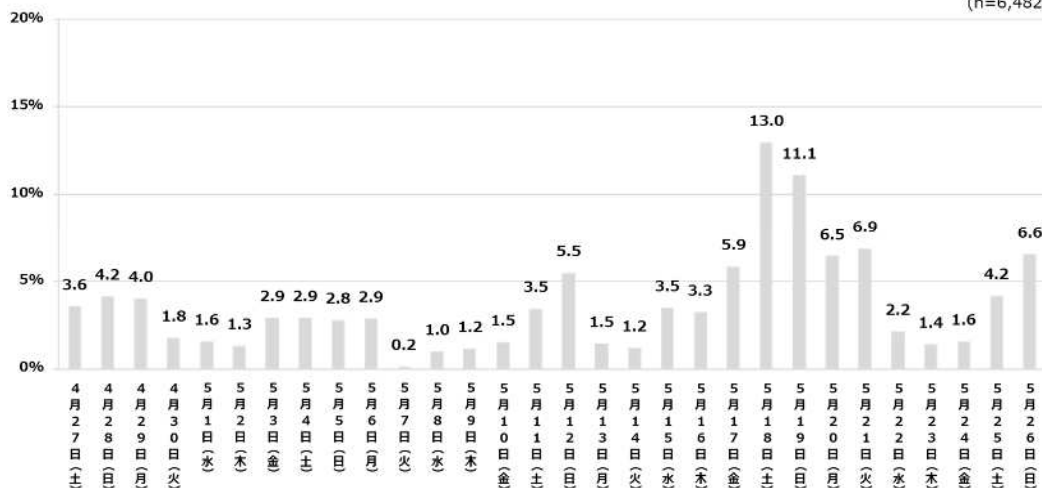
サンプル数表記

【来場日】

来場日としては、「5月18日」（13.0%）、「5月19日」（11.1%）が多かった。ゴールデンウィークや土日の来場が多い傾向にあった。

Q7. あなたが「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に来場した日をお選びください。

(n=6,482)



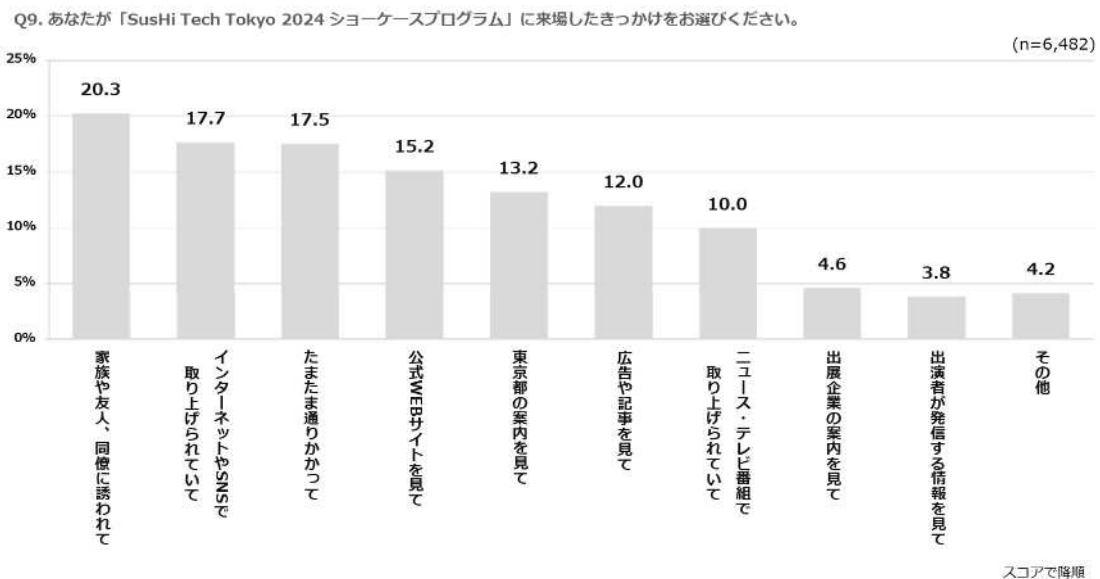
【一緒に来場した方】

「日本科学未来館」「シンボルプロムナード公園」は「妻・夫」「こども（小学生以下）」が高く、ファミリー利用が多い様子がうかがえる。「海の森エリア」「有明アリーナ」に関しては「一人」での来場が最も高い。



【来場したきっかけ】

来場のきっかけは、「家族や友人、同僚に誘われて」（20.3%）、「インターネットやSNS で取り上げられていて」（17.7%）、「たまたま通りかかって」（17.5%）、「公式WEB サイトを見て」（15.2%）が上位に挙がる。

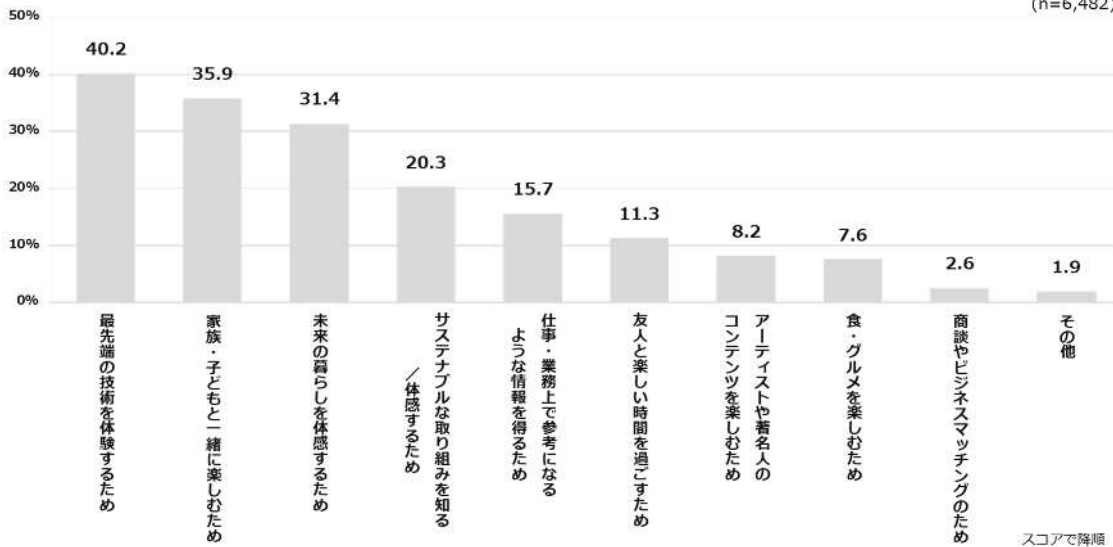


【来場した目的】

来場目的では「最先端の技術を体験するため」（40.2%）が最も高く、以下、「家族・子どもと一緒に楽しむため」（35.9%）、「未来の暮らしを体感するため」（31.4%）と続く。

Q10. あなたが「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に来場した目的としてあてはまるものをお選びください。

(n=6,482)

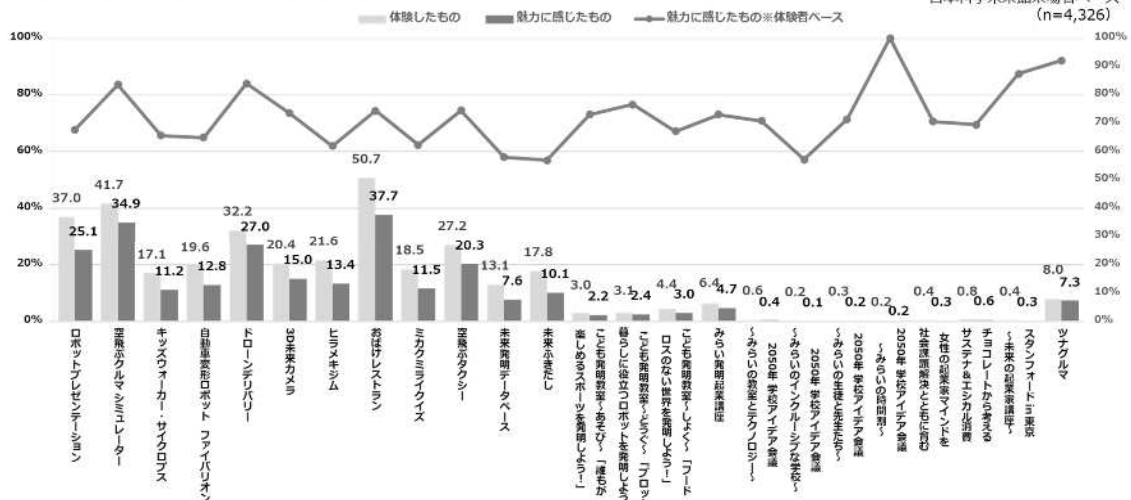


【日本科学未来館 コンテンツ別魅力度】

日本科学未来館におけるコンテンツのほとんどが魅力度 60%を超える。中でも、「空飛ぶクルマ シミュレーター」「ドローンデリバリー」「ツナグルマ」などは魅力度が 80%を超える。

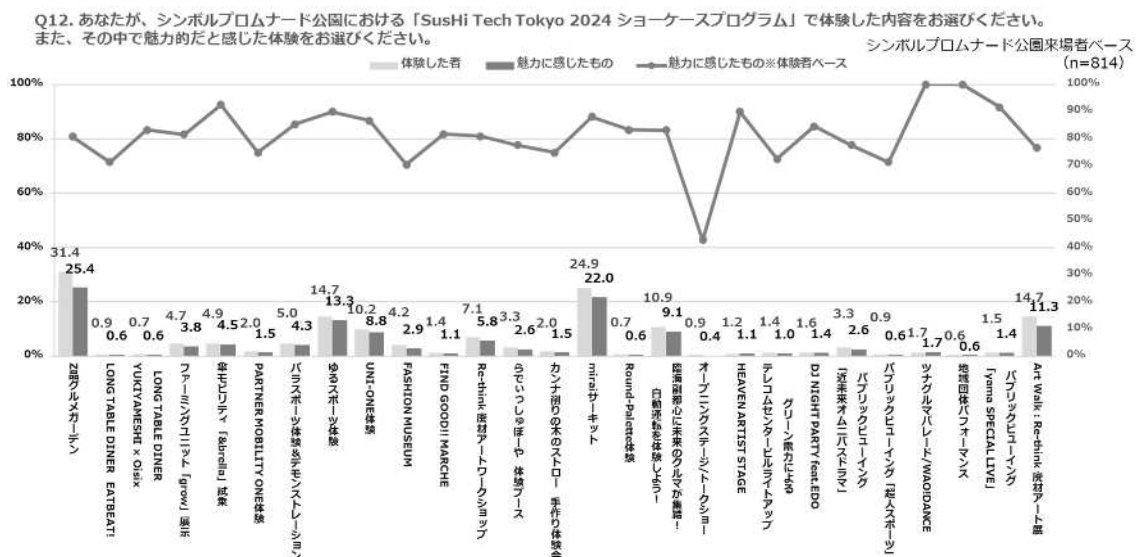
Q11. あなたが、日本科学未来館における「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」で体験した内容をお選びください。また、その中で魅力的だと感じた体験をお選びください。

日本科学未来館来場者ベース (n=4,326)



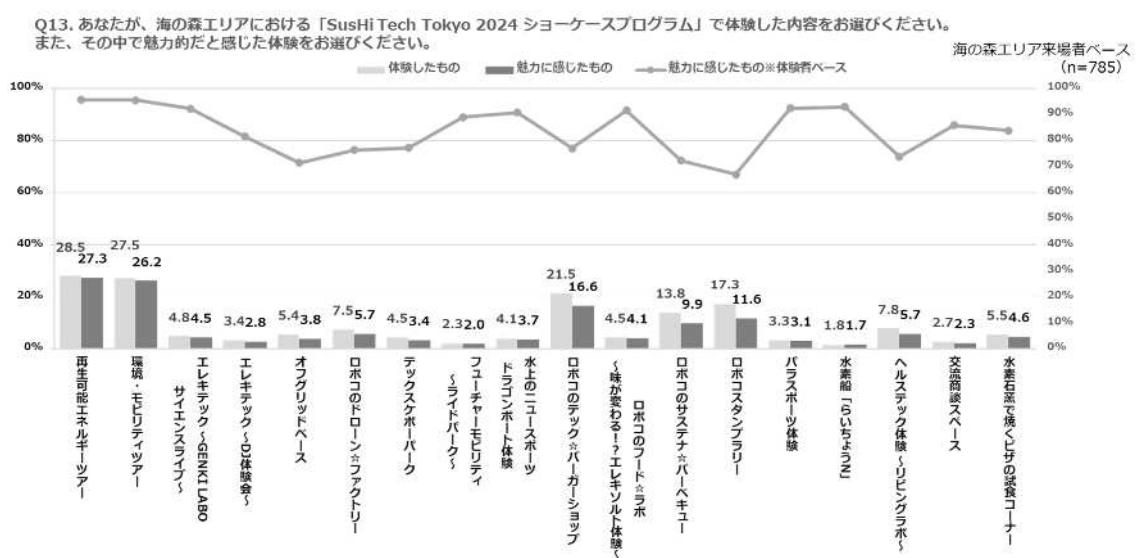
【シンボルプロムナード公園 コンテンツ別魅力度】

シンボルプロムナード公園におけるコンテンツのほとんどが魅力度70%を超える。中でも、「傘モビリティ」「ゆるスポーツ体験」「mirai サーキット」などは魅力度が90%程度と高い。



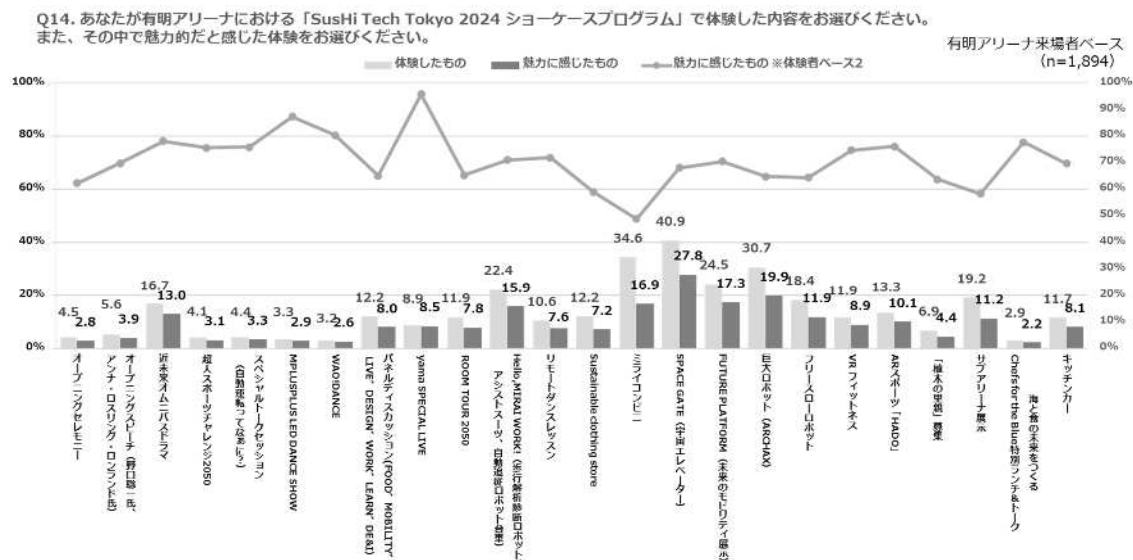
【海の森エリア コンテンツ別魅力度】

海の森エリアにおけるコンテンツのすべてが魅力度60%を超える。中でも、「再生可能エネルギーツアー」「環境・モビリティツアー」「エレキテック～GENKI LABO」などは魅力度が90%を超える。



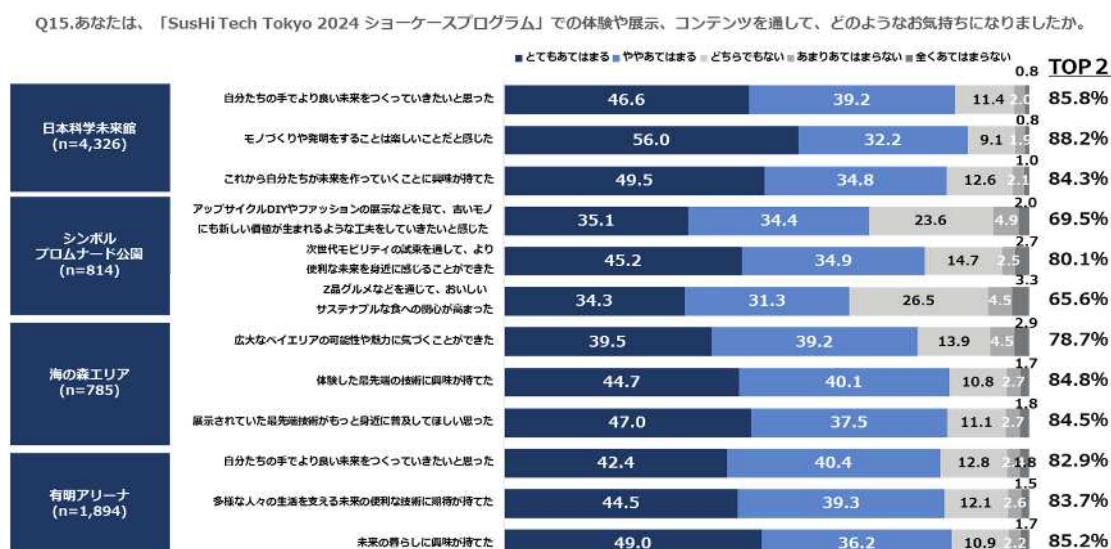
【有明アリーナ コンテンツ別魅力度】

有明アリーナにおけるコンテンツのほとんどが魅力度 60%を超える。中でも、「yama SPECIAL LIVE」「MPLUSPLUS LED DANCE SHOW」「WAO!DANCE」は魅力度が 80%を超える。



【エリア別態度変容検証】

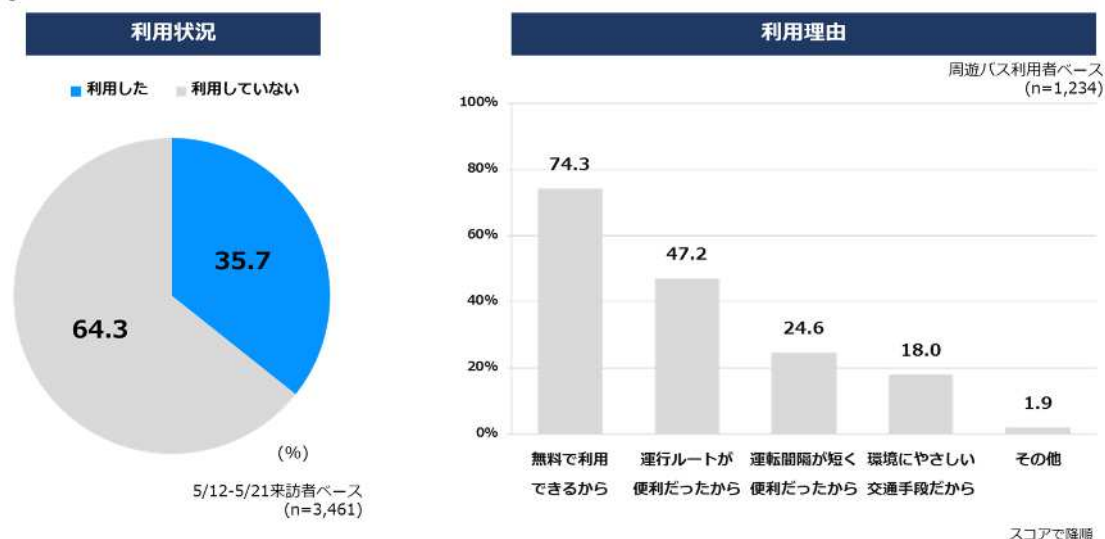
ほとんどの項目で 80%以上が「あてはまる」と回答。中でも、日本科学未来館にある「モノづくりや発明は楽しい」では約 90%が「あてはまる」と回答した。



【無料周遊バス利用状況・利用理由】

無料周遊バスは、35.7%が利用していた。利用理由では、「無料だから」が74.3%で最も多い。以下、「運行ルートが便利」（47.2%）、「運転間隔が短く便利」（24.6%）、「環境にやさしい交通手段だから」（18.0%）と続く。

Q16. あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」への来場時に無料周遊バスを利用しましたか。
Q17. あなたは無料周遊バスを利用した理由として、あてはまるものをすべてお選びください。



【東京に対するイメージ】

東京に対するイメージとして、「AI やロボット等の最先端技術が実装された先進的な都市である」が80.4%で最も高い。その他の項目は70%台後半。

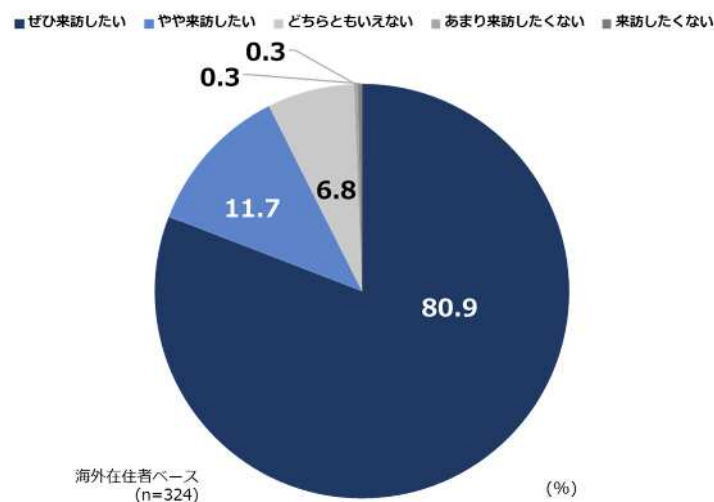
Q18. あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加し、東京についてどのようなイメージをお持ちになりましたか。



【東京来訪意向（海外在住者）】

東京への来訪意向として、80.9%が「ぜひ来訪したい」と回答。「やや来訪したい」と合わせると 90%以上が来訪意向を持つ。

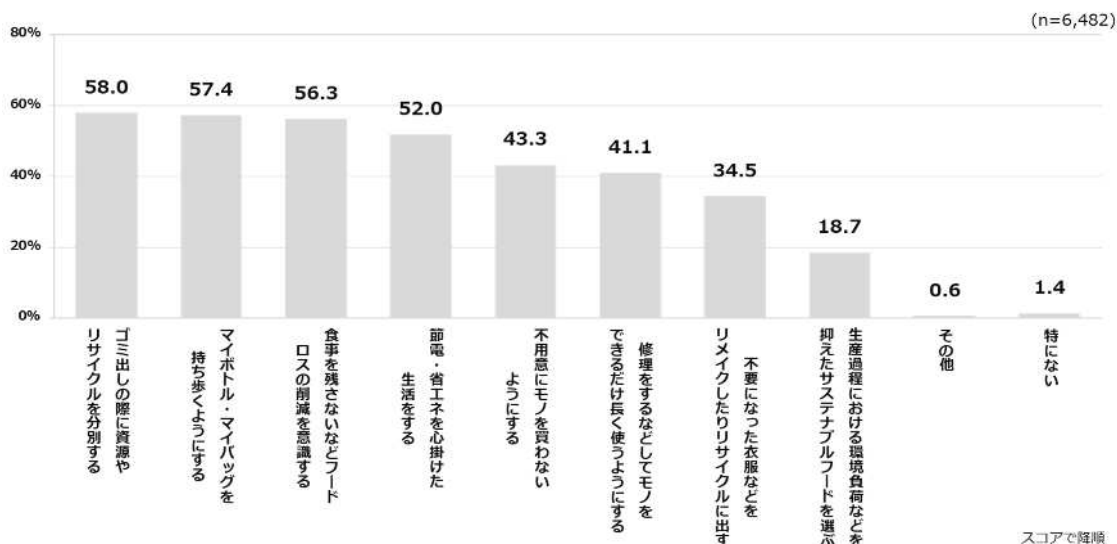
Q19. あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加して、東京に来訪したいと思いましたか。



【実践しているサステナブルへの取り組み】

サステナブルな社会の実現に向けて、「マイボトル・マイバッグ」「フードロスの削減」「節電・省エネ」の実践率が 50%以上であり、比較的实践率が高い。

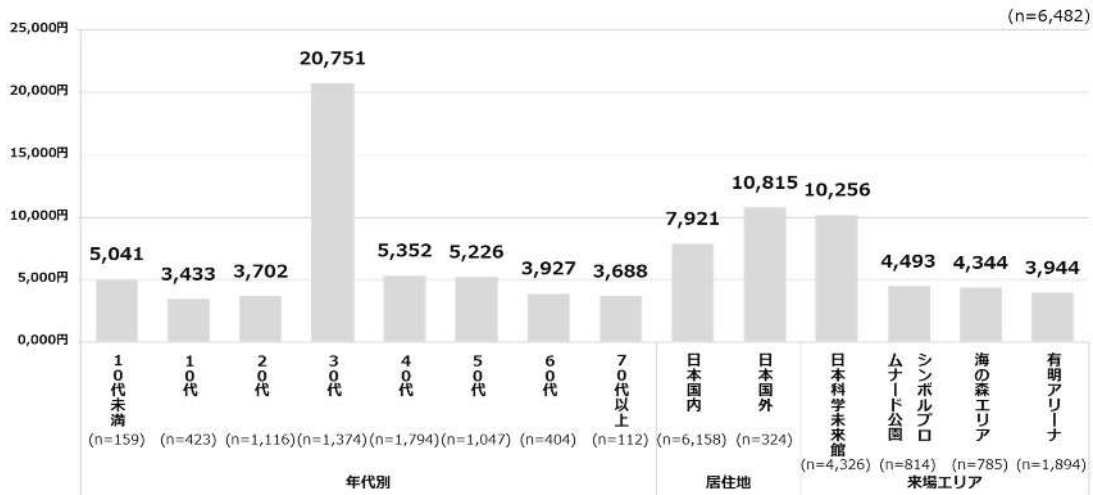
Q20. あなたが実践している「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けた取り組みとして、あてはまるものをお選びください。



【参加当日の消費予算金額】

参加当日の消費予算金額は、全体で 8066 円。年代別では 30 代が 20,751 円で最も高い。来場エリア別では、日本科学未来館が 10,256 円と他エリアと比べて 2 倍以上高い。

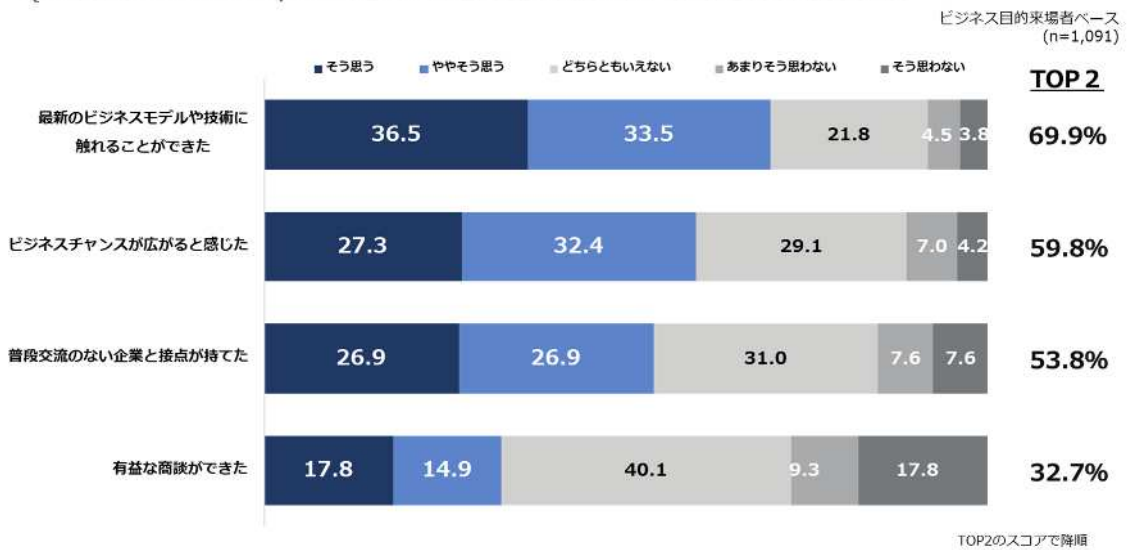
Q21. あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に来場した当日にいくらお金を使いますか。
(平均金額)



【参加しての感想（ビジネス目的来場者）】

参加しての感想は、「最新のビジネスモデルや技術に触れることができた」が 69.9%で最も高い。以下、「ビジネスチャンスが広がると感じた」(59.8%)「普段交流のない企業と接点を持てた」(53.8%)「有益な商談ができた」(32.7%)と続く。

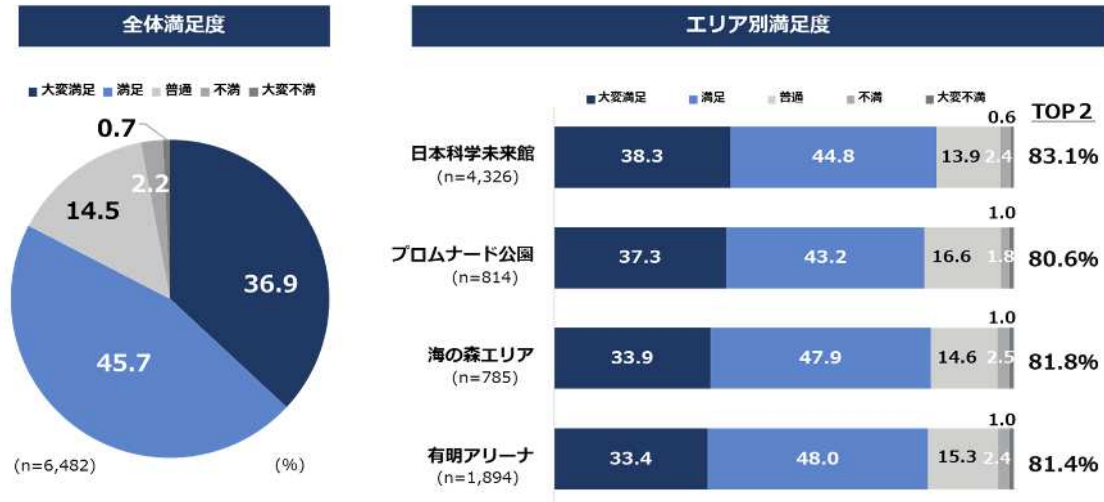
Q23. あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみて、それぞれどのように感じましたか。



【イベントの満足度】

イベント満足度は全体で 82.6%。エリア別でみると、4 会場全てで満足度が 80%を超える。

Q24. あなたは「Sushi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」にどの程度満足しましたか。



【イベントに参加した感想】

イベントに参加した感想は、「未来への期待感や希望」「最先端技術を知ることができた」との意見がみられた。また、こどもも楽しめたとの意見もあり、幅広い方がイベントに満足した様子。

Q25. あなたが「Sushi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみた感想を教えてください。

未来が楽しみ

- 「未来」という、自分たちが予測できない世界に向けて現代において技術を確立し、発展させようと努力している企業やそのプロジェクトなどを知り、未来への希望が湧きました。私も個人で未来に繋がられる何かしらの努力をしていきたいと感じました！（男性20代）
- テレビのニュースなどで見ていた自動運転の車や空飛ぶクルマを実際に間近で見て体験することができて、未来はまだ新しい技術で進化していくんだなと思いました。（女性40代）
- これまでになかったようなAIによる簡単な歩行分析やアシストスーツを見学して、これから先の未来に関心が持てた。（男性10代）

新しい発想・技術を知れた

- 再生エネルギーの取り組みなど、新しい知識が得られた。日本は自然に恵まれた国であるが破壊する事なく、あるものを利用して持続可能な未来を作りたい。（女性50代）
- 沢山のひらめきがあり、体験をすることにより更に色々な想像力がわいたよう感じました。（女性10代）
- 最先端技術の技術と、オンラインセミナーで拝見しながら、やっと本物に出会えた技術があり、大変良かったです。（男性40代）

子どもも楽しめた

- 4才の子供も十分に触れて楽しめるものはがりで楽しかったです。幕が開いた時は大人もワクワクしました。（女性30代）
- 今まで知り得なかった技術を知るとともに未来が分かりやすく想像できる有意義なイベントだったとおもう。子供も楽しむことができた（男性40代）
- 子どもむけのものが、子どもが楽しいと同時になんでだろうと思って終われる説明の量で、適切だと思った（女性20代）

その他

- 特定の分野にとどまらなかったところがよかった（男性20代）
- 海の森エリアには普段訪れる機会が無いので、今回アクセス良く来場でき、素敵な場所と知ることができて良かったです。浮体式ヘリポートの将来性に大きな期待を感じております。（女性40代）
- モビリティに関心があり、試乗もできたので大満足です！周辺でもさまざまなイベントがあり興味あれば当日参加もできたようなので、視野が広がるキッカケにもなる魅力的なエリアだと感じました。たまたま得たものでなく自ら情報を探しに行つて、また刺激を得たいと思います。ありがとうございました！（女性50代）

2. オンラインパネル調査

SusHi Tech Tokyo 実施前後における都民の「サステナブル社会に関する意識」「東京都に対する意識」「東京の未来への期待に対する意識」を比較し、参加者の意識変化を把握するため、オンラインパネル調査を実施した。

【調査概要】

- ・ 調査手法：オンラインパネル調査
- ・ 対象者：東京在住者
- ・ 有効サンプル数：開催前…2400ss 開催後…2,793ss
- ・ 割付：東京在住者（15～69 歳）

開催前

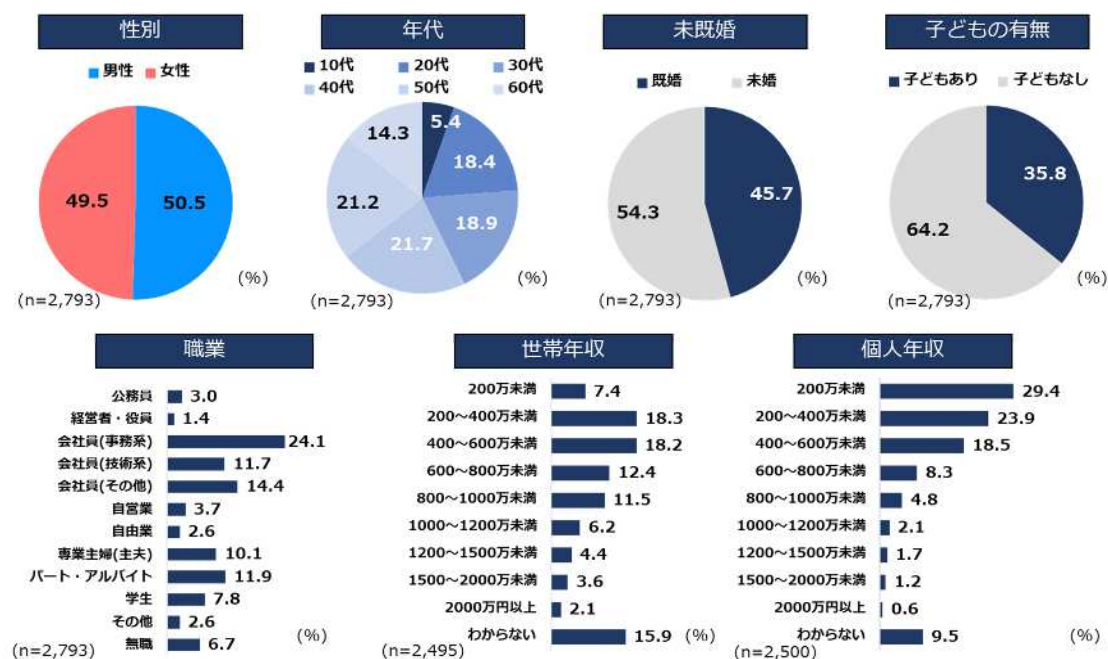
共通	10代	20代	30代	40代	50代	60代
男性	200s	200s	200s	200s	200s	200s
女性	200s	200s	200s	200s	200s	200s

開催後

共通	10代	20代	30代	40代	50代	60代	イベント参加者
男性	193s	200s	200s	200s	200s	200s	400s
女性	200s	200s	200s	200s	200s	200s	

- ・ 調査実施期間：開催前…令和 6（2024）年 3 月 29 日～令和 6（2024）年 4 月 3 日
開催後…令和 6（2024）年 5 月 28 日～令和 6（2024）年 6 月 3 日

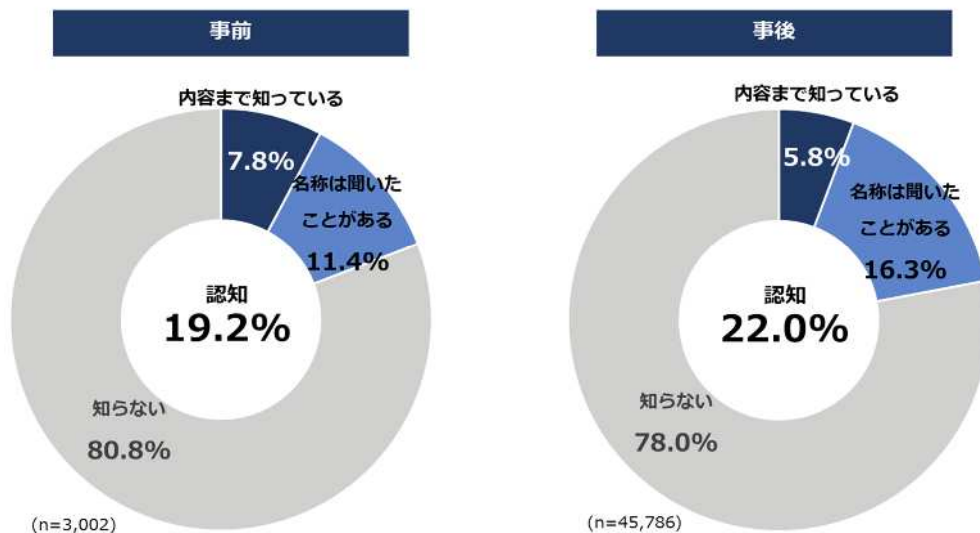
【回答者属性】



【SusHi Tech Tokyo 認知】

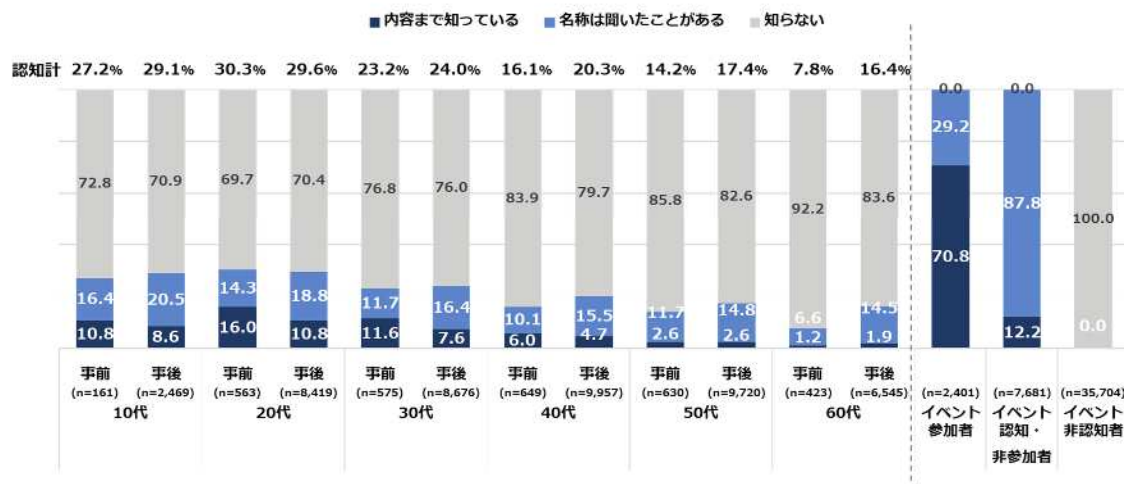
SusHi Tech Tokyo の認知は事前から 2.8pt 増の 22.0%となった。「名称は聞いたことがある」との回答が約 5pt 増。

SC2. あなたは、東京都が推進している最先端のテクノロジー、多彩なアイデアやデジタルノウハウによって、世界共通の都市課題を克服する「持続可能な新しい価値」を生み出す「Sustainable High City Tech Tokyo = SusHi Tech Tokyo（スシテック東京）」をご存じですか。



10~20代では認知が約30%となり、他の年代と比べて高くなった。年代が若くなるほど認知が高くなる傾向があった。事前・事後を比較すると60代への認知が進んだ。

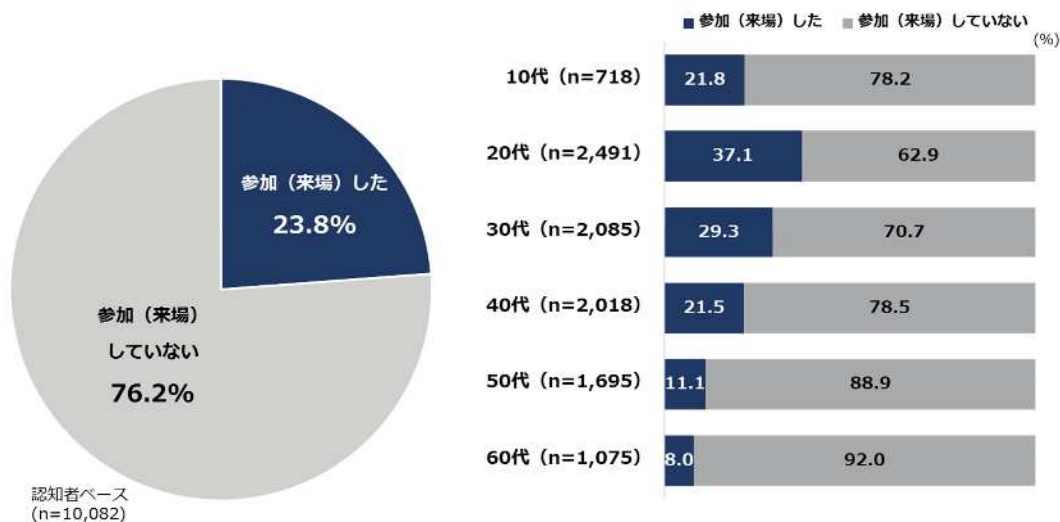
SC2. あなたは、東京都が推進している最先端のテクノロジー、多彩なアイデアやデジタルノウハウによって、世界共通の都市課題を克服する「持続可能な新しい価値」を生み出す「Sustainable High City Tech Tokyo = SusHi Tech Tokyo（スシテック東京）」をご存じですか。



【SusHi Tech Tokyo 参加有無】

SusHi Tech Tokyo の参加は認知者全体で 23.8% となった。※全数ベースでは 5.2%。20代の参加者が 37.1% と他の年代と比べて高くなった。

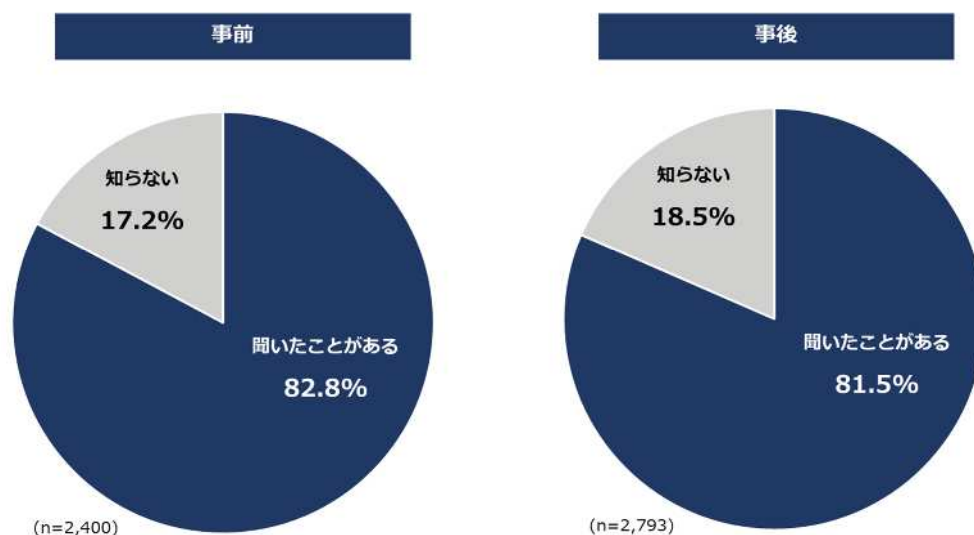
SC3. あなたは、「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加（来場）しましたか。



【サステナブルへの意識】

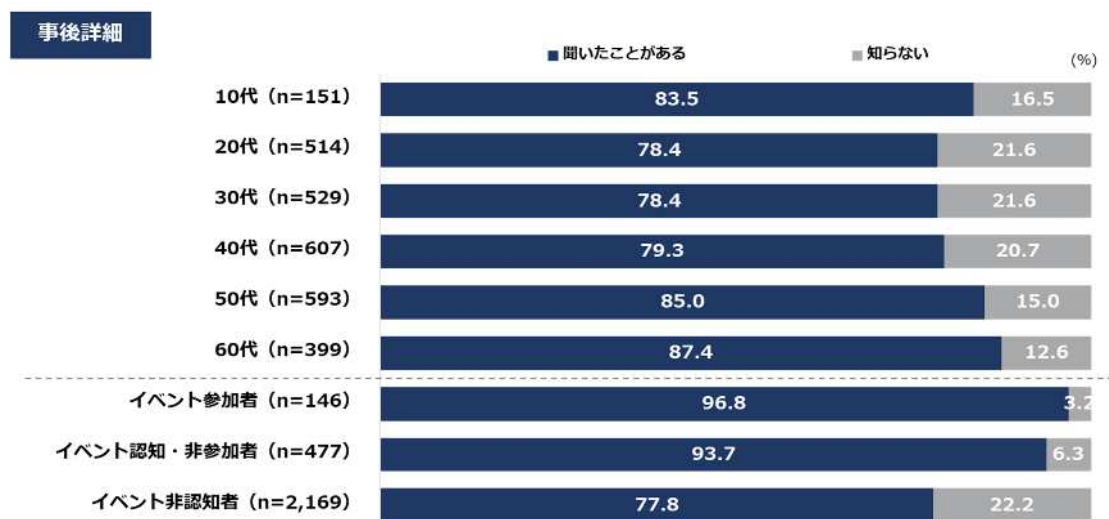
「サステナブルな社会」の認知は 81.5%となっており、事前とほぼ変わらず。

Q1. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」という言葉をご存知ですか。



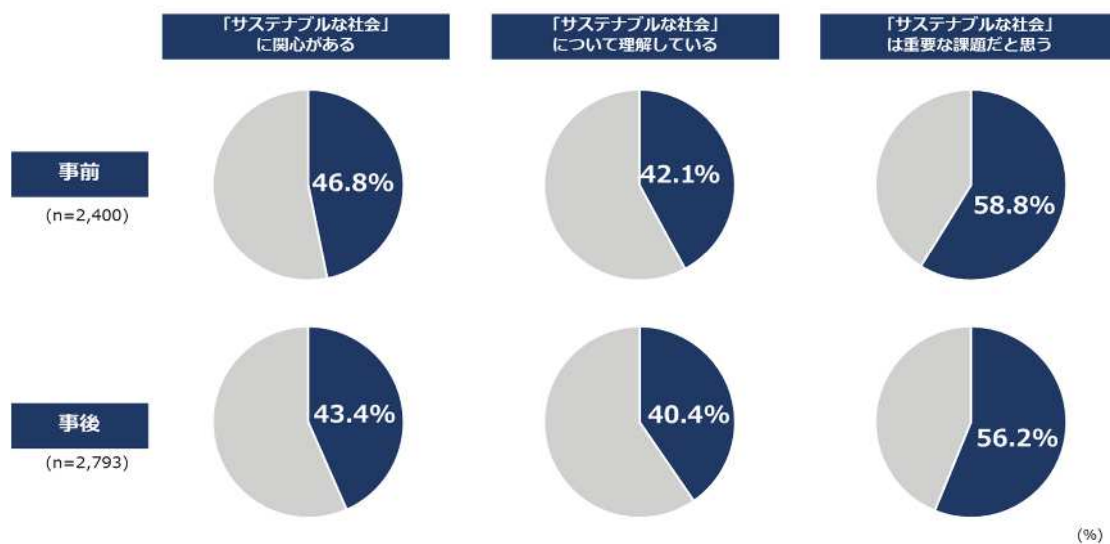
「サステナブルな社会」の認知は、『イベント非認知者』77.8%、『イベント参加者』96.8%と、イベント参加により認知が上がった。

Q1. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」という言葉をご存知ですか。



「サステナブルな社会」への関心は全体で 43.4%、理解は 40.4%、課題意識は 56.2% となった。いずれも事前とほぼ変わらなかった。

Q2. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」に対してどのような考えをお持ちですか。（とてもあてはまる＋ややあてはまる）



「サステナブルな社会」への関心は、いずれも 10 代で高い結果がみられた。『イベント非参加者』と比べて、『イベント参加者』では極めて高くなった。

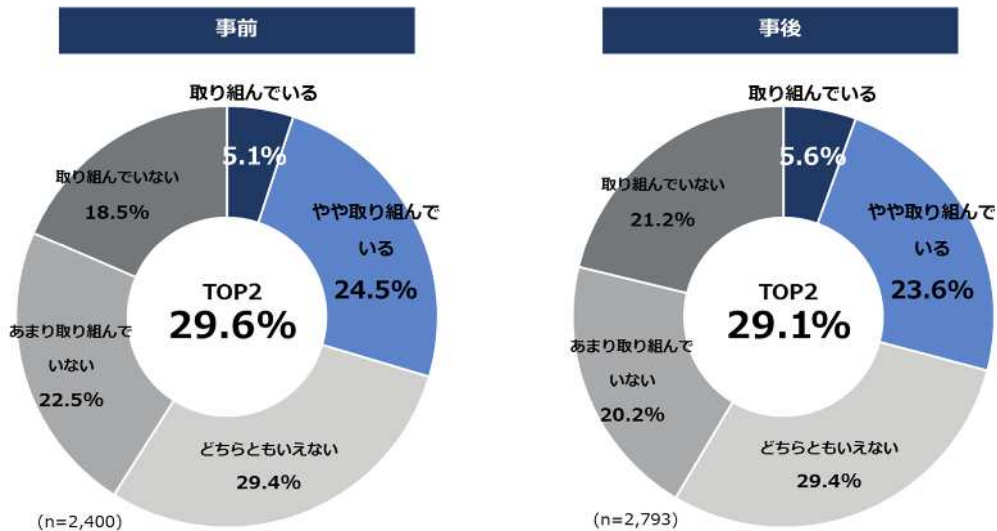
Q2. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」に対してどのような考えをお持ちですか。（とてもあてはまる＋ややあてはまる）



【サステナブルへの取り組み実践度】

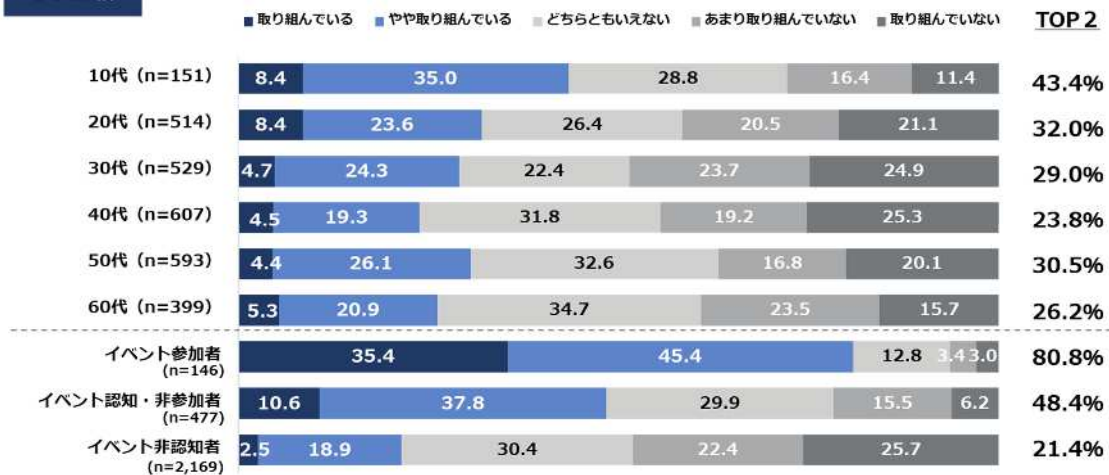
サステナブルな社会の実現に向けて、全体の 29.1%が取り組みを実践している。事前とはほぼ変わらない結果となった。

Q3. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けて、現在ご自身がどの程度取り組んでいると思いますか。



サステナブルな社会の実現に向けて、『イベント非認知者』21.4%と比べて、『イベント参加者』では 80.8%と極めて高い割合が取り組みを実践していた。

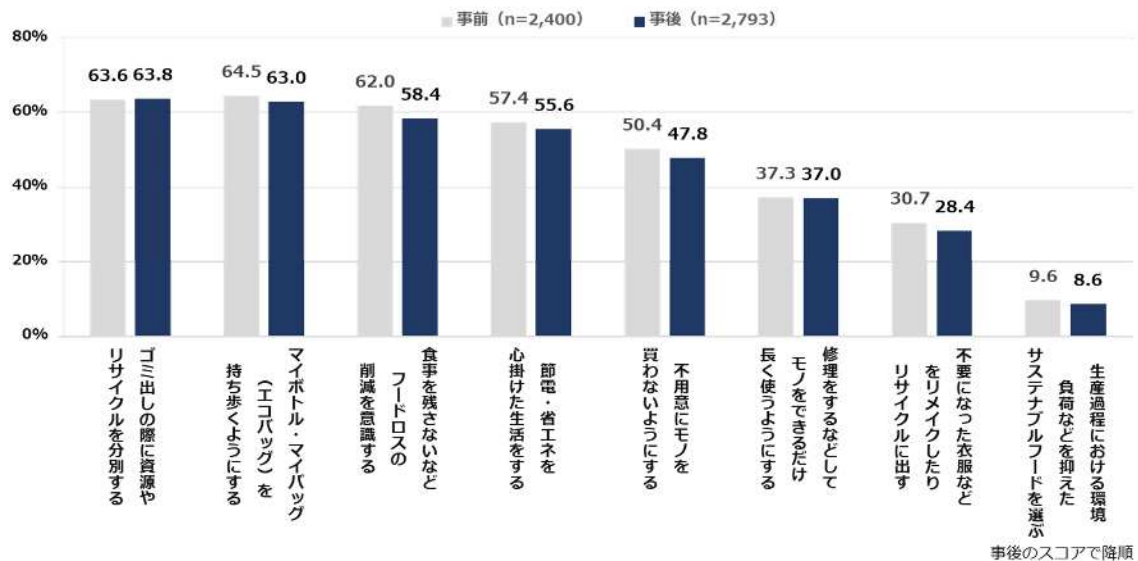
事後詳細



【実践しているサステナブルへの取り組み】

サステナブルな社会の実現に向けて、「マイボトル・マイバッグ」「ゴミの分別」「フードロスの削減」の実践率が全体で6割程度であり、比較的实践率が高い。事前・事後で実践率にほとんど差はない。

Q4. あなたが実践している「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けた取り組みとして、あてはまるものをお選びください。



年代別でみると、50～60代でサステナブルな社会に向けた取り組みの実践率が他の年代よりも高い。『イベント参加者』は、全体での下位項目の実践率が高く、取り組みが多岐にわたる。

Q4. あなたが実践している「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けた取り組みとして、あてはまるものをお選びください。

事後詳細		（％）							
	n	ゴミ出しの際に資源やリサイクルを分別する	マイボトル・マイバッグ（エコバッグ）を持ち歩くようにする	食事を残さないなどフードロスの削減を意識する	節電・省エネを心掛けた生活をする	不用意にモノを買わないようにする	修理をするなどしてモノをできるだけ長く使うようにする	不要になった衣服などをリメイクしたりリサイクルに出す	生産過程における環境負荷などを抑えたサステナブルフードを選ぶ
全体	2,793	63.8	63.0	58.4	55.6	47.8	37.0	28.4	8.6
10代	151	49.1	56.8	56.5	43.2	40.0	31.9	24.8	11.0
20代	514	44.4	52.4	48.4	40.4	34.2	23.4	21.7	10.4
30代	529	55.0	57.6	49.8	46.8	40.8	27.9	26.0	6.8
40代	607	67.5	62.5	56.0	55.7	51.6	38.2	31.6	7.4
50代	593	77.5	72.9	68.7	67.7	58.1	45.0	32.6	9.1
60代	399	80.2	72.3	72.0	73.5	56.5	55.0	30.7	9.2
イベント参加者	146	49.6	53.4	57.1	46.0	46.4	45.4	43.5	32.4
イベント認知・非参加者	477	68.6	69.2	66.0	64.9	55.3	43.5	35.2	14.1
イベント非認知者	2,169	63.7	62.3	56.9	54.2	46.3	35.0	25.9	5.8

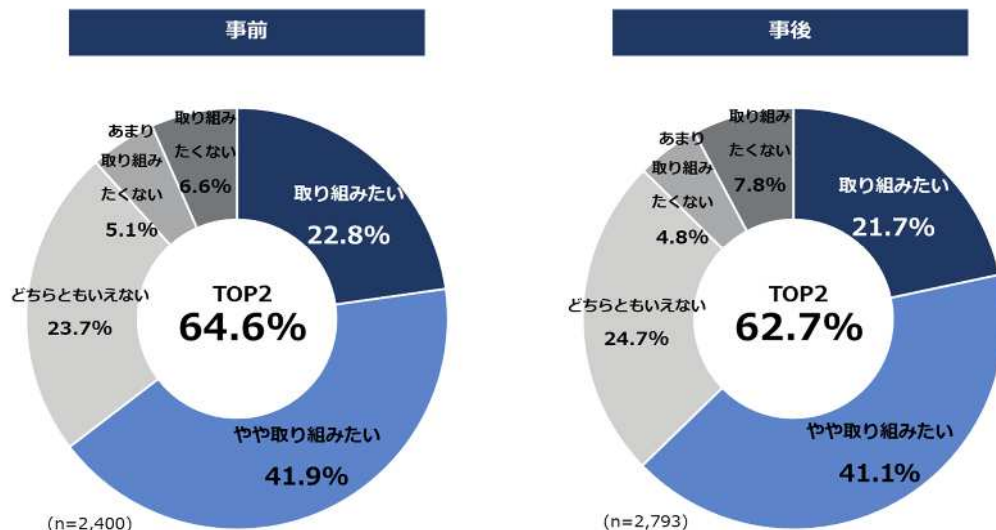
※ ・・・全体比+10pt以上、・・・+5pt以上、・・・-5pt以下、・・・-10pt以下

全体のスコアで降順

【サステナブルへの取り組みへの実践意向】

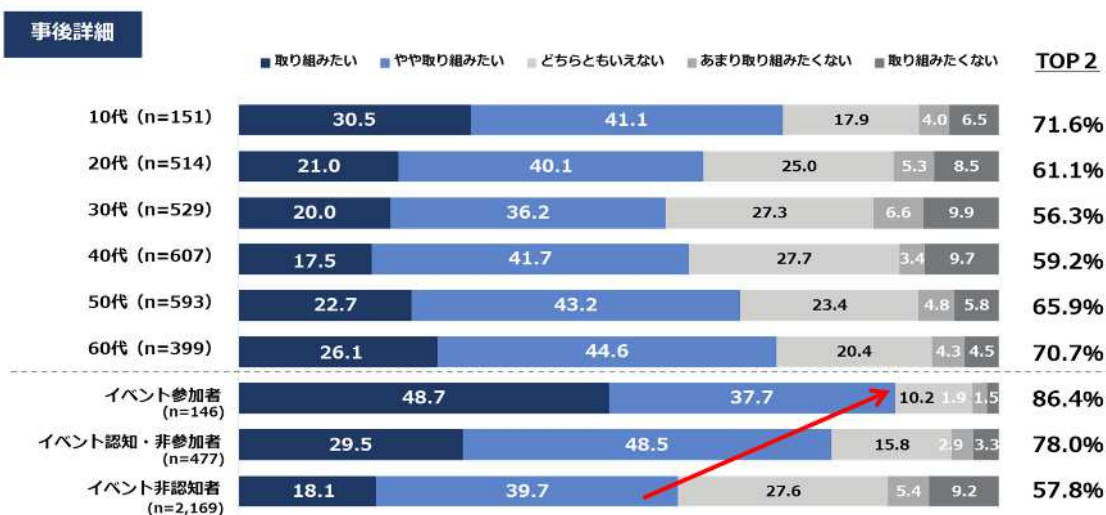
サステナブルな社会の実現に向けた取り組みへの実践意向は全体で 62.7%。事前・事後でほとんど差はなかった。

Q5. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けて今後どの程度取り組んでいきたいと思いますか。



サステナブルな社会の実現に向けた取り組みへの実践意向は『イベント非認知者』57.8%と比べて、『イベント参加者』で 86.4%と高い結果になった。

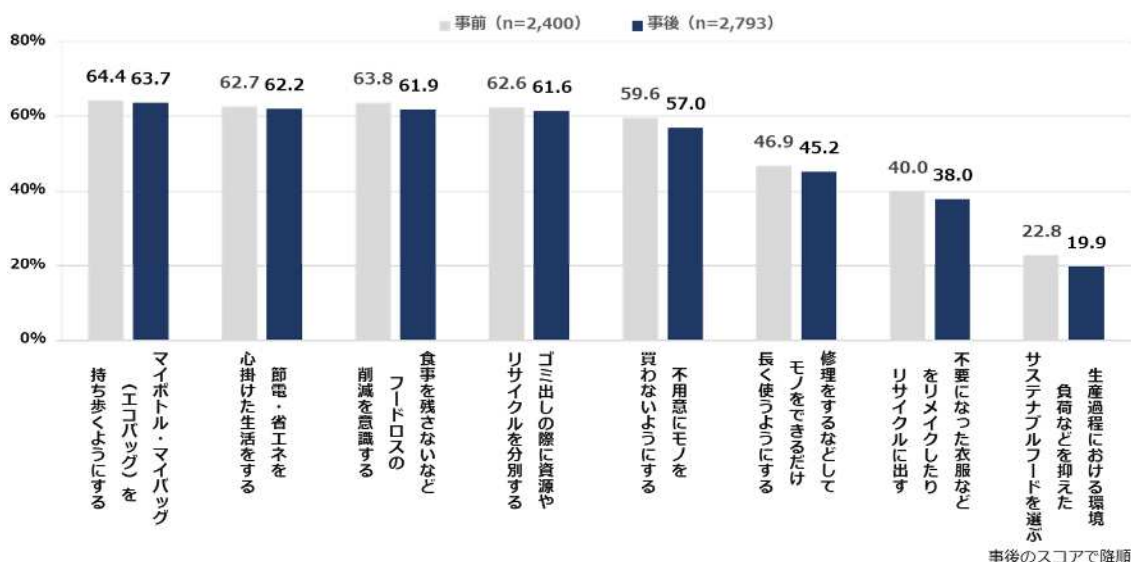
Q5. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けて今後どの程度取り組んでいきたいと思いますか。



【実践したいと思うサステナブルへの取り組み】

サステナブルな社会に向けて、全体の 60%以上が「マイボトル・マイバッグ」「フードロスの削減」「節電・省エネ」「ゴミの分別」に実践意向を示している。事前・事後で実践意向にほとんど差はない。

Q6. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けて、どのようなことに今後取り組んでいきたいと思いますか。



年代別でみると、50-60代で今後の取り組みへの実践意向が高いものが多い一方で、若年層での実践意向が低いものが多くみられる。『イベント参加者』は、全体での下位項目の実践意向が高く、実践意向が多岐にわたる。

Q6. あなたは「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に向けて、どのようなことに今後取り組んでいきたいと思いますか。

事後詳細		マイボトル・マイバッグ(エコバッグ)を持ち歩くようにする	節電・省エネを心掛けた生活をする	食事を残さないなどフードロスの削減を意識する	ゴミ出しの際に資源やリサイクルを分別する	不用意にモノを買わないようにする	修理をするなどしてモノをできるだけ長く使うようにする	不要になった衣服などをリメイクしたりリサイクルに出す	生産過程における環境負荷などを抑えたサステナブルフードを選ぶ
	n								(%)
全体	2,793	63.7	62.2	61.9	61.6	57.0	45.2	38.0	19.9
10代	151	55.1	51.1	54.9	51.5	49.4	41.6	39.3	25.9
20代	514	56.2	50.4	52.5	44.4	44.9	31.7	29.9	17.9
30代	529	59.5	54.7	54.4	53.6	53.7	37.9	35.2	19.1
40代	607	61.6	61.5	61.5	61.9	58.5	47.2	39.1	20.3
50代	593	72.4	71.4	70.5	74.2	62.3	52.8	40.8	20.6
60代	399	72.3	78.6	74.6	79.1	69.7	59.0	45.7	19.8
イベント参加者	146	55.6	49.8	49.8	47.8	45.5	48.4	50.0	45.1
イベント認知・非参加者	477	68.7	70.5	67.5	63.9	62.0	52.7	44.6	26.1
イベント非認知者	2,169	63.1	61.2	61.5	62.0	56.7	43.3	35.7	16.8

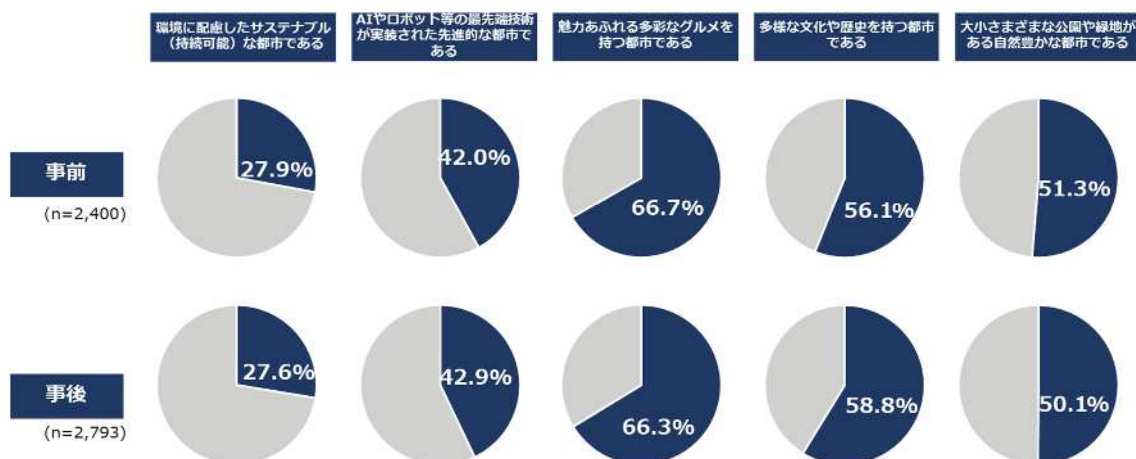
※ ■・・・全体比+10pt以上、●・・・+5pt以上、□・・・-5pt以下、■・・・-10pt以下

全体のスコアで降順

【東京に対するイメージ】

東京のイメージとして、全体で「多彩なグルメを持つ」が66.3%と最も高い。続いて「多様な文化や歴史を持つ」「自然豊かな都市」が50%台であげられる。事前・事後でほとんど差はない。

Q7. あなたの東京に対するイメージとして、それぞれあてはまるものをお選びください。(とてもあてはまる+ややあてはまる)



『イベント参加者』及び『イベント認知・非参加者』では、すべてのイメージが高く、イベントの認知や参加が東京に対するイメージアップに繋がっている。

Q7. あなたの東京に対するイメージとして、それぞれあてはまるものをお選びください。(とてもあてはまる+ややあてはまる)

(%)

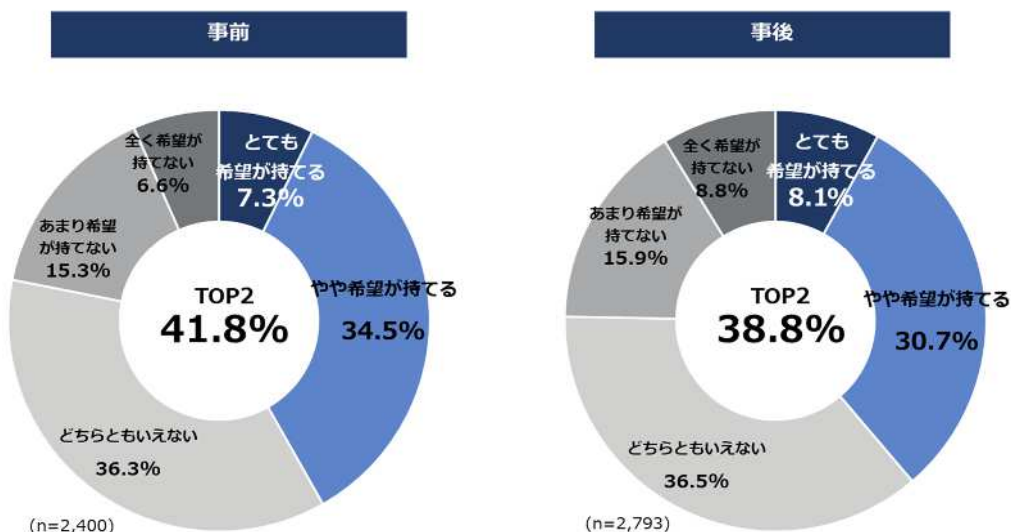
事後詳細	n	環境に配慮したサステナブル(持続可能)な都市である	AIやロボット等の最先端技術が実装された先進的な都市である	魅力あふれる多彩なグルメを持つ都市である	多様な文化や歴史を持つ都市である	大小さまざまな公園や緑地がある自然豊かな都市である
全体	2,793	27.6	42.9	66.3	58.8	50.1
10代	151	32.5	65.5	67.0	61.4	56.6
20代	514	32.2	53.0	60.4	55.3	48.7
30代	529	25.7	41.1	58.9	54.2	46.1
40代	607	27.7	38.7	67.2	56.0	47.0
50代	593	25.7	37.3	71.1	61.7	51.4
60代	399	25.4	38.5	74.7	68.1	57.9
イベント参加者	146	66.6	69.9	75.0	72.9	80.1
イベント認知・非参加者	477	41.6	53.1	77.0	72.8	62.3
イベント非認知者	2,169	21.9	38.8	63.3	54.7	45.4

※・・・全体比+10pt以上、・・・+5pt以上、・・・-5pt以下、・・・-10pt以下

【2050 年の東京への期待度】

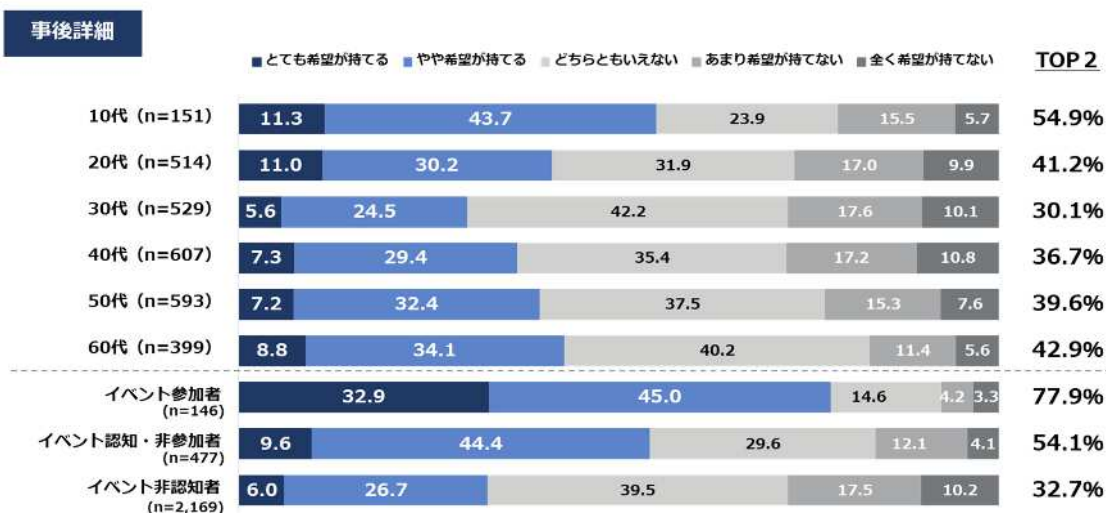
2050 年の東京に全体の 38.8%が希望を持っている。内訳を含め、事前・事後でほとんど差はない。

Q8. あなたは東京の未来に対して、どの程度「希望が持てる」と思いますか。



年代別では 10 代が 54.9%と最も高く、半数以上が東京の未来に期待している。『イベント非認知者』32.7%に対して、『イベント参加者』では 77.9%が東京の未来に期待している。

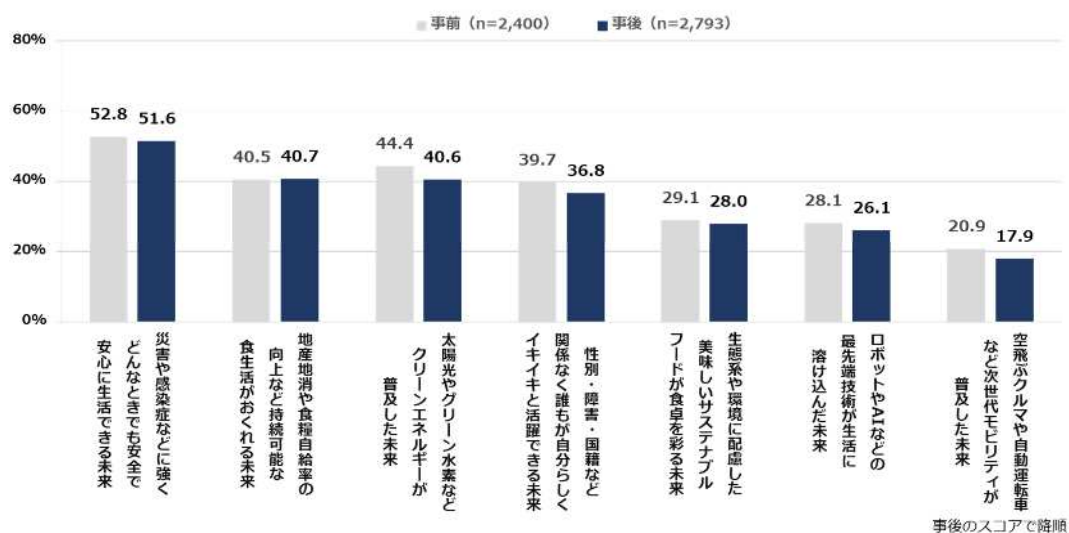
Q8. あなたは東京の未来に対して、どの程度「希望が持てる」と思いますか。



【サステナブル都市化に向けた東京の課題】

東京がサステナブルな都市になるために、「安全で安心して生活できる未来」の実現を希望する割合が最も高く、「持続可能な食生活」「クリーンエネルギーの普及」が続いてあがる。

Q9. あなたは、東京が誰もがイキイキと暮らせる「サステナブル（持続可能）な都市」になるために、どのような未来が実現したら良いと思いますか。



『イベント参加者』及び『イベント認知・非参加者』では多くの項目で結果が高く、実現を希望することが多岐にわたる。

Q9. あなたは、東京が誰もがイキイキと暮らせる「サステナブル（持続可能）な都市」になるために、どのような未来が実現したら良いと思いますか。

事後詳細		(%)						
	n	災害や感染症 などに強く どんなときでも 安全で安心して 生活できる未来	地産地消や 食糧自給率の 向上など 持続可能な 食生活が おくれる未来	太陽光や グリーン水素 などクリーン エネルギーが 普及した未来	性別・障害・ 国籍など関係 なく誰もが 自分らしく イキイキと 活躍できる未来	生態系や環境に 配慮した 美味しい サステナブル フードが食卓を 彩る未来	ロボットや AIなどの 最先端技術が 生活に溶け込ん だ未来	空飛ぶクルマや 自動運転車 など次世代 モビリティが 普及した未来
全体	2,793	51.6	40.7	40.6	36.8	28.0	26.1	17.9
10代	151	48.1	40.9	46.4	46.3	31.6	34.3	25.3
20代	514	43.4	30.9	32.6	32.5	26.4	28.6	23.3
30代	529	46.3	40.3	37.2	36.5	27.1	26.3	19.9
40代	607	52.3	38.9	38.2	34.3	25.2	26.4	16.9
50代	593	55.2	47.1	46.5	35.6	29.6	25.1	15.1
60代	399	64.0	46.8	48.3	44.7	32.0	21.0	11.3
イベント参加者	146	52.1	48.4	48.9	43.4	43.6	45.0	35.7
イベント認知・非参加者	477	56.6	51.7	53.2	45.3	40.1	40.4	26.8
イベント非認知者	2,169	50.4	37.8	37.3	34.5	24.3	21.7	14.8

※・・・全体比+10pt以上、・・・+5pt以上、・・・-5pt以下、・・・-10pt以下

全体のスコアで降順

【課題解決に向けて何をすべきだと思うか】

東京がサステナブルな都市になるために「一人一人が普段から意識する」「サステナブルについて理解する」「フードロス削減の意識を高める」ことなどが大切であるといった声があげられる。

Q10. 東京が世界一の「サステナブルな都市」になるために、一人ひとりがどのようなことに取り組むことが大切だと思いますか。

一人一人が意識して普段から行動する

- 日々の生活の中でできる簡単な取り組みを、一人ひとりが取り組むことが大切だと思う。(男性20代)
- 小さなことでも一人一人が取り組めば大きな力になることを信じて、今自分にできることから始める。(女性20代)
- 自分の事として捉え、小さなことからでもいいから行動を起こすこと。(男性50代)

サステナブルについて理解する

- サステナブルな都市についてまずは理解し、取り組みを行わないと考えられる将来について周知する(女性40代)
- なぜ「サステナブルな都市」を実現しなければならないのが理解し、それを実現させることの重要性について知る。(男性10代)
- 一人一人がサステナブルを知り、利点に気づいてもらうところから始めるべきだと思う(女性10代)

エコな生活を心がける

- エコを意識してゴミリサイクル、節電、自然を守る行動など細かな事から始めていく(女性20代)
- エコバッグを持つ、マイボトルを持つ等、小さなことから初めて意識していく(女性30代)

リサイクルを生活の中に組み込む

- 様々な分野で無駄を無くして、使い捨てではなくリサイクルを中心に考えていくこと(男性20代)
- 無駄な物を減らす。ゴミにならないような物、リサイクル、リユース出来る物をかたたりするように心掛ける(女性40代)
- 大きなことではなく身の回りの小さなことからリサイクルなどに関心を持ち一人一人が取り組むこと(女性30代)

ゴミの削減や分別をする

- ごみの分別をして減らし、モノを購入するときも環境に配慮した製品を買うようにする。(男性20代)
- ポイ捨てなどをしないで、一人一人が環境に良い行動を心がける。(男性30代)
- ゴミの選別。ゴミを街に捨てない。不要なものは都で回収して必要な方に支給する。(男性60代)

フードロス削減の意識を高める

- 食品に関しては、感謝の気持ちを持ちつつフードロスが少ない社会を目指すことが大切だと思う。(男性40代)
- やはりフードロスが喫緊の課題であるがゆえ、食べられる分だけを買うという姿勢を徹底すべきだと考える(男性10代)

3. 事業者向けアンケート調査

事業者のイベントに対する満足度や次回参画意向などを測定するため、オンラインアンケート調査を実施した。

【調査概要】

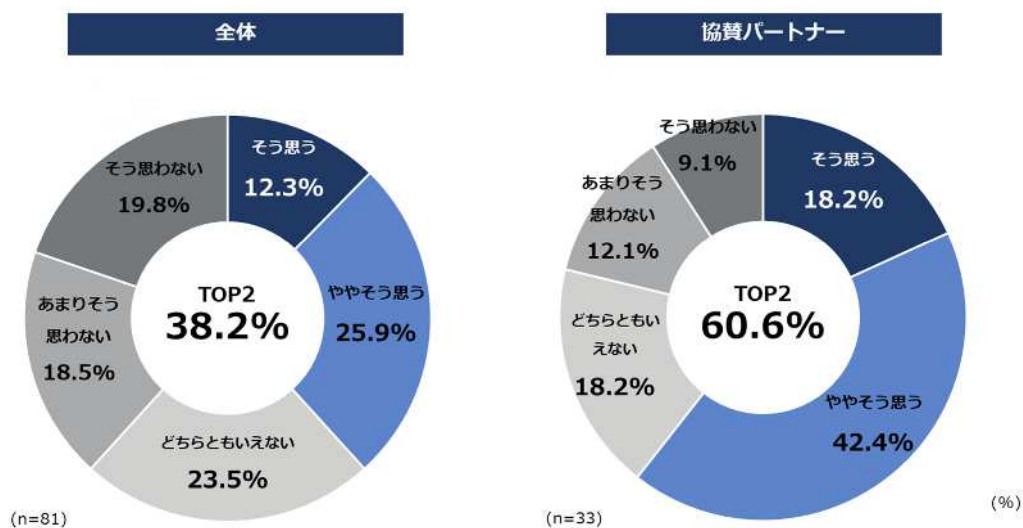
- ・ 調査手法：QRコードを用いたWEBアンケートへの回答
- ・ 対象者：イベント参加事業者
- ・ 回答数：81件（協賛パートナー33社、ブース出展5社、キッチンカー出店43社）
- ・ 調査実施期間：令和6（2024）年6月3日（月）～令和6（2024）年6月9日（日）

【参画しての印象】

● 有意義な商談につながる

協賛パートナーに絞ると、60.6%が有意義な商談に繋がったと回答した。ビジネスマッチング件数は協賛パートナーで平均29件、最も多い企業で300件だった。

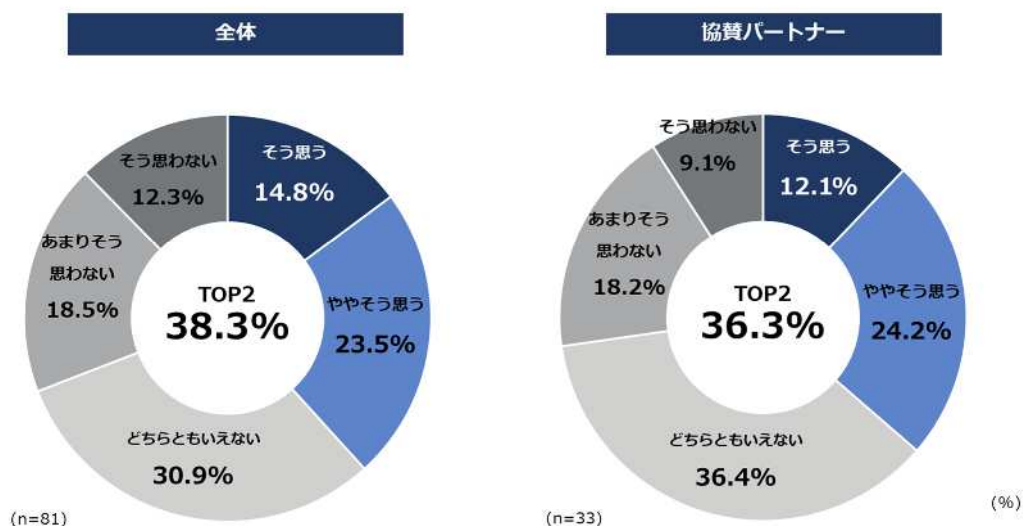
Q3.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみて、名刺交換等を含め何社とビジネスマッチングができましたか。
Q4.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみて、どのように感じましたか。それぞれあてはまるものをお選びください。



● 売上の貢献につながる

売上の貢献につながると回答したのは全体で 38.3%。会場での物販が少ない協賛パートナーに絞ると 36.3%とやや低下した。

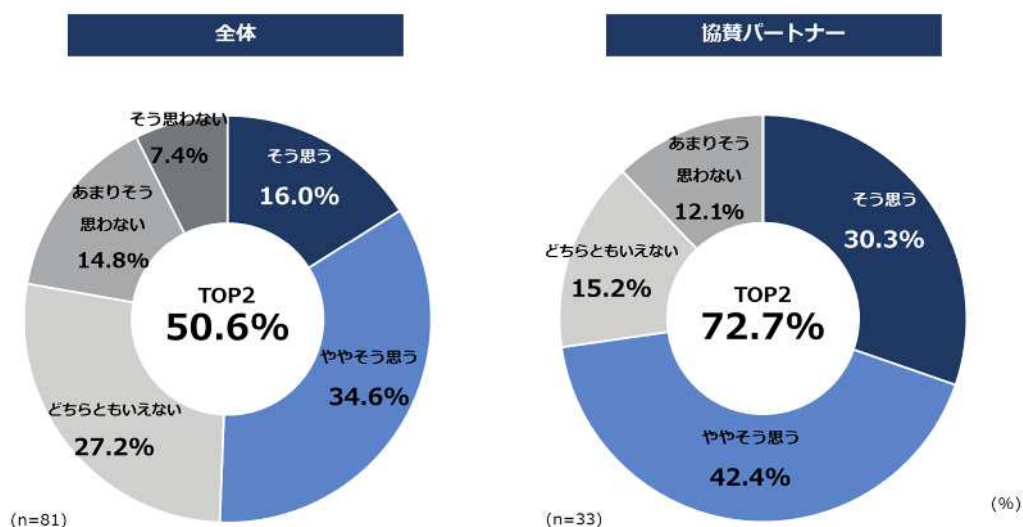
Q4.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみて、どのように感じましたか。それぞれあてはまるものをお選びください。



● ビジネスの拡大・拡張につながる

ビジネスの拡大・拡張につながると回答したのは全体で 50.6%。協賛パートナーに絞ると 72.7%に達し、先進的な技術をアピールする場になった。

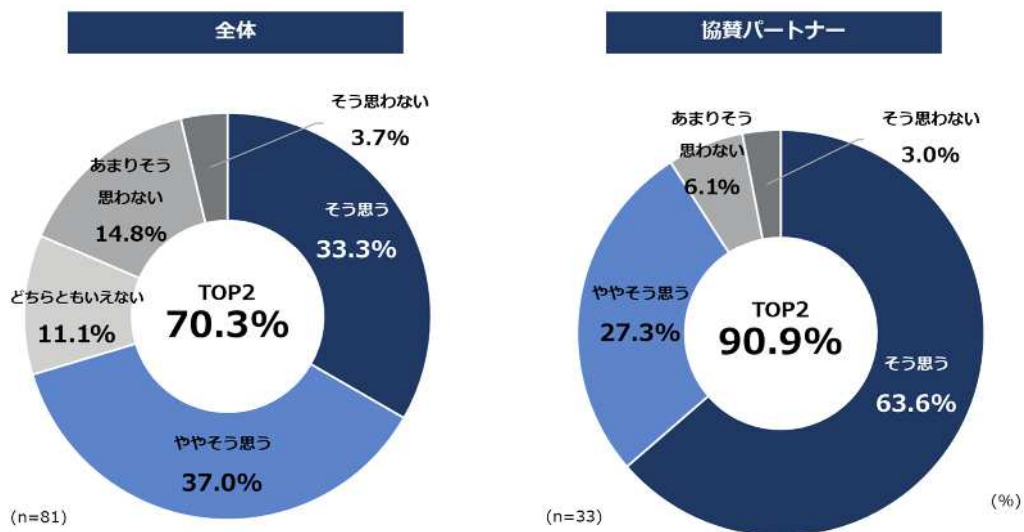
Q4.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみて、どのように感じましたか。それぞれあてはまるものをお選びください。



● 自社の認知拡大につながる

自社の認知拡大につながると回答したのは全体で 70.3%。協賛パートナーに絞ると 90.9%に達し、多くの来場とメディア露出により社名を広める機会になった。

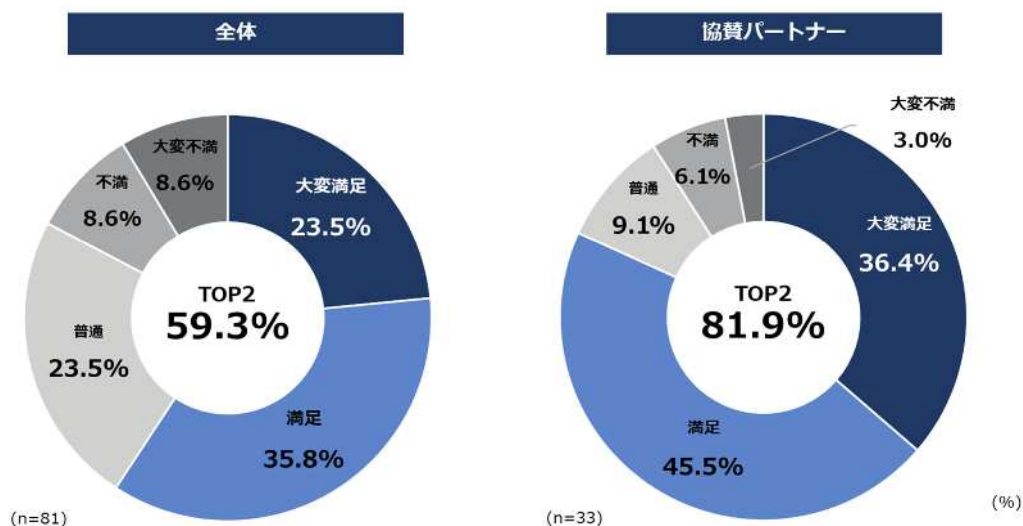
Q4.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」に参加してみて、どのように感じましたか。それぞれあてはまるものをお選びください。



【全体満足度】

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラムに満足したのは全体で 59.3%。協賛パートナーに絞ると 81.9%で、大幅に高い結果になった。

Q5.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」にどの程度満足しましたか。



● 全体満足度の選択理由（一部抜粋）

【大変満足】自動運転の共創プログラムに参加させて頂き今まで繋がり無かった同業他社さんとの人間同士の交流が出来、他には無い体験となった。

【大変満足】普段関わることが少ない一般の来場者の方々への認知拡大に繋がりました。また、商談を目的とした来場者の方々、その他出展社の方々との交流する機会など多面の方々との交流の場として大変満足しています。また、会場での登壇の機会もいただきまして、弊社の認知拡大に繋がりました。

【大変満足】認知拡大の意味では、土日は家族連れが多く子ども達にも水を飲んでいただけ、テレビ取材も入れていただいたことから大変満足。一般的なビジネスの展示会とは異なり、国際イベントならではの来場者に体感いただけたと思う。

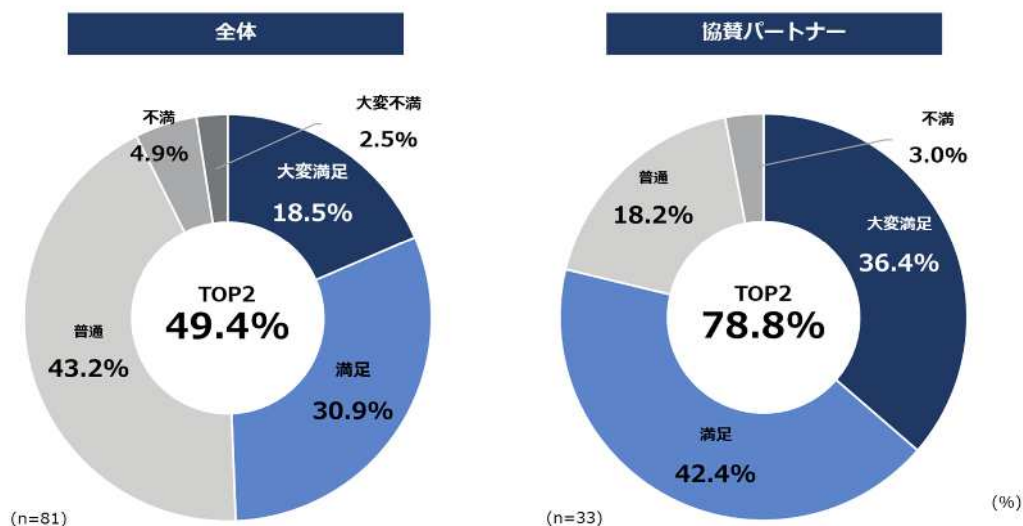
【満足】近未来というテーマの中で自社製品を展示できたことで、来場者に空飛ぶクルマが飛ぶ未来を感じてもらえたと思います。

【不満】弊社の説明員が現地で接客ができなかったため、ビジネスマッチングに繋がらなかった。弊社のチラシを置かせてもらう、現地に説明員を派遣する、を許してもらうことで、商談につながると思う。

【設備満足度】

設備に満足したのは全体で 49.4%。大がかりなコンテンツ展開を実施できた協賛パートナーに絞ると 78.8%と高い満足度が得られた。

Q7.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」の設備にどの程度満足しましたか。



● 設備満足度の選択理由（一部抜粋）

【大変満足】設備は非常にリッチで未来的で面白いと感じた。直前まで、調整いただくこともできたので良かったです。

【大変満足】全体の装飾、設備、顧客動線など、すべてが豪華で顧客がイベントに集中できるような仕掛けが多数見受けられました。

【大変満足】ブース出展の経験が浅く知見が少ないが、カタログスタンド、ポスターフレームやディスプレイモニターなど、展示に必要な備品を無償で手配いただいた事に満足している。

【満足】会場の設備は良かったです。ただ、もう少し視覚的にインパクトがある最新の映像設備で各ブースの紹介をしていれば興味を持たれたかと思います。

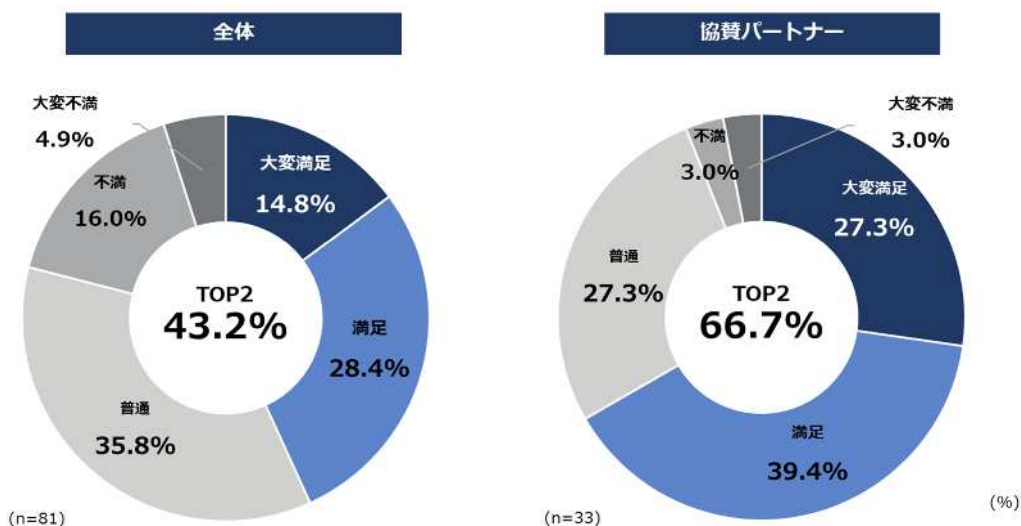
【普通】テントなどご用意いただき大変助かりましたが、発電機の調達、管理、保管は運用上負荷が高かったです。

【普通】外周のキッチンカー前に椅子やテーブルなどがなく、日中は良かったが、夜は厳しそうな感じがした。

【会場満足度】

会場に満足したのは全体で 43.2%。協賛パートナーに絞ると 66.7%で、他の項目と比べて満足度はいずれも低い結果となった。

Q9.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」の会場にどの程度満足しましたか。



● 会場満足度の選択理由（一部抜粋）

【大変満足】 こどもから大人まで長時間会場に滞在できるようなコンテンツが豊富に用意されており、近未来的なメインアリーナは入場するだけでわくわくする会場設計になっていると感じました。

【大変満足】 音響や LED など世界観の統一が素晴らしかった

【満足】 会場規模や清潔感、会場内設備等が良かった。一点、アクセスがあまり良くなく、関係者等に対して、ぜひ立ち寄ってください！とは誘いにくかった。

【満足】 会場の規模が大きすぎず、来場者にとって負担が少なく、一つ一つのブースをしっかりと見て頂けたため。

【普通】 他会場から有明アリーナへの周遊バスの降車場が会場から遠いのが来場者には不評でした。

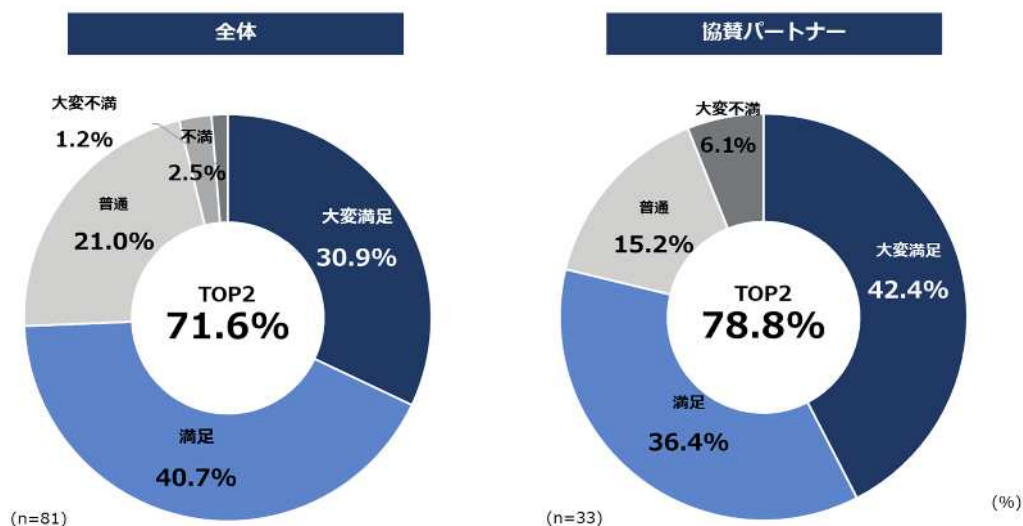
【普通】 海の森エリアの会場については若干エリア内の展示範囲が広く、来場者の回遊に課題があると感じました。

【不満】 会場が分散していて、出店場所がメイン会場から遠く、人がほとんど来なかった

【スタッフ・事務局満足度】

スタッフ・事務局に満足したのは全体の 71.6%で、協賛パートナーに絞ると 78.8%。細やかな対応によりいずれも高い満足度が得られた。

Q11.あなたは「SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム」のスタッフ・事務局にどの程度満足しましたか。



● スタッフ・事務局満足度の選択理由（一部抜粋）

【大変満足】ボランティアの方にも非常に丁寧に接しており、SusHi Tech Tokyo に関わる 1 人 1 人の人を非常に大切にされていると感じました。

【大変満足】スタッフ/事務局の方々には、急なお願いや変更、困りごとに迅速に対応していただき、出展社が安心して運営できる環境を作っていただきました。また、スタッフ/事務局の方々自身が新しい技術に興味関心が高い方が多く、その雰囲気が来場された方々にも伝わっているように感じました。

【満足】常にイベントスペースの見えるところにスタッフの方がいて、声掛けやフォローがあった。テントや机などが支給され、使い勝手がよかった。

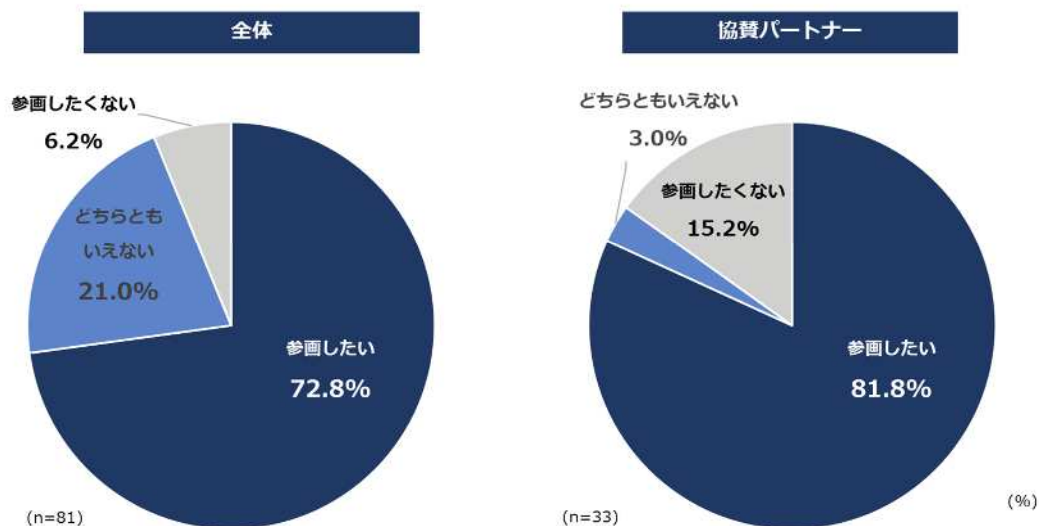
【満足】直接の事務局の方には、大変満足している。ただ、スシテック東京のスタッフについては、看板の設置位置など、広い視野を持った場所に設置頂きたかった

【大変不満】キッチンカー搬出に関して、無駄に待たされた気がしました。決まりに囚われず、その場の柔軟な判断をして頂きたかったです。難しかったかもしれません。

【次回参画意向】

次回参加意向は全体で 72.8%、協賛パートナーに絞ると 81.8%とさらに高くなった。多くの企業が自社ビジネスに活用できたことが数値に現れていると推測。

Q13.あなたは今後同ような東京都のイベントが開催された場合、どの程度参画したいと思いますか。



【主な感想】

- ・ ビジネスだけではなく、特に土日一般の方の来場が多く、様々な声を聞いたのがよかった。
- ・ 非常に多くの方にお越しいただき、楽しんでいただけたようで良かったです。今回我々は to C 向けがメインでしたが、次回機会をいただける場合は to B 向けの方にも関わらせていただけたら幸いです。
- ・ 全てのエリアを 1 日で見て回るのは大変だと感じました。お台場のいろいろなエリアを有効活用されていると思うので、簡単な話ではないかと思いますが、もう少し移動が少なく、全体的に見られるような設計など、改善していけば良いイベントになると思ったので、ぜひ改善しながら続けてほしいです。
- ・ 参加についてブランディング・社会受容性向上の点から、良い機会と考えています。一方、会社規模も大きくないため、長期間の対応が困難な面がございました。もう少し集中してできると運営・リソースの当て方等も動きやすくなると思っております。
- ・ 5/15-16 のビッグサイト会場内において、海の森会場の情報発信をもう少し行って頂けるとよかったのではないかと感じました。

2 総括

(1) 振り返り

イベント実施にあたり、以下の点について課題が挙げられた。これらの課題について、今後実施する様々なイベントの円滑な運営に向けて検証していく。

ア 平日の集客が難しく、日本科学未来館の会場では、予定していたワークショップの一部の開催を縮小した。

イ 体験コンテンツについて、休日に利用者が集中し、長時間の待機列となり参加を断念する利用者がでた。

ウ 体験型コンテンツやモビリティの試乗について、事前予約制とし円滑な運営を目指したが、イベント全体が無料だったことから当日キャンセルが発生し、結果的に空きが出てしまうコンテンツがあった。

エ シンボルプロムナード公園や海の森エリアにおいて、会場が広くコンテンツが点在していたため案内が不十分であるとの声があった。

オ 有明アリーナにおいては会場の特性上、平日の集客が難しかった。

カ 会場間を周遊するバスについて、バス停の場所が分かりにくいとの声が多数あった。

キ フード出店において、配置によって集客に差異が生まれ、公平ではないとの声があった。

ク 空飛ぶクルマ初飛行について、実施時間や会場へのアクセスがわかりづらいとの声があった。

ケ 予約システムのユーザービリティに改善の余地があった。

コ ボランティアに対して、初回のイベントのオリエンテーションをする中で難しい部分があった。

(2) 今後の展開

ア 日本科学未来館の活用

(ア) 日本科学未来館に東京ベイ e S G プロジェクトの更なる発展を図るための拠点を開設。1 階エリアは、最先端技術をこどもたちが体験し、その声を集める場とし、3 階エリアでは e S G パートナーや先行プロジェクト事業者などが新たな技術の研究・開発のために協働する場とする。

(イ) SusHi Tech Tokyo 2024 で集めた声を企業の協力を得て、具体化していくとともに、モビリティイベントやワークショップの実施などにより 2024 の成果やレガシーを体験・発信し、参加者の行動変容につなげていく。

イ SusHi Tech Tokyo 2025 の開催

令和 6 年 7 月に「SusHi Tech Tokyo 2025」の開催を発表した。開催にあたっては、スタートアップカンファレンスを中心とし、あわせて、「都市の未来を実感できる最先端技術の体験」も実施していく。

【概要】

1 開催期間

令和 7（2025）年 5 月 8 日、9 日＜ビジネスデイ＞ 10 日＜パブリックデイ＞

2 開催場所

東京ビッグサイト 東展示棟 4～6 ホール



東京都

